

ESMPRO/ServerManager Ver.6 セットアップガイド

第1章 EXPRESSSCOPEエンジン 3搭載コンポーネントのセッ トアップ

第2章 EXPRESSSCOPE エンジン 3以外のBMC搭載コンポーネ ントのセットアップ(LAN接続)

第3章 EXPRESSSCOPE エンジン 3以外のBMC搭載コンポー ネントのセットアップ(ダイレクト接続/モデム接続)

- 第4章 EMカードとブレード収納ユニットの管理
- 第5章 iStorage Mシリーズのセットアップ
- 第6章 vPro搭載コンポーネントのセットアップ
- 第7章 VMware ESXi5サーバのセットアップ
- 第8章 アラート受信のみのコンポーネントのセットアップ
- 第9章 ESMPRO/ServerManagerからコンポーネント及びグル ープを削除する
- 付録A
- 付録B
- 付録C
- 付録D

Ver.1.03 10.111.01-010.01 © NEC Corporation 2015

目次

目次	1
用語	3
商標について	4
本書について	5
ユーザーサポート・最新ソフトウェアの入手について	6
第1章 EXPRESSSCOPEエンジン 3 搭載コンポーネントのセットアップ	7
1.1 セットアップの流れ	7
1.2 コンポーネントの BMC をコンフィグレーションする	
121 BMCの Web サーバ機能を使った コンフィグレーション	0 0
1.2.1 Dive $(0, 0)$ (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0)	
1.2.2 Of Ling TOOL を使ったコンフィグレーション	13
1.2.5 OII-INETOOL $2 \bigcirc 7 (-7) / 7 = 7 = 7$	
1.3 ESMPRO/ServerManager にコンルーイントを宝塚 9 つ	
1.3.1	
1.3.2 コンボーネントか所属するグループを登録する	23
1.3.3 コンボーネントを登録する	25
第2章 EXPRESSSCOPE エンジン 3 以外の BMC 搭載コンポーネントのセットアップ	(LAN 接
続) 40	
2.1 セットアップの流れ(LAN 接続)	40
2.2 コンポーネントの BMC をコンフィグレーションする(LAN 接続)	41
2.2.1 ESMPRO/ServerAgent Extension ver.1.xxを使ってコンフィグレーションする	(LAN 接
続) 42	
202 FXPRFSSBIIII DFR コンソールレス機能を使ってコンフィグレーションす	· ZILAN
接続) 51	© (⊡ 2111)
10,00,0 51 202 EVDDESS DILLI DED システムマネージメント機能を使ってコンフィグレー	- ? / - ? /
2.2.5 EAR RESSOULDER シハノムマホーシアン下版配を使りてコンノイクレ ナズ(IAN 協定)	V = V 56
$9 \ \Im(\text{LAN by})$	
2.3 ESMPRO/ServerManager にコンホーネントを登録する	61
2.3.1 コンボーネントか所属するグループを登録する	61
2.3.2 コンホーネントを登録する(LAN 接続)	63
第3章 EXPRESSSCOPE エンジン 3以外の BMC 搭載コンポーネントのセットアップ(タ	ダイレク
ト接続/モデム接続)	74
3.1 セットアップの流れ(ダイレクト接続/モデム接続)	74
3.2 コンポーネントの BMC をコンフィグレーションする(ダイレクト接続/モデム接紙	売)75
3.2.1 ESMPRO/ServerAgent Extension を使ってコンフィグレーションする(ダイレ	~クト接
続/モデム接続)	76
3.2.2 EXPRESSBUILDER コンソールレス機能を使ってコンフィグレーションす	る(ダイ
レクト接続/モデム接続)	
3.3 ESMPRO/ServerManagerにコンポーネントを登録する(ダイレクト接続/モデム接続	売)79
331 コンポーネントが所属するグループを登録する	79
332 コンポーネントを登録すろ(ダイレクト接続/モデム接続)	79
第4音 FM カードとブレード収納フェットの管理	
分4年 EMI / 「Cノレード収約ニーノドの官理	
4.1	
4.2 町(中、ドの中、レマップ	
4.5 EM \mathcal{A} \vdash \mathcal{A} \mathcal{A} \vdash \mathcal{A}	
4.5.1 セットアップの流れ	
4.3.2 EM カードに ESMPRO/ServerManager と 通信する ための 設定を行う	
4.3.3 ESMPRO/ServerManager に EM カードを登録する	
4.4 EM カードの操作	
4.5 CPUブレード自動登録設定	

第5章 iStorage M シリーズのセットアップ	
5.1 ESMPRO/ServerManager に iStorage を登録する	
5.1.1 手動登録	
5.1.2 自動登録	
第6章 vPro 搭載 コンポーネントのセットアップ	
6.1 セットアップの流れ	94
6.2 iAMTをコンフィグレーションする	94
6.3 コンポーネントを登録する	
6.3.1 所属グループを登録する	
6.3.2 コンポーネントを登録する	
第7章 VM ware ESXi5 サーバのセットアップ	101
7.1 セットアップ前の注意事項	
7.2 セットアップの流れ	
7.3 BMCをコンフィグレーションする	101
7.4 コンポーネントを登録する	102
7.4.1 環境設定を行う。	
7.4.2 所属グループを登録する	103
7.4.3 コンポーネントを登録する	105
第8章 アラート受信のみのコンポーネントのセットアップ	
8.1 セットアップの流れ	
8.2 ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録する。	
第9章 ESMPRO/ServerManagerからコンポーネント及びグループを削除する	
9.1 コンポーネントをグループから削除する	
9.2 グループを削除する	
付録 A iStorage NS シリーズなどコンソールレス装置のリモートコンソールとして使用する	る場合の
手順	
付録 B LAN ポートの Teaming 設定時に ESMPRO/ServerAgent Extension または DianaScope	Agent を
利用する場合の設定手順	
付録 C WS-Man 管理時のポート番号について	123
付録 D 管理対象コンポーネント一覧	

	=T
	==
Л	
• • •	_

用語	解説
BMC	Baseboard Management Controller
(EXPRESSSCOPE エンジン)	Embedded controller。
SOL	Serial Over LAN
	Serial に出力されるデータを BMC が UDP Packet 化して LAN に流す機能。
vPro	インテルの企業向けプラットフォーム・ブランド (Intel® vPro [™] テクノロジ)。
iAMT	Intel® Active Management Technology
	vPro を構成する主要機能の一つで、リモート管理をコントロールする技術。
WS-Man	Web Service Management
	Ⅱシステム全体の管理情報にアクセスするための
	共通手段を提供する技術仕様。

商標について

EXPRESSBUILDER と **ESMPRO**、**DianaScope**、**EXPRESSSCOPE** は日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、インテル、Intel vPro は Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

記載の会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、 個人名とは一切関係ありません。

Windows Server 2012 R2 は、Windows Server[®] 2012 R2 Standard、Windows Server[®] 2012 R2 Datacenter の略称です。

Windows Server 2012 は、Windows Server® 2012 Standard、および Windows Server® 2012 Datacenter の 略称です。

Windows Server 2008 R2 は、Windows Server® 2008 R2 Standard、Windows Server® 2008 R2

Enterprise、および Windows Server® 2008 R2 Datacenter の略称です。

Windows Server 2008 は、Windows Server® 2008 Standard、Windows Server® 2008 Enterprise、Windows Server® 2008 Datacenter、および Windows Server® 2008 Foundation の略称です。

Windows 8.1 は、 Windows® 8.1 Pro 64-bit Edition、Windows® 8.1 Pro 32-bit Edition、Windows® 8.1 Enterprise 64-bit Edition、および Windows® 8.1 Enterprise 32-bit Edition の略称です。

Windows 8 は、 Windows ® 8 Pro、および Windows ® 8 Enterprise の略称です。

Windows7 は、 Windows®7 Professional、および Windows®7 Ultimate の略称です。

Windows Vista は、Windows Vista® Business、Windows Vista® Enterprise、および Windows Vista® Ultimate の略称です。

vPro は、Intel® vPro[™]の略称です。

■ ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど お気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

本書について

本書では、サーバ管理ユーティリティ「ESMPRO/ServerManager」を使ったリモート管理のご紹介 と、インストールからコンポーネントのセットアップまでの手順について説明しています。 ESMPRO/ServerManager をご使用になる前に本書をよくお読みになり、ユーティリティを正しくお 使いになるようお願い申し上げます。

■ ご注意

本書での内容は、対象 OS の機能や操作方法およびネットワークの機能や設定方法について十分に 理解されている方を対象に説明しています。対象 OS に関する操作や不明点については、各 OS の オンラインヘルプなどを参照してください。

本書では、コンポーネント全般について、汎用的に説明しています。コンポーネントの製品別の注 意事項や制限事項は、コンポーネントに添付されているユーザーズガイドまたは「付録 D 管理対 象コンポーネント一覧」を参照してください。

本書中の「EXPRESSBUILDER」という表記は、コンポーネントに EXPRESSBUILDER(SE)または保 守管理ツール CD-ROM が添付されている場合は、「EXPRESSBUILDER(SE)」または「保守管理ツ ール CD-ROM」を意味します。

本書に掲載されている画面イメージ上に記載されている名称は、すべて架空のものです。実在する 品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。また、画面イメージ上の設定値は例であり、IPア ドレスなどの設定値についての動作保証を行うものではありません。

■ 本書中の記号について

本文中では次の3種類の記号を使用しています。それぞれの意味を示します。

重要: ソフトウェアや装置を取り扱う上で守らなければならない事柄や特に注意すべき点を 示します。

チェック: ソフトウェアや装置を取り扱う上で確認しておく必要がある点を示します。

ヒント: 知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

■ ESMPRO/Server Manager のその他の説明について

本書に記載されていない、ESMPRO/ServerManager のその他の説明については、以下の文書を参照 してください。

- リモート管理可能な装置(コンポーネント)
 「付録 D 管理対象コンポーネント一覧」を参照してください。
- セットアップ後の操作方法
 ESMPRO/ServerManagerのオンラインヘルプを参照してください。
- コマンドラインインターフェースの操作方法 「ESMPRO/ServerManager コマンドラインインターフェース」を参照してください。

ユーザーサポート・最新ソフトウェアの入手について

本ソフトウェアに関する不明点やお問い合わせの際は、下記の URL をご参照ください。 下記ウェブサイトでは最新版 ESMPRO/ServerManager のダウンロードが可能です。お手持ちの ESMPRO/ServerManager のバージョンをご確認の上、最新版 ESMPRO/ServerManager をご利用くだ さい。

http://jpn.nec.com/esmsm/

第1章 EXPRESSSCOPE エンジン 3 搭載コンポーネントの セットアップ

この章では、ESMPRO/ServerManager からコンポーネント上の EXPRESS SCOPE エンジン 3の BMC および ESMPRO/ServerAgent Extension ver.2.xx を LAN 経由でリモート管理するための、推奨するセットアップ手順を説明します。

1.1 セットアップの流れ

以下の手順でセットアップを行ってください。

- (1) ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC とコンポーネントを同一ネットワークに 接続する。
- (2) コンポーネントの BMC をコンフィグレーションして ESMPRO からの管理を有効にする。
- (3) ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録する。

1.2 コンポーネントの BMC をコンフィグレーションする

はじめにコンポーネントの BMC をコンフィグレーションします。

- - この章では、ESMPRO/ServerManager と BMC を接続するために必要な、最低限の コンフィグレーション項目の設定を説明します。BMC コンフィグレーションの設 定項目の詳細については、各ツールのドキュメントを参照してください。

リモート管理する場合、コンポーネントの BMC のコンフィグレーションには 3 通りの方法があり ます。いずれかの方法を選択して実行してください。

■ BMCの Web サーバ機能を使ったコンフィグレーション

Web ブラウザから BMC にアクセスして、BMC のコンフィグレーション情報を設定します。

チェック:

BMCのWebサーバ機能はコンポーネントのHTTPS/HTTPの設定が有効の場合にのみ利用できます。

 フォールト・トレラント・サーバに搭載されている EXPRESSSCOPEエンジン 3は、 BMC の Web サーバ機能を使ったコンフィグレーションができません。その他のコ ンフィグレーション方法を利用してください。

■ OS 上のツールを使ったコンフィグレーション Windows/Linux OS 上にインストールしたツールで BMC のコンフィグレーション情報を設定し

ます。

ヒント :

- ツールは、装置によって、以下のいずれかとなります。
 - BMC Configuration
 - Server Configuration Utility

■ Off-line TOOLを使ったコンフィグレーション

POST から F4 キーで起動する Off-line TOOL で BMC のコンフィグレーション情報を設定します。

ヒント:

ツールは、装置によって、以下のいずれかとなります。

BMC Configuration

Server Configuration Utility

1.2.1 BMC の Web サーバ機能を使ったコンフィグレーション

EXPRESS SCOPE エンジン 3の WebConsole の操作について説明します。

- チェック:
- フォールト・トレラント・サーバに搭載されている EXPRESSSCOPEエンジン 3は、 BMC の Web サーバ機能を使ったコンフィグレーションができません。その他のコ ンフィグレーション方法を利用してください。
- (1) 以下の方法でEXPRESSSCOPE エンジン 3の WebConsoleの設定画面を起動してください。
 Web ブラウザを起動後、以下の URLを入力してください。

BMCのIPアドレスが192.168.1.1、HTTPSの設定が有効の場合:

- https://192.168.1.1/
- (2) EXPRESSSCOPE エンジン 3の WebConsole のメインメニューが表示されます。「設定」タブを選択してください。

EXPRESSS	COPE 2		ユーザ:管理ソフトウェア [権限:アドミニストレータ]
E	Naine		環境 EXPRESSSCOPE エンジン はこういて ト
122: BMC1C6F653E3F50 (1)	92.168.15.110) Y Y		
システム リ	モートアクセス 設定 アッ	ブデート	
戰要			• 更新
萬成計青報	サーバ信報		
PMI情報	モデル名 (型番)	Express5800/R110d-1E [N8100-1760]	
アクセス情報	号模番号	0123456	
	サーバステータス	0 E*	
	ログインユーザ数	1	#
	U€-FKVM	使用可能	<u>21 (a</u>
	リモートメディア	使用可能	詳細
	リモートマネージェント拡張ライセンス	ライセンスは登録されています。	
	System BIOS リビジョン	4.6.0018	
	BMCファームウェアリビジョン	00.26	
	BMC起動フラッシュROM	#2	詳細
	System LAN MAC	LAN 1 : 10:6F:65:3E:3F:86 LAN 2 : 10:6F:65:3E:3F:87	
	POST Completed	Sussessfully	
	Post completed	aucessium	
	(D) (D) ++		

(3) 「設定」画面が表示されます。 「その他」を選択してください。

Expressscop	E 2	ユーザ:管理ソフトウェア [権限:アドミニストレータ] ログアウト
ENGIN		環境 EXPRESSSCOPE エンジン 3について ヘルプ
サーバ名:123456789012345678901234567	8901 (192.168.14.59)	
システム リモートアク	カシス 設定	/ アッファート
₽ BMC		● 更新1 ▲
申ネットワーク	70.5	
プロパティ	項目名	設定地
サービス	管理用LAN設定	
	管理用LAN	Management LAN
33L	基本設定	
モユーザ管理	通信タイプ	Auto Negotiation
単通報	MACアドレス	6C:F0:49:56:95:9C
ーシステム操作	DHCP	有効
ECO	IPアドレス	192.168.14.59
その他	サブネットマスク	255.255.254.0
Bバックアップ・リストア	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
System BIOS	ダイナミックDNS	無効
	DNSサーバ	
	ホスト名	12345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012
	ドメイン名	123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012.4
	アクセス制限設定	
	制限タイプ	制昭無1,
	POST Completed Success	fully
	(0) D) A .	ii 👘

(4) 「その他」画面が表示されます。

以下の項目を必ず設定してください。その他の項目は既定値のまま使用できます。

- 「ESMPROから管理する」
 有効に設定してください。
- 「認証キー」
 任意の値を設定してください。

画面は設定例です。

Expressed	PE3	ユーザ:管理ソフトウェア 【権限: アドミニストレータ】 ログアウト 環境 KPRESSSCOPE エンジン 3について ヘルプ
サーバ名:123456789012345678901234 システム リモート	5678901… (192.168.14.59) アクセス 設定	アップデート
 BMC Bネットワーク プロバティ サービス SSL Bユーザ管理 B通報 システム操作 ECO その他 Bバックアップ・リストア System BIOS 	操作系 ・操作系ログ設定を有効に 電 互ブブション設定 AC-LINK 遅延時間 PEF設定 Platform Event Filtering 管理・・メッア設定 ESMPROから管理する 認証キー りダイレシンティートかり	 ● 有効 C 無効 ■ するには、少なくとも一つのインターフェースを有効にする必要があります。 C Stay Off © Last State C Power On ③ 砂 ● 有効 C 無効 ● 有効 C 無効 ● すめ C 無効
	POST Completed Success	ii V

チェック:

コンポーネントが SOL対応サーバの場合に「リダイレクション(LAN)」項目を有効にすると、コンフィグレーション情報を登録する際に、LAN 経由のリモートコンソールのために以下の項目を設定する必要があります。
 • EXPRESSSCOPEエンジン 3の「設定」から「System BIOS」の「Flow Control」項目: Hardware RTS/CTS

- (5) 「適用」を選択してください。コンフィグレーション情報が BMC に設定されます。
- (6) 「設定」画面から「ネットワーク」の「プロパティ」を選択してください。BMC の LAN について設定します。以下の項目を設定してください。その他の項目は既定値のまま使用できます。
 - 「DHCP」
 コンポーネントの BMC が DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得する機能の有効/ 無効を指定してください。有効を指定すると、登録後に「IP アドレス」、「サブネットマス ク」、「デフォルトゲートウェイ」の項目に BMC が DHCP サーバから取得した値が設定され ます。
 - 「IPアドレス」
 BMCのIPアドレスを入力してください。
 - 「サブネットマスク」
 設定した IP アドレスのサブネットマスクを入力してください。
 - 「デフォルトゲートウェイ」
 ESMPRO/ServerManagerをインストールした管理 PC とコンポーネントの間でゲートウェイ を介す場合、入力してください。

画面は設定例です。

Expression サーバ名:1234567890123456789012345	5678901 (192.168.14.59)	ユーザ:管理ソフトウェア [権限:アドミニストレータ] ログアウト 環境 EXPRESSSCOPE エンジン 3について ヘルブ
システム リモート:	アクセス 設定	アップデート
BMC Batanh □ - 2		 ● 更新 ▲
サネットワーク	項目名	設定値
	管理用LAN設定	
	管理用LAN	Management LAN
SSL	基本設定	
甲ユーザ管理	通信タイプ	Auto Negotiation
■通報	MAC781-7	6C:F0:49:56:95:9C
システム操作	DHCP	有効
ECO	Prov	192.168.14.59
その他	サブネットマスク	255.255.254.0
■バックアップ・リストア	デフォルトゲートウェイ	0.0.0
^L System BIOS	ダイナミックDNS	無効
	DNSサーバ	
	ホスト名	12345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012
	ドメイン名	12345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012.4
	アクセス制限設定	
	制限タイプ	制限無(, 工
	POST Completed Success	sfully
	(ٰ) (D°) & ♥	ii 🖉

- (7) 「プロパティ」画面で「デフォルトゲートウェイ」を設定した場合は、ゲートウェイがネット ワークに接続されていることを確認してください。
- (8) 「適用」を選択してください。コンフィグレーション情報が BMC に設定されます。

- チェック:
- ESMPRO/ServerManager で、BMC の SNMP 通報を受信する場合は、以下の設定も 行ってください。
 - ・「その他」
 - ・「Platform Event Filtering」: 有効
 - ・「通報」-「SNMP通報」
 - •「通報」:有効
 - ・「コンピュータ名」:任意の値
 - ・「1次通報先 IP アドレス」:
- ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC の IP アドレス ※チェックボックスを有効に設定してください。

1.2.2 OS 上のツールを使ったコンフィグレーション

1.2.2.1 Windows でのコンフィグレーション手順

Windows OS 上のツールでコンフィグレーションする際の操作について説明します。

- (1) コンポーネントで Windows を起動後、Windows のスタートメニューから BMC Configuration または Server Configuration Utility を起動してください。(ツールは、装置によって異なります。)
- (2) 以下のように、「その他」の設定画面を選択してください。
 - ・BMC Configuration の場合:「BMC コンフィグレーション設定」→「その他」
 - ・Server Configuration Utility の場合:「EXPRESSSCOPE エンジン 3」→「その他」
- (3) 以下の項目を必ず設定してください。その他の項目は既定値のまま使用できます。
 - 「ESMPROからの管理」
 有効に設定してください。
 - 「認証キー」
 任意の値を設定してください。

画面は設定例です。

-SEL設定	◎ SELの記録停止 ◎ SELの全別7 ◎ 古いSELを上書き
-電源オフ⁰ッョン設定	
AC-LINK	C Stay Off (Last State C Power On
遅延時間 [必須]	600 秒 (30 - 600)
-PEF設定	
Platfrom Event Filter	○ 有効 ④ 無効
*PEF(Platform Event Filt	er)が無効の場合は、SNMP通報を行えません。
-管理ソフトウェア設定	
ESMPROから管理	◎ 有効 ○ 無効
認証+- [必須]	****
リダイレクション	 有効 無効
リダイレクション	◎ 有効 🕠 無効

チェック:

コンポーネントが SOL 対応サーバの場合に「リダイレクション」項目を有効にすると、コンフィグレーション情報を登録する際に、LAN 経由のリモートコンソールのために以下の項目を設定する必要があります。

・「BIOS 設定」または「System BIOS」の「Flow Control」項目:Hardware RTS/CTS

(4) 「適用」を選択してください。コンフィグレーション情報が BMC に設定されます。

- (5) 以下のように、ネットワークの設定画面を選択してください。
 - ・BMC Configuration の場合:「BMC コンフィグレーション設定」→「ネットワーク」
 - ・Server Configuration Utility の場合:「EXPRESSSCOPEエンジン 3」→「ネットワーク」→「プ ロパティ」

チェック:

- フォールト・トレラント・サーバをコンフィグレーションする場合、「ネットワーク 0」(CPU/IO モジュール 0 のコンフィグレーション用)と「ネットワーク 1」(CPU/IO モジュール 1 のコンフィグレーション用)の両方を必ず設定してください。
- (6) 以下の項目を設定してください。その他の項目は既定値のまま使用できます。
 - DHCP

コンポーネントの BMC が DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得する機能の有効/ 無効を指定してください。有効を指定すると、登録後に「IP アドレス」、「サブネットマス ク」、「デフォルトゲートウェイ」の項目に BMC が DHCP サーバから取得した値が設定され ます。

- ・「IPアドレス」 BMCのIPアドレスを入力してください。
- 「サブネットマスク」
 設定した IP アドレスのサブネットマスクを入力してください。
- 「デフォルトゲートウェイ」
 ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC とコンポーネントの間でゲートウェイ を介す場合、入力してください。

画面は設定例です。	_
	с.

*本画面の設定を変更す	すると、BMCとの通信が切断される場合があります。	
管理用LAN	Management LAN	
通信タイフ。	Auto Negotiation	
BMC MACアドレス	1C:6F:65:3E:3F:50	
рнср 🤇	○ 酒劲 ○ 無効	
IP7ドレス [LO/須]	192.168.15.110	
サブネットマスク [必須]	255.255.254.0	
デフォルトケートウェイ	0000	
ダイナミックDNS	○ 有効 ● 無効	
DNSサーハ [®]		
林水名	BMC1C6F653E3F50	
ドメイン名		·

- (7) 「デフォルトゲートウェイ」を設定した場合は、ゲートウェイがネットワークに接続されていることを確認してください。
- (8) 「適用」ボタンをクリックしてください。 コンフィグレーション情報が BMC に設定されます。

------チェック:

- ESMPRO/ServerManager で、BMC の SNMP 通報を受信する場合は、以下の設定も 行ってください。
 - ・「その他」
 - ・「Platform Event Filter」: 有効
 - ・「SNMP通報」
 - ・「通報」: 有効
 - ・「コンピュータ名」:任意の値
 - ・「1次通報先 IP アドレス」:
- ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC の IP アドレス ※チェックボックスを有効に設定してください。

15

1.2.2.2 Linux でのコンフィグレーション手順

Linux OS 上のツールでコンフィグレーションする際の操作について説明します。

- コンポーネントでLinuxを起動後、以下の方法でBMC Configuration または Server Configuration Utility を起動してください。(ツールは、装置によって異なります。)
 - ・BMC Configuration の場合:

日本語を表示できるターミナルの場合: LANG=ja_JP.UTF-8 /opt/nec/BMC_Configuration/bmcconf-ja

日本語を表示できないターミナルの場合: /opt/nec/BMC_Configuration/bmcconf

・Server Configuration Utility の場合:

日本語を表示できるターミナルの場合 : LANG=ja_JP.UTF-8 /opt/nec/ServerConfiguration/svconf-ja

日本語を表示できないターミナルの場合: /opt/nec/ServerConfiguration/svconf

(2) 以下のように、「その他」の設定画面を選択してください。

- ・BMC Configuration の場合:「BMC コンフィグレーション設定」→「BMC 設定」→「その他」
- Server Configuration Utility の場合:「EXPRESSSCOPEエンジン 3」→「コンフィグレーション設定」→「その他」

- (3) 以下の項目を必ず設定してください。その他の項目は既定値のまま使用できます。
 - ・「ESMPROからの管理」 有効に設定してください。
 - 「認証キー」
 任意の値を設定してください。

画面は設定例です。

*SEL設定 SEL領域Full時の動作	SELの記録停止
電源オブション設定 AC-Link 遅延時間 [必須]	() Stay Off <mark>() Last State</mark> () Power On 40_ 秒 (40 - 600)
*PEF設定 Platform Event Filter *PEF(Platform Event F	 (*) 有効 () 無効 Silter) が 便効 の 提合 は SNMD 通 報 を 行 う ま せん
管理ソフトウェア設定 ESMPR0から管理	()有效()無效
認証キー [必須] リダイレクション	***** (*) 有効() 無効
<デフォルト設定>	<mark><適用></mark> <キャンセル>

- チェック:
- コンポーネントが SOL 対応サーバの場合に「リダイレクション」項目を有効にすると、コンフィグレーション情報を登録する際に、LAN 経由のリモートコンソールのために以下の項目を設定する必要があります。
 「BIOS 設定」または「System BIOS」の「Console Redirection 設定」の「フロー制御」項目: Hardware RTS/CTS
- (4) 「適用」を選択してください。コンフィグレーション情報が BMC に設定されます。
- (5) 以下のように、ネットワークの設定項目を選択してください。

・BMC Configuration の場合: 「BMC コンフィグレーション設定」→「BMC 設定」→「 \hat{x} ット ワーク」→「 \hat{z} ロパティ」

・Server Configuration Utility の場合:「EXPRESSSCOPEエンジン 3」→「コンフィグレーション設定」→「ネットワーク」→「IPv4プロパティ」

- (6) 以下の項目を設定してください。その他の項目は既定値のまま使用できます。
 - 「DHCP」
 コンポーネントの BMC が DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得する機能の有効/ 無効を指定してください。有効を指定すると、登録後に「IP アドレス」、「サブネットマス ク」、「デフォルトゲートウェイ」の項目に BMC が DHCP サーバから取得した値が設定され ます。
 - ・「IPアドレス」 BMCのIPアドレスを入力してください。
 - 「サブネットマスク」
 設定した IP アドレスのサブネットマスクを入力してください。
 - 「デフォルトゲートウェイ」
 ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC とコンポーネントの間でゲートウェイ を介す場合、入力してください。



- (7) 「デフォルトゲートウェイ」を設定した場合は、ゲートウェイがネットワークに接続されてい ることを確認してください。
- (8) 「適用」を選択してください。コンフィグレーション情報が BMC に設定されます。

```
チェック:
```

 ESMPRO/ServerManager で、BMC の SNMP 通報を受信する場合は、以下の設定も 行ってください。

- ・「その他」
- ・「Platform Event Filter」: 有効
- ・「SNMP 通報」
 - •「通報」:有効
 - ・「コンピュータ名」:任意の値
 - ·「1次通報先」:有効
 - ・「IPアドレス」:
- ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC の IP アドレス

ESMPRO/ServerManager Ver.6 セットアップガイド

1.2.3 Off-line TOOL を使ったコンフィグレーション

Off-line TOOLの操作について説明します。

(1) POST 画面表示中に次のメッセージが画面下に表示されます。

Press<F2> SETUP, <F3> Internal flash memory, <F4> ROM Utility, <F12> Network

- (2) ここで<F4>キーを押します。<F4>キーを押すと、POST 画面終了後にキーボード選択画面が表示されますので、キーボードを選択してください。
- (3) Off-line TOOLのメインメニューが表示されます。
 「BMC Configuration」または「Server Configuration Utility」を選択してください。
 (ツールは、装置によって異なります。)
- (4) 以下のように、「Miscellaneous」の設定画面を選択してください。
 - ・BMC Configuration \mathcal{O} 場合:「BMC Configuration」 \rightarrow 「Miscellaneous」
 - Server Configuration Utility \mathcal{O} 場合: 「EXPRESSSCOPE Engine 3」 → 「Configuration」 → 「Miscellaneous 」
- (5) 以下の項目を必ず設定してください。その他の項目は既定値のまま使用できます。
 - ・「ESMPRO Management」 Enable に設定してください。
 - 「Authentication Key」
 任意の値を設定してください。

画面は設定例です。

Miscellaneous	
Items :	Values
Behavior when SEL repository is full :	[Stop logging SEL]
Platform Event Filter :	[Disable]
Management Software	
ESMPRO Management	[Enable]
Authentication Key [Required]	[************************
Redirection :	[Enaple]
< OK >	
< Cancel >	
< Load Default Value >	
Select:[Enter] Cancel:[ESC] Heln:[Ho	me or 21
Note : If PEE Configuration is set to	n disable SNMP alert will not work
	Baloabio, Bana alore will not work.

- コンポーネントが SOL 対応サーバの場合に「Redirection」項目を有効にすると、コンフィグレーション情報を登録する際に、LAN 経由のリモートコンソールのために以下の項目を設定する必要があります。
 ・コンポーネントの POST 画面から[F2]キーを入力して、SETUP 画面起動後「Advanced」の「Serial Port Configuration」の「Flow Control」項目: Hardware RTS/CTS
- (6) 「<OK >」を選択してください。
 コンフィグレーション情報が BMC に設定されます。
- (7) 以下のように、ネットワークの設定項目を選択してください。
 - BMC Configuration \mathcal{O} 場合: 「BMC Configuration」 \rightarrow 「Network」 \rightarrow 「Property」
 - Server Configuration Utility \mathcal{O} 場合: 「EXPRESSSCOPE Engine 3」→「Configuration」→「Network」 → 「IPv4 Property」

-----チェック:

- フォールト・トレラント・サーバをコンフィグレーションする場合、「Network」は、「Network: CPU/IO module 0」(CPU/IOモジュール0のコンフィグレーション用)と「Network: CPU/IO module 1」(CPU/IOモジュール1のコンフィグレーション用)の両方を必ず設定してください。
- (8) 以下の項目を設定してください。その他の項目は既定値のまま使用できます。
 - ・「DHCP」

コンポーネントの BMC が DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得する機能の有効/ 無効を指定してください。有効を指定すると、登録後に「IP Address」、「Subnet Mask」、「Default Gateway」の項目に BMC が DHCP サーバから取得した値が設定されます。

- 「IP Address」
 BMCの IP アドレスを入力してください。
- ・「Subnet Mask」 設定した IP アドレスのサブネットマスクを入力してください。
- 「Default Gateway」

ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC とコンポーネントの間でゲートウェイ を介す場合、入力してください。

画面は設定例です。

Network(Property)	
Items	: Values
Management LAN	: [Management LAN]
Connection Type	: [Auto Negotiation]
BMC MAC Address	: 10:6F:65:3E:3F:50
рнср 🦷	: [Enable]
IP Address	. 192 168 15.110
Subnet Mask	: 255.255.254.0
Default Gateway	: 0.0.0.0
Dynamic DNS	: [Disable]
DNS Server	: []
Host Name	: [BMC1C6F653E3F50]
Domain Name	: []
< OK >	
< Cancel >	
< Load Default Value >	
Select:[Enter] Cancel:[ESC] Hel	p:[Home or ?]
Note:To change "Management LAN"	setting, "BMC Reset" is required.

- (9) 「Default Gateway」を設定した場合は、ゲートウェイがネットワークに接続されていることを 確認してください。
- (10)「<OK >」を選択してください。

コンフィグレーション情報が BMC に設定されます。

重要:
• 「BMC Configuration」または「ServerConfiguration Utility」を使用して BMC のネッ
トワーク設定を"Shared BMC LAN"に設定した場合は、共有する本体 LAN ポート
と BMC は直接通信できません。
そのため ServerManager がインストールされた装置の BMC を管理する場合は BMC
のネットワーク設定を"ManagementLAN"に設定し、BMC管理専用のLANポート
を使用してください。
"Shared BMC LAN"及び"ManagementLAN"の詳細や設定の変更方法かどけ
EVDDECS CODE エンバンノ2 ユーザーブガイドを参照して下さい
EAFRESSSCOPE
チェック:
• ESMPRO/ServerManager で、BMC の SNMP 通報を受信する場合は、以下の設定も
行ってください。
• Miscellaneous
• [Platform Event Filter] · Enable
• [SNMP A lert]
• $\begin{bmatrix} \text{SNMP } \Delta \text{ert} \end{bmatrix}$ · Enable
「Shim Ach」: Lidoc
• Alert Keceiver I] : Enable
• IP Address 1] :
ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC の IP アドレス

1.3 ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録する

ESMPRO/ServerManagerにコンポーネントを登録する手順を示します。 ESMPRO/ServerManagerにログインした後、以下の手順で操作してください。

(1) 環境設定を行う。

(2) コンポーネントを任意のグループに所属させたい場合は、グループを登録する。

(3) コンポーネントを登録する。

1.3.1 環境設定を行う

管理対象に以下のコンポーネントが含まれる場合、ESMPRO/ServerMangerの環境設定でWS-Man 通信での自己署名を許容する必要があります。本設定を行わない場合、ESMPRO/ServerManager か ら以下のコンポーネントを検索することが出来ません。

- ・管理対象が VMwareESXi5 サーバの場合
- ・管理対象側で ESMPRO/ServerAgentService と ESMPRO/ServerManager との通信に HTTPS を使用する設定を行っている場合でかつ、自己署名を使用している場合。
- (1)「環境設定」-「ネットワーク」画面で、「WS-Man 通信」の項目を、自己署名証明を「許容する」 に設定してください。

ESMPRO6		ユーザ名: Administrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト
Manager Fin. U	75-	ビューア ツール 環境設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルブ
1711-7 V	環境設定	【RADシステム管理モード:アドバンストモード】
0/µ−7 ✓	2-ザアカウント アクセス制制 ネットワーク オブシ 項目名 SNMP/CMP通信 バクット再送回数 無応答検出タイマ値1(1-65535秒)[必須] 無応答検出タイマ値2(1-65535秒)[必須] 無応答検出タイマ値3(1-65535秒)[必須] 無応答検出タイマ値4(1-65535秒)[必須] リモートコンノール/リモートドライブとの通信 無応答検出タイマ値(20-1800秒)[必須] BMととの通信 無応答検出タイマ値(1-15秒)[必須] コマンド送信ルトライ回数(0-10回)[必須] 送信元ボート(1025-65535)[必須] ダイレクト接続数定	■ン自動登録設定 3 V 0 4 計 4 計 4 計 5 計 5 15 160 17 17 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
	10.70小-71番号 WS-A4-0116	NAV 1000-1-1
	自己署名評明	● 許容する ○作類 たい
	道用	キャンセル「デフォルト設定」

1.3.2 コンポーネントが所属するグループを登録する

(1) コンポーネントを任意のグループに所属させたい場合は、「グループ情報」 タブで「グループの 追加」をクリックしてください。

ESMPRO6		ユーザ名: Administrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト
Manager Ver.		アラートビューア ツール 環境設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルコ
グループ 🗸	root	[RAIDシステム管理モード:アドバンストモード ド
🕂 🎑 root	グループ情報	
	 グループ情報 ■ コンボーネント一覧 ● グループ情報 ● グループ情報 ● ブループ情報 ● ブループの追加 ■ コンボーホンドの追加 ■ コンボーホンドの追加 ■ 国ンボーホンドの追加 	

(2) グループ名を入力し、「追加」ボタンをクリックしてください。

画面は設定例です	o	
ESMPRO6		ユーザ名: Administrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト アラートビューア ツール 環境設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ
<i>ブルー</i> プ ✓ � 🎑 root	root > グループの追加 グループ情報	[RAIDシステム管理モード : アドバンストモー ド]
	 ジループ情報 □ コンボーネントー覧 □ グループ情報 ○ ジ アラート状態 □ グループの追加 □ コンボーネントの追加 □ コンボーネントの追加 □ コンボーネントの追加 	項目名 グルーブ名 【必須】 送明 道加 キャンセル

「グルーフ	゜」ツ	リー	に追加し	たグルー	プが表示。	されます。
-------	-----	----	------	------	-------	-------

ESMPRO6		ユーザ名: Adm	iinistrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト
Manager Ver.		アラートビューア ツール 環境	設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ
	root		[RAIDシステム管理モード:アドバンストモード]
O/D=0	グループ情報		
a 👔 SampleGroup	○ プレーブ情報	【● [登録数:1件]	Page [1]
	■ コンホーネンドー見 ● ゴンホーネンドー見 ● ◎ グループ情報	□ 情報 名前 ▲	マネージメント コントローラ管理機能 IPアドレス
		🔲 🐵 🖾 SampleGroup	
	- 📁 🎾 グループの追加		
	🗉 📃 コンボーネントの追加		
	🦾 📓 拡張ライセンス一覧		
		<	>

1.3.3 コンポーネントを登録する

コンポーネントの登録には2通りの方法があります。どちらかの操作を行ってください。

■ 手動登録

コンポーネントの BMC の IP アドレスなどの情報を直接入力して登録し、「接続チェック」を 実施します。

■ 自動登録

ネットワーク上に存在する、ESMPRO/ServerManager上にまだ登録されていないコンポーネントを検索して登録します。この登録方法はコンポーネントと LAN 経由で通信する場合のみ使用できます。

1.3.3.1 手動登録

(1) コンポーネントを所属させるグループ名をクリックしてください。

ESMPRO6		ユーザ名:	Administrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト
Manager Ver.		アラートビューア ツール ヨ	環境設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ
Caulant V	root		[RAIDシステム管理モード:アドバンストモード]
D T root	グループ情報		
Official SampleGroup	「ジループ情報	【 [登録数:1件]	Page [1]
	 ■ コンボーネントー覧 ■ <u>グループ情報</u> 	■ 情報 <u>名前</u> ▲	<u>マネージメント</u> コントローラ管理機能 <u>IPアドレス</u>
	- ① P <u>アラート状態</u>	🔲 🐵 📁 SampleGroup	
	ー 📁 グループの追加		
	🗉 📃 コンポーネントの追加		
	🦾 🗎 拡張ライセンス一覧		
		<	>

(2)「グループ情報」タブの「コンポーネントの追加」から「手動登録」- 「通常管理」をクリックしてください。

ESMPRO6		ユーザ名:Administrator [権限:7 アラートビューア ツール 環境設定 ESMPRO/Se	7ドミニストレータ] <mark>ログアウト</mark> rverManagerについて ヘルプ
グループ V	root > SampleGroup グループ情報	[RAIDシステム [†]	管理モード:アドバンストモード]
SampleGroup	 ●グループ情報 ● ゴンボーネントー覧 ● グループ消音報 ● ジ アラード状態 ● ジ アラード状態 ● ゴンボーネントの道加 ● 目動登録 ● 目前登録 ● 目前登録 ● 正常管理 ● 正常管理 ● 正常管理 ● 正常管理 ● 正常管理 	 	Page [1] 公管理概能 耳原
			>

(3) 「手動登録」画面の項目に以下の内容を入力してください。

項目名	設定値
コンポーネント名	ESMPRO/ServerManager上で管理するためのコンポーネン
	トの名前です。他のコンポーネントの名前と重ならない名
	前をつけてください。空白文字を含む名前は入力できませ
	ん。また、大乂子と小乂子は区別されます。
211 夕	コンホーイントの別名を指定じきより。 空日又子を召む名 前け入力できません。また、大文字と小文字け区別されま
	前はハガできょせん。よに、八文子と小文子は色がされば
	コンポーネントを追加する先のグループ名を選択してくだ
所属グループ	さい。
拉住式能	ESPRESSSCOPE エンジン 3 搭載コンポーネントの場合は
按杭形態	LAN接続のみ利用できます。LANを選択してください。
共通設定	
OS IPアドレス	コンポーネントの OS IP アドレスを入力してください。
SNMP (ESMPRO/ServerAgent) / V	VS-Man
答理	コンポーネントのシステム管理を利用する場合は、「登録」
	を選択してください。
	管理対象の管理プロトコルを選択して下さい。
	SNMPJ X1
	管理対象に ESMPRO/ServerAgent がインストールされてい
管理対象	る場合。 「WC Man」 ※1 ※2
	「WS-Man」 ※1, ※2 答理社会が WMware ESV:5 社― バの担合
	官理対象が VMWaleESALD 9 「ハワ湯口。 管理対象に FSMPRO/ServerAgentService がインストールさ
	ー 「 」 れている場合。
	管理対象に「SNMP」を選択した時のみ表示されます。
	管理対象コンポーネントで稼動している SNMP エージェン
SNMPコミュニティ名(取得用)	トに設定された SNMP コミュニティ名を入力します。SNMP
	による情報取得、設定、監視などを行う場合は、この値を
	設定しておく必要があります。
	官埋对家に「SNMP」を選択した時のみ表示されます。
	SNMP を使ってリモートのホストに対して設定を打り場合 に 取得用の SNMD コミュニティタと思たる SNMD コミュ
SNMD コミュニティタ(設定田)	に、
SINUT ~ 、 / 1 石(取圧用)	ーノーロで区用する必要がのる物口は、このノーールトに 設定用の SNMP コミュニティ名を英数字で指定してくださ
	い。もし、このフィールドが設定されていなければ、取得
	用の SNMP コミュニティ名で設定を試みます。

	管理対象に「WS-Man」を選択した時のみ表示されます。
	WS-Man によるシスノム官理を実施する場合に使用する ユーザータ及びパスロードを入力します
	ユーリー石及のハスワートを八刀しより。 管理対象に上り以下の内容を入力 てください
ユーザ名	
	「Windows 版 ESMPRO/ServerAgentService の場合」
	Windows のシステム管理者権限を持つローカルのユーザ
	ー名/パスワードを入力してください。ActiveDirectory 上
	に作成したユーザーアカウントを使用することは出来ま
	せん。
	「Linux 版 ESMPRO/ServerAgentService の場合」
パスワード	$\lim_{n\to\infty} ux = \int u = \int u$
	「VMwareESXi5 サーバの場合」
	VM ware ESXi5 サーバのシステム管理者権限を持つユー
	ザー名及びパスワードを入力してください。
プロトコル	管理対象に「WS-Man」を選択した時のみ表示されます。
	WS-Man 管理で使用する通信のプロトコルを選択します。
ポート釆号	管理対象に「WS-Man」を選択した時のみ表示されます。
	WS-Man 管理で使用するポートを入力します。※3
RAID システム管理機能	
	管理対象が ESXi サーバの場合は、RAID システム管理機能
	のみを有効にして ESMPRO/ServerManager に登録すること
管理	は出来ません。RAIDシステム管理を使用する場合は、SNMP
	(ESMPRO/ServerAgent)/WS-Manの項目で、ESXiサーバを管
	埋するために必要な情報を入力した上で、RAIDシステム管
	埋機能を登録にしてくたさい。
Express Update 機能	P U.1. たは田してコンピーウンした竺畑ナフ坦人
Express Update Agent 経田のアッ プデート	Express Update を使用してコンホーネントを管理する場合 は、「登録」を選択してください。
マネージメントコントローラ経	マネージメントコントローラを使用してコンポーネントを
由のアップデート	管理する場合は、「登録」を選択してください。
BMC (EXPRESSSCOPEエンジン	/) / vPro (Common)
管理	「登録」を選択してください。「未登録」の場合、装置によ
	ってはハードウェア監視を行えない場合があります。
管理対象	「BMC」を選択してください。
	コンボーネントの BMC (EXPRESSSCOPE エンジン) と通
認証キー	信するための認証キーです。1.2章の「コンホーネントの
	BMCをコンノイクレーションする」で設定した認証キーを スカレアください
BMC (FXPRFSSSCOPF エンジン	$(\sqrt{y}) = (\sqrt{x})$
	「下記に示す IP アドレス1に接続する場合は「IP アドレス1
接続IPアドレス	「 r にに次か)」 を、IPアドレス2に接続する場合は「IPアドレス2」を選
	択してください。
	片方の IP アドレスへの通信がエラーになった場合にもうー
フェイルオーバー	方の IP アドレスに切り替えて通信を続行するフェイルオー
	バー機能の有効/無効を示します。
	1.2 章「コンポーネントの BMC をコンフィグレーションす
mマドレフ1	
IP $F $ $V $ $A $ I	る」で設定した LAN1の IP アドレスを入力してください。

	は、CPU/IOモジュール0の管理LAN用ポートのIPアドレ
	スを入力してください。
	コンポーネントが EXPRESSSCOPE エンジン SP3 搭載サー
	バ (2BMC モデル)の場合は、マスタ BMC の IP アドレス
	を入力してください。
	1.2 章「コンポーネントの BMC をコンフィグレーションす
	る」で設定した LAN1 のサブネットマスクを入力してくだ
	さい。
	コンポーネントがフォールト・トレラント・サーバの場合
サブネットマスク1 ※4	は、CPU/IO モジュール 0 の管理 LAN 用ポートのサブネッ
	トマスクを入力してください。
	コンポーネントが EXPRESSSCOPE エンジン SP3 搭載サー
	バ(2BMCモデル)の場合は、マスタBMCのサブネットマ
	スクを入力してください。
	1.2 章「コンポーネントの BMC をコンフィグレーションす
	る」で設定した LAN2の IP アドレスを入力してください。
	コンポーネントがフォールト・トレラント・サーバの場合
mzNuza	は、CPU/IOモジュール1の管理 LAN 用ポートの IP アドレ
$\mathbf{IP} \mathcal{F} \mathcal{F} \mathcal{F} \mathcal{F} \mathcal{F} \mathcal{F}$	スを入力してください。
	コンポーネントが EXPRESSSCOPE エンジン SP3 搭載サー
	バ(2BMCモデル)の場合は、スタンバイ BMC の IP アド
	レスを入力してください。
	1.2 章「コンポーネントの BMC をコンフィグレーションす
	る」で設定した LAN2 のサブネットマスクを入力してくだ
	さい。
サブネットマスク2 ※4	コンポーネントがフォールト・トレラント・サーバの場合
	は、CPU/IO モジュール 1 の管理 LAN 用ポートのサブネッ
	トマスクを入力してください。
	コンポーネントが EXPRESSSCOPE エンジン SP3 搭載サー
	バ(2BMCモデル)の場合は、スタンバイ BMCのサブネッ
	トマスクを入力してください。

チェック:

 ※1: Linux版 ESMPRO/ServerManagerの場合、SNMPによる ESMPRO/ServerAgenet がインストールされたコンポーネントの管理、及び WS-Man による VM ware ESX i5 サーバの管理を行うことが出来ません。

これらの機能は Windows 版 ESMPRO/ServerManager でのみ提供されます。

チェック:

- ※2: WS-Man 通信を使用する場合、以下のような場合では「1.3.1 環境設定を行う」
 を参考に ESMPRO/ServerManager で自己署名を許容する必要があります。
 - ・管理対象が VM ware ESX i5 サーバの場合

・管理対象側で ESMPRO/ServerAgentService と ESMPRO/ServerManager との通信に HTTPS を使用する設定を行っている場合でかつ、自己署名を使用している場合。

チェック:

• ※3: WS-Man 管理時の使用ポート番号については「付録 CWS-Man 管理時のポート 番号について」の章を参照してください。



雨五片乳空间云十

画面は設定例です。			
ESMPROS		ユーザ名:	Administrator [権限 : アドミニストレータ] ログアウト
Manager Ver.		アラートビューア ツール	環境設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルブ
Bu	root > SampleGroup > コンポーネントの追加	加>手動登録>通常管理	[RAIDシステム管理モード : アドバンストモード]
570 5	グループ情報		
🕂 💭 root			
🗉 🐠 🗾 SampleGroup		項目名	設定値 🔷
		コンポーネント名【必須】	SampleServer
		別名	Sample
	□ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	所属グループ	SampleGroup 🗸
	□ □ コンボーネントの追加	接続形態	● LAN ○ ダイレクト ○ モデム
		共通設定	
	□ □ 手動登録	OS IPアドレス <mark>【必須】</mark>	172 . 16 . 30 . 40
	📄 📃 通常管理	SNMP (ESMPRO/ServerAgent)/ WS-Man	
		管理	● 登録 ○ 未登録
	i 加張うイセンス一覧	管理対象	● SNMP ○ WS-Man
		SNMPコミュニティ名(取得用)	public
		SNMPコミュニティ名(設定用)	
		RAIDシステム管理機能	
		管理	● 登録 ○ 未登録
		ExpressUpdate機能	0.04
		ExpressUpdate Agent栓田のアッファート	● 登録 ○ 未登録
		マネージメントコントローラ経由のアップデート	● 登録 ○ 未登録
		BMG(EXPRESSSGUPEエノシノ)/ vPro (U	Common)
			BMC O vPro
		認証キー「必須」 DMO(EVRDESSCOORE=2.2532.)(D ()	•••••
		BMG(EXPRESSSGUPEエンソフ)/ VPro (L	
		サフィットマスクロション	
		サブネットマスク2	255 255 255 0
		à	Êha
	< >	<	>

(4) 「追加」ボタンをクリックしてください。

ヒント:

コンポーネントを手動登録しただけでは、まだコンポーネントをリモート管理できません。続けて「接続チェック」を行ってください。

(5) コンポーネントの「設定」タブから「接続設定」をクリックしてください。 「接続設定」ビューが 表示されます。

「接続チェック」ボタンをクリックすると、ESMPRO/ServerManagerが「接続チェック」を行って、リモート管理のために必要な情報をコンポーネントから収集します。

ESMPRO6		ユーザ名	: Administrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト
Manager Ver.		アラートビューア ツール	環境設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルブ
	root > SampleGroup > Samp	leServer > 接続設定	[RAIDシステム管理モード:アドバンストモー
グループ 🗸 🗸			۲۱ ···· ۲۱
⊕ CT root	設定		
🖃 📀 🗾 SampleGroup	🎑 サーバ設定		
🛶 🏚 🧕 SampleServer	🔤 📓 接続設定	接続チェックが行われていな	いためコマンド実行できませんでした。 (未接続)
		項目名	設定値
		コンポーネント名	SampleServer
		別名	Sample
		所属グループ	SampleGroup
		接続形態	LAN
		共通設定	
		OS IPアドレス	172.16.30.40
		SNMP (ESMPRO/ServerAgent)/ WS-N	1an
		管理	登録〈無効〉
		RAIDシステム管理機能	
		管理	登録〈無効〉
		ExpressUpdate機能	
		ExpressUpdate Agent経由のアップデート	登録〈無効〉
		マネージメントコントローラ経由のアップデート	▶ 登録<無効>
		BMC(EXPRESSSCOPEエンジン)/ vPro	(Common)
		管理	登録<無効>
		管理対象	BMC
		「認証キー	*****
		ユーザ名	

		BMC(EXPRESSSCOPEエンジン)/ vPro	(LAN)
		接続IPアドレス	172.16.30.41
		フェイルオーバー	無効
		IPアドレス1	172.16.30.41
		サブネットマスク1	255.255.0.0
		IPアドレス2	0.0.0.0
		サブネットマスク2	255.255.255.0
		マネージメントコントローラ管理機能(モラ	гц)
		電話番号	
		編集	接続チェック
		1	

() == == =				
ESMPR06			ユーザ名: Administr	ator [権限:アドミニストレータ] ログアウト
Manager Ver.		75	ートビューア ツール 環境設定	ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ
グループ 🗸	root > SampleGroup > Sa	mpleServer > 接続設定		[RAIDシステム管理モード:アドバンストモード]
🐠 💭 root	設定			
 TampleGroup SampleServer 	☆ サーバ設定 ↓ E 接続設定		し 接続チェック キャンセル	ф]
		1		

(6) 接続チェックボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。

(7)(7) 接続チェックが終了すると接続チェック実行結果画面が表示されます。

検出の場合はコンポーネントの該当機能をリモート管理できるようになります。 未検出の場合は該当機能を登録できなかった状態であり、コンポーネントの該当機能をリモート管 理することが出来ません。

検出状態	説明
 按 山	管理の欄に表示されている機能を検出できた状態です。
快口	該当機能を使用できます。
	管理の欄に表示されている機能を検出できなかった状態です。
未検出	該当機能を使用できません。
	再度入力情報を確認し、入力した情報に誤りがないか確認して下さい。

ESMPRO6			2-:	「名: Administrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト
Manager Her. U		アラートビューア	ウート	レ 環境設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルブ
di-7	root > SampleGroup > SampleServer	> 接続設定		【RADシステム管理モード:アドバンストモード】
Contemport	構成 間知	2 9	Y	2793-4
a 🖉 🛃 Sarpis Group	● サーバ設定 - ● ● 注意機能	接続設定に戻る	1	衰続チェック 実行結果
A 10	- The Express/Update Agent/9/2	管理	機能	(¥40
	- 国際教オブション設定	ExpressUpdate機能	検出	ExpressUpdate Agentを使用したExpressUpdate機能が使 用できます。
	回 🕿 BMC設定	RADシステム管理機能	桃出	RADシステム管理機能が使用できます。
├ 10 ESMPRO/ServerAcent E ├ 10 コンソールログ設定 └ 10 システムイベントログ自動	ESMPRO/ServerApent Ex	BMC(EXPRESSSOOPEエンジ ン)	桃出	BMC(EXPRESSSCOPEエンジン)が使用できます。
	⊢ 図 コンソールロク設定 ⊢ 図 システムイベントログ自動	SNMP (ESMPRO/ServerApent)	桃出	SNMP (ESMPRO/ServerAcent)が使用できます。
	□ LESMPRO/ServerApent			
├ 📑 サーバ監視設定				
	- 「クモートフェイクアッフ設定			
< >				

1.3.3.2 自動登録

- (1) 「グループ」ツリーからコンポーネントを所属させるグループ名をクリックしてください。
- (2) 「グループ情報」タブの「コンポーネントの追加」から「自動登録」をクリックしてください。

ESMPRO6		ユーザ名:Administrator [権限:アドミニストレータ] 旦	<i>"</i> アウト
Manager Ver.		アラートビューア ツール 環境設定 ESMPRO/ServerManagerについて	ヘルプ
Hu	root > SampleGroup	[RAIDシステム管理モード:アドバンスト	モード]
0,00-9 ▼	グループ情報		_
🗉 🔶 🎑 SampleGroup	○ 「「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「」」「」」「」」「」」「	E [登録数:0件] Page [1]
		■ 情報	Jpdati
	→ ● ■ <u>アラート状態</u>	TIDA	
	□ □ <u>グループの追加</u>		- 1
			- 1
			- 1
	通常管理		- 1
	- - - - - - - - - - - - - -		- 1
	└── 🛅 拡張ライセンス一覧		- 1
			- 1
			- 1
			- 1
		<	>

(3) 以下の項目を入力してください。

項目名	設定値
登録先グループ	自動登録機能で発見したコンポーネントを所属させるグル
检索範囲	
10 米 単四 検索モード	「IPアドレス範囲指定検索」を選択すると、指定された範囲のIPアドレスを持つコンポーネントを検索します。 「ネットワークアドレス検索」を選択すると、指定された ネットワークアドレスを持つコンポーネントを検索します。
開始アドレス	「IP アドレス範囲指定検索」を選択した時のみ表示されます。 コンポーネントを検索する IP アドレスの開始アドレス
終了アドレス	と終了アドレスを指定してください。
ネットワークアドレス	「ネットワークアドレス検索」を選択した時のみ表示され ます。コンポーネントを検索するネットワークアドレスと
ネットワークマスク	ネットワークマスクを指定してください。
SNMP (ESMPRO/ServerAgent)	1
検索	ESMPRO/ServerAgent がインストールされたコンポーネン トを検索する場合は、「有効」を選択してください。※1
SNMP コミュニティ名	対象となっているネットワーク上の機器に設定されている SNMPコミュニティ名を設定してください。 対象となっているネットワーク上の SNMPコミュニティ名 が不明な場合は、"public"を設定してください。
WS-Man	
検索	ESMPRO/ServerAgentService がインストールされたコンポ ーネントを検索する場合、もしくは VM ware ESX i5 サーバを 検索する場合に選択してください。※1、※2
ユーザ/パスワード	 WS-Man による管理を実施するためのユーザー名とパスワードを入力してください。追加をクリックすることで最大で5組のユーザー名、及びパスワードの組み合わせを設定できます。※3 検索したい管理対象により以下の内容を入力してください。 「Windows版 ESMPRO/ServerAgentServiceの場合」 Windowsのシステム管理者権限を持つローカルのユーザー名/パスワードを入力してください。ActiveDirectory上に作成したユーザーアカウントを使用することは出来ません。 「Linux版 ESMPRO/ServerAgentService の場合」
	Linuxの root ユーザー/パスワードを入力してください。 「VMwareESXi5 サーバの場合」 VMware ESXi5 サーバのシステム管理者権限を持つユー ザー名及びパスワードを入力してください。
RAID システム管理機能	
検索	コンポーネントの RAID システムを管理する場合は、「有効」 を選択してください。管理対象が ESXi サーバの場合は、

	RAIDシステム管理機能のみを有効にして		
	ESMPRO/ServerManager に登録することは出来ません。		
	RAID システム管理を使用する場合は、WS-Man の項目で、		
	ESXiサーバを管理するために必要な情報を入力した上で、		
	RAIDシステム管理機能を有効にしてください。		
ExpressUpdate 機能			
檢壺	ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合		
快系	は、「有効」を選択してください。		
BMC (EXPRESSSCOPEエンジン)			
论声	「有効」を選択してください。「無効」の場合、装置によっ		
使光	てはハードウェア監視を行えない場合があります。		
E	ExpressUpdate機能を使用する場合は、「有効」を選択してく		
Express opulate 1 kg HE	ださい。		
	コンポーネントの BMC と通信するための認証キーです。1.2		
	章「コンポーネントの BMC をコンフィグレーションする」		
認証キー	で設定した認証キーを入力してください。追加をクリック		
	することで最大で5つの認証キーを入力する事ができます。		
	×3, ×4		
Intel(R) vPro(TM) Technology			
檢索	EXPRESSSCOPEエンジン3が搭載されたコンポーネントの		
快不	みを検索する場合は「無効」を選択してください		

チェック:

 ※1: Linux版 ESMPRO/ServerManagerの場合、SNMPによる ESMPRO/ServerAgenet がインストールされたコンポーネントの管理、及び WS-Man による VM ware ESXi5 サーバの管理を行うことが出来ません。

これらの機能は Windows 版 ESMPRO/ServerManager でのみ提供されます。

- チェック:
- ※2:WS-Man 通信を使用する場合、以下のような場合では「1.3.1 環境設定を行う」
 を参考に ESMPRO/ServerManager で自己署名を許容する必要があります。
 - ・管理対象が VM ware ESX i5 サーバの場合

・管理対象側で ESMPRO/ServerAgentService と ESMPRO/ServerManager との通信に HTTPS を使用する設定を行っている場合でかつ、自己署名を使用している場合。

チェック:

 ※3: Web ブラウザ上の【環境設定】→【自動登録設定】の画面を開くことで、WS-Man 検索、BMC(EXPRESSSCOPEエンジン)検索、及び Intel(R) vPro(TM) Technology 検索で使用するユーザ/パスワードもしくは認証キーを、自動登録画面で入力する情 報とは別に予め5つまで登録することが出来ます。ここで入力した情報は、自動登 録を実施するたびにコンポーネント検索情報として使用されます。詳細は 1.3.3.3 自動登録設定機能をご確認ください。

チェック:

- ※4: フォールト・トレラント・サーバのマネージメントコントローラ管理を登録 する場合は、必ず CPU/IO モジュール 0 の BMC の IP アドレスと CPU/IO モジュー ル 1 の BMC の IP アドレスの両方を含む検索条件を設定してください。
- ※4: EXPRESSSCOPEエンジン SP3 搭載サーバ(2BMCモデル)のマネージメント コントローラ管理を登録する場合、必ずマスタ BMC の IP アドレスとスタンバイ BMCの IP アドレスの両方を含む検索条件を設定してください。
重要:BMC (EXPRESSSCOPE エンジン)の管理を行わない場合、装置によってはハード

- ウェア監視を行えない場合があります。装置ごとの詳細については自動登録結果画 面を参照してください。
- (4)

(4) 項目の入力が完了したら「検索」ボタンをクリックしてください。

「検索」ボタンをクリックすることでコンポーネントの検索を開始します。

画面は「IPアドレス範囲指定検索」を選択した場合の設定例です。



(5) 「自動登録」が終了すると、コンポーネントをリモート管理できるようになります。

ESMPR06	raat > SampleGraup > コンボーネントの ヴループ(64)	illini > 0 migal	2	2* 75***ビューア 5*	ーザ名 Administrator (補助 アドミニスト ール 原地設定 ESMPRO/Cerventione 【RADシステム管理モード	レータ1 ロジアウト INFCOLIT ヘルク INFFSDQFモード
I GREAMANNA I GREAMANNNA I GREAMANNNNA I GREAMANNNA I GREAMANNNA I GREAMANNNNA I GREAMANNNNN I GREAMANNNNN I GREAMANNNNNNNNN	□ジループ価格 ト ■ ゴノボーキンケー型 ト ■ ジループ油相	【影錄数:2件】 名前	R7Fb.2	77-UFALM	マネージテル LAN PZFレス CapressLipdate Accretの	PHT
		Management/Controller WhitehFRSAF4162	172162014	9776-21 172162013	- -	コンボーネントが 通知されました。 コンボーネントが 通知されました。

ヒント:

 自動登録の場合、ESMPRO/ServerManager上でのコンポーネントの名前「コンポー ネント名」は、システム管理が検索できない場合は「ManagementController + 番号」 になります。

ESMPRO/ServerManager 上の「コンポーネント名」は、Web ブラウザ上でコンポー ネントの「設定」-「接続設定」画面で変更できます。

1.3.3.3 自動登録設定機能

ESMPRO/ServerManager には自動登録時に使用する WS-Man 管理機能、BMC (EXPRESSSCOPE エンジン)管理機能、及び Intel(R) vPro(TM) Technology 管理機能のユーザ名/パスワードをそれぞれ 最大で 5 組まで予め設定しておく事ができます。

この機能を使用することにより、ネットワーク上にコンポーネントが追加された場合にもすぐにコンポーネント検索を実行することができます。

(1) ESMPRO ServerManagerの上部にある「環境設定」をクリックします。

ESMPRO	5	ユーザ	名: Administrator [権限:アドミニストレータ] エジアクト
Manager Her.		アラートビューア ツー・	環境設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルブ
グループ ◆National □ ◆ ■ TempleGroup	root クループ協秘 (2)グループ協秘 ト ● コンボーズルー型 ト ● ジループ協秘 ト ● ジループ協秘 ト ● ジループ協秘 ト ● ジループ協和 日 ● ジェープ協和 日 ● ジェープ 日 ● ジェーデ 日 ● ジェープ 日 ● ジェーデ 日 ● ジェーデ 日 ● ジェープ 日 ● ジェーデ 日 ● ジェー 日	 ● (金額数:1件) ● 竹根 名前▲ ○ ● ■ SampleGroup 	【RADシステム管理モード:アドバンストモード】 Pace[1] マネージナンカ コントローラ管理機能 アフドレス システノ
		<	,

(2) 「自動登録」タブをクリックします。

ESMPRO6		2	ーザ名: Administrator 【 椎限:アド	ミニストレータ] ログアウト
Manager Fir. U		アラートピューア ウ	/ール 環境設定 ESMPRO/Serve	rManagerについて ヘルブ
171-7 V	環境設定		【 RAIDシステム管理	モード:アドバンストモード]
o o Calendaria	ユーザアガウント アクセス制御 ネットワ	ーク オブジョン 自動量額	「後足」	
	【登録数:1件】ユーザの追加 ユーザ名▲ 指派 Administrator アドミニストレータ	ログイン数 1	1991	Page [1]

(3) 各項目を入力します。

ESMPRO6		ユーザ名:Administrate	*【権限:アドミニストレータ】 ログアウト
Manager Her. U		アラートビューア ツール 環境設定	ESMPRO/ServerManaperについて ヘルプ
Ø11-7 ▼	環境設定	[R/	ADシステム管理モード:アドバンストモード]
Øl∰smi) © Ø ∰Swektkop	ユーザアカウント アクセス制御 ネッ	ワークオブション 自動登録版定	
	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	àiteis an	
		81.6.4 M	
	ユーザバスワード	V	38.70
	BMC(EXPRESSSCOPEエンジン)	in the second	
	1212+-	追加	
	Intel(R) vPro(TM) Technology		
	ユーザバスワード	1/	違加

WS-Man

・「ユーザ/パスワード」

自動登録時に WS-Man 管理機能の検索に使用されるユーザー名とパスワードを入力してく ださい。追加を押すことで最大5組のユーザー名、パスワードを保存することができます。

BMC (EXPRESSSCOPEエンジン)

「認証キー」

自動登録時に BMC (EXPRESSSCOPE エンジン)管理機能の検索に使用される認証キーを入 力してください。追加を押すことで最大 5 つの認証キーを保存することができます。認証キ ーについては、1.2 章「コンポーネントの BMC をコンフィグレーションする」を参照して ください。

Intel(R) vPro(TM) Technology

・「ユーザ/パスワード」

自動登録時に Intel(R) vPro(TM) Technology 管理機能の検索に使用されるユーザー名とパスワードを入力してください。追加を押すことで最大5組のユーザー名、パスワードを保存することができます。

(4) 自動登録を実行します。

自動登録を実行することで、自動登録画面で入力した各項目のユーザ名パスワード(認証キー)に加えて、自動登録設定画面で設定したユーザ名パスワード(認証キー)の設定内容も 検索情報として自動登録の検索が実施されます。

第2章 EXPRESSSCOPE エンジン 3 以外の BMC 搭載コン ポーネントのセットアップ(LAN 接続)

この章では、ESMPRO/ServerManager からコンポーネント上の BMC および ESMPRO/ServerAgent Extension ver.1.xx (または DianaScope Agent) を LAN 経由でリモート管理するための、推奨するセットアップ手順を説明します。

2.1 セットアップの流れ(LAN 接続)

以下の手順でセットアップを行ってください。

- (1) ESMPRO/ServerManager インストールした管理 PC とコンポーネントを同一ネットワークに接続する。
- (2) コンポーネントの BMC をコンフィグレーションする。
- (3) ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録する。

2.2 コンポーネントの BMC をコンフィグレーションする(LAN 接続)

はじめにコンポーネントの BMC をコンフィグレーションします。

- ヒント:
- この章では、ESMPRO/ServerManager と BMC を接続するために必要な、最低限の コンフィグレーション項目の設定を説明します。BMC コンフィグレーションの設 定項目の詳細については、各ツールのドキュメントを参照してください。

LAN 経由でリモート管理する場合、コンポーネントの BMC のコンフィグレーションには 2 通りの 方法があります。いずれかの方法を選択して実行してください。

■ ESMPRO/ServerAgent Extension ver.1.xx、DianaScope Agentまたは EXPRESSBUILDER の 「システムマネージメント機能」を使ったコンフィグレーション

チェック:

 ESMPRO/ServerAgent Extension、DianaScope Agent 以外にも BMC をコンフィグレー ションするツールがありますが、ESMPRO/ServerManager のセットアップでは使用 できないものがあります。

- ・MWA Agent は使用しないでください。
- ・コンポーネントを EXPRESSBUILDER から起動して実行する「システム マネージメント機能」は、同じ EXPRESSBUILDER に ESMPRO/ServerManager が格納されている場合のみ使用できます。
- EXPRESSBUILDERのコンソールレス機能を使ったコンフィグレーション EXPRESSBUILDERのコンソールレス機能は、ディスプレイやキーボードが接続されていない コンポーネントをコンフィグレーションする機能です。

------チェック:

- EXPRESSBUILDERのコンソールレス機能を使ったコンフィグレーションは、同じ EXPRESSBUILDERに ESMPRO/ServerManager が格納されている場合のみ利用でき ます。
- EXPRESSBUILDERのコンソールレス機能については、コンポーネントに添付されているユーザーズガイドを参照してください。ユーザーズガイドにコンソールレス機能の説明がない場合はご利用いただけません。

2.2.1 ESMPRO/ServerAgent Extension ver.1.xx を使ってコンフィグレーションする(LAN 接続)

2.2.1.1 Windows版の ESMPRO/ServerAgent Extension ver.1.xx を使ったコンフィグレーション手順

Windows 版 ESMPRO/ServerAgent Extension の操作について説明します。

- (1) コンポーネントで Windows を起動後、Windows のスタートメニューから ESMPRO/ServerAgent Extension を起動してください。
- (2) ESMPRO/ServerAgent Extension のメインダイアログボックスが表示されます。 「コンフィグレーション情報設定」ボタンをクリックしてください。

以下はコンポーネントの BMC が標準搭載の LAN ポートを使用する場合の画面例です。

ESMPRO/ServerAgent Extension	×
コンフィグレーション コンフィグレーション情報設定 ファイル読み取り ファイル書き込み	通報確認 通報テスト
Agent IPアドレスの選択 BMC IPアドレス同期設定	閉じる
システム情報 BMC Firmware Version 01.20 SDR Version 00.04 BIOS Version SWV25.86B.0198.P22.0	401291336

(3) 「BMC コンフィグレーション」ダイアログボックスが表示されます。 「共通」タブページの項目を設定してください。

以下の項目を必ず設定してください。その他の項目は既定値のまま使用できます。

- 「コンピュータ名」
 コンポーネント毎に異なる名前を設定してください。
- ・「認証キー」

画面は設定例です。

BMC ኳንንℯሃ∿⊢ション	×
来週 LAN1 LAN2 WAN/タシイレクト ペーシャ	
管理情報 モデル名: Express5800/120Rf-1 [N8100-1058] コメント1:	
コンピュータ名: Blueberry リモート制御(LAN1): ● 有効 ○ 無効 認証キー: ****** リモート制御(WAN/ŷ*(レクト): ● 有効 ○ 無効 ジェニティ名: public リドー(LAN): ● 有効 ○ 無効	
リダイレクション(WAN/ダイレクション(WAN/ダイレクション(WAN/ダイレクション) 通報: ○ 有効 ○ 無効 通報: ○ 有効 ○ 無効 通報に答確認: ○ 有効 ○ 無効 通報: ○ 有効 ○ 無効 通報: ○ 生通報: ○ 有効 ○ 無効 通報: ○ 有効 ○ 無効 通報: ○ 生通報: ○ ○ 生通報: ○ 生通報: ○ ○ 生通報: ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
初期値に戻す 登録 キャン・	ยน 🏻

ヒント:

- コンポーネントが SOL対応サーバの場合に「リダイレクション(LAN)」項目を有効にすると、コンフィグレーション情報を登録する際に、LAN 経由のリモートコンソールのために必要な以下の項目が自動的に変更されます。
 - ・「共通」タブページの「リダイレクション(WAN/ダイレクト)」項目:有効
 - ・「WAN/ダイレクト」タブページの「フロー制御」項目:RTS/CTS

	 •		-					

- (4) 「LAN1」タブページ上の項目を設定してください。BMC の LAN1 について設定します。以下 の項目を設定してください。その他の項目は既定値のまま使用できます。
 - 「IPアドレスを自動的に取得する(DHCP)」 コンポーネントの BMC が DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得する機能の有効/ 無効を指定してください。有効を指定すると、登録後に「IP アドレス」、「サブネットマス ク」、「デフォルトゲートウェイ」の項目に BMC が DHCP サーバから取得した値が設定され ます。
 BMC がこの機能をサポートしている場合に有効に設定できます。
 - 「IPアドレス」 コンポーネント上の BMC が管理 LAN 用ポートを使用する場合、管理 LAN 用ポートの IP アドレスを入力してください。 コンポーネント上の BMC が標準搭載の LAN ポートを使用する場合、コンポーネントの OS 上の設定と必ず一致させてください。
 - ・「サブネットマスク」
 設定した IP アドレスのサブネットマスクを入力してください。
 - 「デフォルトゲートウェイ」
 ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC とコンポーネントの間でゲートウェイ を介す場合、入力してください。

```
画面は設定例です。
```

サーバ IPアトシスを自動的に (* 有効 (*) 取得する(DHCP): IPアトシス: 192.168.14.141 サフ*ネットマスク 255.255.255.0 テウォルトケートウェン:	通報設定 通報先/管理用PC IP7トルス 1) 次通報先/管理用PC(1): 192168.14.197 2) 次通報先/管理用PC(2): 3) 次通報先/管理用PC(3): 通報以トライ 通報以トライ 通報以トライ 通報以トライ 通報以トライ 6 美 秒
初期値に戻す	登録 キャンセル
<u>初期値に戻す</u> ント: 「LAN2」タブページはコ いる場合だけ表示されま 場合は、「LAN2」 タブへ	登録 キャンセル シポーネントの BMC が LAN2 経由の通信をサポート に す。ESMPRO/ServerManager と LAN2 経由でも通信した ページも同様に設定してください。

- (5) 「LAN1」または「LAN2」タブページで「デフォルトゲートウェイ」や同一ネットワーク上に 存在する「通報先/管理用 PC」を設定した場合は、ゲートウェイや通報先/管理用 PC がネッ トワークに接続されていることを確認してください。
- (6)「登録」ボタンをクリックしてください。 コンフィグレーション情報が BMC に設定されます。また、ネットワーク接続されているデフ オルトゲートウェイや通報先の MACアドレスが BMC に設定されます。

2.2.1.2 Linux 版の ESMPRO/ServerAgent Extension ver1.xx を使ったコンフィグレーション手順

Linux版 ESMPRO/ServerAgent Extension ver.1.xxの操作について説明します。

- (1) コンポーネントで Linux を起動後、以下の方法で ESMPRO/ServerAgent Extension の設定画面を 起動してください。
 - 日本語を表示できるターミナルの場合: kon /opt/nec/esmpro_sa_ex_sysman/agentconf-ja
 - 日本語を表示できないターミナルの場合: /opt/nec/esmpro_sa_ex_sysman/agentconf
- (2) ESMPRO/ServerAgent Extension のメインメニューが表示されます。 「システムマネージメントの設定」を選択してください。
 - 以下はコンポーネントの BMC が標準搭載の LAN ポートを使用する場合の画面例です。

BMCコンフィ	グレーション機能 バージョン 1.05
	システム情報 システムマネージメントの設定 BMC IPアドレス同期設定 Agent IPアドレスの選択 GUIUモートコンソール設定 終了
[Enter] 選抈	R [F12] ヘルプ

(3) 「システムマネージメントの設定」画面が表示されます。 「コンフィグレーション」を選択してください。

BMCコンフィグレーショ:	(機能 バージョン 1.05	
コンフィ 通報テス 1つ前のメ	システムマネージメントの設定 トーー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	[E12] o µ →	

(4) 「コンフィグレーション」画面が表示されます。 「コンフィグレーション情報設定」を選択してください。

BMCコンフィ	グレーション機能 バージョン 1.05
	コンフィグレーション コンフィグレーション 初期値に戻す ファイル読み取り ファイル書き込み 1つ前のメニューに戻る

(5) 「BMC コンフィグレーション」画面が表示されます。「共通」を選択してください。

BMCコンフィ	グレーション機能 バージョン 1.05	
	+ United フリインレーション + 連報服順位 LAN1 LAN1(通報服設定) LAN2 LAN2 LAN2 LAN2 LAN2 LAN2	
	WAN(通報設定) ページャ 保存 1つ前のメニューに戻る	
[Enter] 選拐	R [ESC] 戻る	

(6) 「共通」画面が表示されます。

以下の項目を必ず設定してください。その他の項目は既定値のまま使用できます。

- 「コンピュータ名」
- コンポーネント毎に異なる名前を設定してください。
- ・「認証キー」

画面は設定例です。

BMCコンフィグレーション	2機能 バージョン 1.05	
モデル名 コメント1	共通 Express5800/VC300b [N8100-1019]	
コンビュータ名 コンビュータ名 翌証キー	Blueberry	
コミュニティ名 通報 通報手順		
▲ 通報応答確認 通報レベル *Uモート判御	(*) 有効()無効 レベル4(回復不能,異常,警告,回復)	#
LAN1 LAN2 WAN/ダイレクト	(*) 有効 () 無効 (*) 有効 () 無効 (*) 有効 () 無効	
*リダイレクション LAN		
	KOKX Kキャンセルン	
[Tab] 移動 [Space] 選択	R [ESC] 戻る [F12] ヘルプ	

- コンポーネントが SOL対応サーバの場合に「リダイレクション(LAN)」項目を有効にすると、コンフィグレーション情報を登録する際に、LAN 経由のリモートコンソールのために必要な以下の項目が自動的に変更されます。
 ・「共通」画面の「リダイレクション(WAN/ダイレクト)」項目:有効・「WAN/ダイレクト」画面の「フロー制御」項目: RTS/CTS
- (7) 「BMC コンフィグレーション」画面から「LAN1」を選択してください。BMC の LAN1 につい て設定します。以下の項目を設定してください。その他の項目は既定値のまま使用できます。
 - 「IPアドレスを自動的に取得する(DHCP)」
 コンポーネントの BMC が DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得する機能の有効/
 無効を指定してください。有効を指定すると、登録後に「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の項目に BMC が DHCP サーバから取得した値が設定されます。
 - BMCがこの機能をサポートしている場合に有効に設定できます。
 - 「IPアドレス」 コンポーネント上の BMC が管理 LAN 用ポートを使用する場合、管理 LAN 用ポートの IP アドレスを入力してください。 コンポーネント上の BMC が標準搭載の LAN ポートを使用する場合、コンポーネントの OS 上の設定と必ず一致させてください。
 - 「サブネットマスク」
 設定した IP アドレスのサブネットマスクを入力してください。
 - ・「デフォルトゲートウェイ」 ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC とコンポーネントの間でゲートウェイ を介す場合、入力してください。

画面は設定例です。

	and the second second		
I	アドレスを自動的に取 *)有効 <mark>()無効</mark>	Q得する(DHCP)	
	アドレス ブネットマスク フォルトゲートウェイ	192.168.14.141_ 255.255.254.0_ 0.0.0.0_	
	۵		

ヒント: 「BMC コンフィグレーション」 画面の「LAN2」 はコンポーネントの BMC が LAN2 • 経由の通信をサポートしている場合だけ表示されます。ESMPRO/ServerManager と LAN2 経由でも通信したい場合は、「BMC コンフィグレーション」画面の「LAN2」、 「LAN2(通報設定)」画面も同様に設定してください。 チェック: • ESMPRO/ServerManager で、BMC の SNMP 通報を受信する場合は、以下の設定も 行ってください。 ・「LAN1(通報設定)」/「LAN2(通報設定)」 ・「1次通報先/管理用 PC(1)」: 「通報」: 有効 「IPアドレス」: ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PCの IP アドレス -----

- (8) 「LAN1」、「LAN1(通報設定)」または「LAN2」、「LAN2(通報設定)」画面で「デフォルトゲート ウェイ」や同一ネットワーク上に存在する「通報先/管理用 PC」を設定した場合は、ゲート ウェイや通報先/管理用 PC がネットワークに接続されていることを確認してください。
- (9) 「BMCコンフィグレーション」画面の「保存」を選択してください。
 コンフィグレーション情報が BMC に設定されます。また、ネットワーク接続されているデフ オルトゲートウェイや通報先の MACアドレスが BMC に設定されます。

2.2.2 EXPRESSBUILDER コンソールレス機能を使ってコンフィグレーション する(LAN 接続)

コンフィグレーション情報 FD に保存されたコンフィグレーション情報を、EXPRESSBUILDER の コンソールレス機能を使ってコンポーネント上に設定します。

チェック:

- EXPRESSBUILDERのコンソールレス機能を使ったコンフィグレーションは、同じ EXPRESSBUILDERに ESMPRO/ServerManager が格納されている場合のみ利用でき ます。
- EXPRESSBUILDERのコンソールレス機能については、コンポーネントに添付されているユーザーズガイドを参照してください。ユーザーズガイドにコンソールレス機能の説明がない場合はご利用いただけません。

以下の手順で操作してください。

- (1) コンフィグレーション情報ファイルを作成する
- (2) EXPRESSBUILDER コンソールレス機能を実行する

2.2.2.1 コンフィグレーション情報ファイルを作成する

(1) コンフィグレーション情報ファイルを作成します。任意の PC 上にインストールした ESMPRO/BMC Configuration を起動してください。

BMC בעב	ィクシレーション・			
新規作	र्रत्व	変更		
FD読み	啊」			

(2) 「新規作成」ボタンをクリックしてください。確認メッセージが表示されます。「OK」ボタン をクリックしてください。

- (3) 「BMC コンフィグレーション」ダイアログボックスが表示されます。「共通」タブページの項 目を設定してください。 以下の項目を必ず設定してください。その他の項目は既定値のまま使用できます。
 - 「コンピュータ名」
 コンポーネント毎に異なる名前を設定してください。
 「認証キー」
 - ・「リモート制御(LAN)」/「リモート制御(WAN/ダイレクト)」/ 「リダイレクション(LAN)」/「リダイレクション(WAN/ダイレクト)」 必ず有効に設定してください。

画面は設定例です。

BMC コンフィクジレーション	×
共通 LAN1 LAN2 WAN/タイレクト ページャ	
管理情報 モデル名: Express5800/120Rf-1 [N8100-1058]	
איזעב 24עעב	
BMC共通 コンピュータ名: Blueberry リモート制御(LAN1): ① 有効 ① 無効 認証キー: ***** リモート制御(WAN/ダイレクト): ① 有効 ① 無効 リミュニティ名: public リダイレクション(LAN): ① 有効 ① 無効	
 通報: ● 有効 ○ 無効 リモート制御(LAN2): ● 有効 ○ 無効 通報手順: ○ 全通報先 ● 1つの通報先 通報応答確認: ● 有効 ○ 無効 通報しへル: Level4(回復不能,異常,警告,回復) 	
初期値に戻す 登録 キャンセル	

- (4) 「LAN」タブページ上の項目を設定してください。 以下の項目を設定してください。その他の項目は既定値のまま使用できます。
 - 「IPアドレスを自動的に取得する(DHCP)」 コンポーネントの BMC が DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得する機能の有効/ 無効を指定してください。有効を指定すると、登録後に「IP アドレス」、「サブネットマス ク」、「デフォルトゲートウェイ」の項目に BMC が DHCP サーバから取得した値が設定され ます。
 BMC がこの機能をサポートしている場合に有効に設定できます。
 - 「IPアドレス」 コンポーネント上の BMC が管理 LAN 用ポートを使用する場合、管理 LAN 用ポートの IP アドレスを入力してください。
 コンポーネント上の BMC が標準 LAN ポートを使用する場合、コンポーネントの OS 上の 設定と必ず一致させてください。
 - ・「サブネットマスク」
 設定した IP アドレスのサブネットマスクを入力してください。
 - 「デフォルトゲートウェイ」
 ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC とコンポーネントの間でゲートウェイ を介す場合、入力してください。

画面は設定例です。

BMC コンフィクドレーション	×
共通 LAN LAN2 WAN/タイレクト ペーシシャ	
サーパ 通報服設定 IP7トレスを自動的な 有効 ・無効 IP7トレス: 192.168.14.141 サブネットマスク: 255.255.255.0 デウォルトケートウェイ: 3)欠通報先/管理用PC(3): - 通報限トライ 通報限トライ回数: 通報駅ケイムアウト: 6	
登録 キャンセル 適用は)

 チェック:
 ESMPRO/ServerManager と LAN2 経由でも通信したい場合は、「LAN2」タブページ も同様に設定してください。但し、コンポーネントが LAN2 経由の通信をサポート していない場合、「LAN2」タブページに入力した値は、コンポーネントに反映され

ません。 • 「IP アドレスを自動的に取得する(DHCP)」機能は BMC が管理 LAN 用ポートを使 用するコンポーネントでサポートされています。

その他のコンポーネントに対しては必ず無効を指定してください。

- チェック:
- ESMPRO/ServerManager で、BMC の SNMP 通報を受信する場合は、以下の設定も 行ってください。
 - 「LAN1」 / 「LAN2」
- ・「1次通報先/管理用 PC(1)」: ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC の IP アドレス ※チェックボックスを有効に設定してください。
- (5) ESMPRO/BMC Configuration を起動している装置のFDドライブにフォーマット済みのフロッピ ーディスクをセットして、「登録」ボタンを押してください。 保存先を指定するダイアログボックスが表示されます。
- (6) 保存先をフロッピーディスクのルートディレクトリにしてください。 ファイル名に「CSL_LESS.CFG」を入力して「OK」ボタンを押してください。

コンフィグレーション情報ファイルがフロッピーディスクに保存されます。この FD を「コンフィグレーション情報 FD」と呼びます。

チェック:

コンフィグレーション情報 FD を書き込み許可状態にしておいてください。

2.2.2.2 EXPRESSBUILDER コンソールレス機能を実行する

- (1) コンフィグレーション情報ファイル作成時に「デフォルトゲートウェイ」や同一ネットワーク 上に存在する「通報先/管理用 PC」を設定した場合は、ゲートウェイや通報先/管理用 PC が ネットワークに接続されていることを確認してください。
- (2) コンフィグレーション情報ファイルの内容を対象管理コンポーネントへ登録します。コンポー ネントの CD または DVD ドライブに EXPRESSBUILDER を、FD ドライブに「コンフィグレー ション情報 FD」をセットし、装置の電源を入れてください。

EXPRESSBUILDERのコンソールレス機能が起動し、コンフィグレーション情報 FDの中の情報をコンポーネントに設定します。また、ネットワーク接続されているデフォルトゲートウェイや通報先のMACアドレスが BMCに設定されます。 設定後、OS が再起動されます。

ヒント:

コンポーネントにコンフィグレーション情報ファイルの内容が既に設定されている場合は、リブートされません。

•	コンソールレス機能を使	「用すると、BIOS の設定が以下のように変更されます。
	Serial Port Address:	On Board COM B (SOL対応サーバの場合のみ)
	Baud Rate :	19.2kbps (SOL対応サーバの場合のみ)
	Flow Control :	SOL対応サーバの場合、RTS/CTS
		SOLに対応していないサーバの場合、No Flow
	Terminal Type (Console	Type): PC-ANSI (SOL対応サーバの場合のみ)
	コンポーネントが SOL求	†応サーバかどうかは「 <u>付録 D 管理対象コンポーネントー</u>
	<u>覧</u> 」で確認してください	0
•	コンソールレス機能実行	後、コンポーネントは、EXPRESSBUILDERのメインメニ
	ューが起動した状態にな	ります。ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録
	ESMDDO/SorverMond	agerの「リエートコンソール」画面でコンポーネントの画

ューが起動した状態になります。ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録 し、ESMPRO/ServerManager の「リモートコンソール」画面でコンポーネントの画 面を確認した後で、必要に応じて、コンポーネントの CD または DVD ドライブか ら EXPRESS BUILDER を取り出してください。

2.2.3 EXPRESSBUILDER システムマネージメント機能を使ってコンフィグレーションする(LAN 接続)

EXPRESSBUILDER の「システムマネージメント機能」を使ったコンフィグレーションでの操作について説明します。

- (1) コンポーネントで EXPRESSBUILDER を起動後、「TOOL MENU」から「System Management」 を選択してください。
- (2) システムマネージメント機能のメイン画面が表示されます。 「システムマネージメントの設定」を選択してください。

システムマネージメント機能	Rev4.24P	
ファームウェア管理情報の表示	_	
システムマネージメントの設定		
の意味を少切供用し		
選択:[Enter] 次項:[1] 前項:[1]	1 ヘルプ: [H∠b]	
<u>∭</u>		

(3) 「システムマネージメントの設定」画面が表示されます。 「コンフィグレーション」を選択してください。



(4) 「コンフィグレーション」画面が表示されます。 「新規作成」を選択してください。



(5) 「BMC 登録情報の編集」画面が表示されます。「共通」を選択してください。

BMC 登録情報の編集 井通 LAN1 LAN1 (通報設定) WAN/ダイレクト WAN (通報設定) 登録 キャンセル 選択: [Enter] 次項: [↓] 前項: [↑] ヘルプ: [H/h]					
<pre> Ho 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10</pre>	RMC 登録情報の編	<u>隹</u>			
LANI LANI (通報設定) WAN (通報設定) 登録 キャンセル 選択: [Enter] 次項:[↓] 前項:[↑] ヘルプ:[H/h]	共通	75			
LAN1 (通報設定) MAN (通報設定) 登録 キャンセル 選択: [Enter] 次項: [↓] 前項: [↑] ヘルプ: [H/h]	LAN1				-
WAN/ダイレクト WAN (通報設定) 登録 キャンセル 選択: [Enter] 次項:[↓] 前項:[↑] ヘルプ:[H/h]	LAN1(通報設定)				
WAN(通報設定) 登録 キャンセル 選択:[Enter] 次項:[↓] 前項:[↑] ヘルプ:[H/h]	WAN/ダイレクト				
登録 <u>キャンセル</u> 選択:[Enter] 次項:[↓] 前項:[↑] ヘルプ:[H/h]	WAN(通報設定)				
キャンセル 選択:[Enter] 次項:[↓] 前項:[↑] ヘルプ:[H/h]	登録				
選択:LEnter」次項:L↓」前項:L↑」ヘルフ:LH/h」	キャンセル		• • • • • • • • • • •		
	選択:[Enter] 次	塤:[↓] 則塤:[. [] ヘルフ: [H∕h]	

(6) 「共通」画面が表示されます。

以下の項目を必ず設定してください。その他の項目は既定値のまま使用できます。

- 「コンピュータ名」
 コンポーネント毎に異なる名前を設定してください。
- ・「認証キー」

画面は設定例です。

	共通	
	設定項目 :	設定値
	*管理情報	
	モデル名	[Express5800/i120Ra-e1]
	コメント1	
	コメントク	[]
	*BMC+通	
1	コンピュータ名	[B]ueberru]
5		[*****]
	コミュニティタ	
	通報	「有効」
	通報手順	[1つの通報先]
	通報広体確認	
		「しべし4(同復不能 異党 塾生 同復)」
	リモート制御(山へ)ダイレクト)	「右効」
	リビード前面WHIV テーレフトケー 日ガイロカション (LOND	
	ー フラキレフション (LHN) - ロガイロカション (LAN) ガイロカト (
	- ウジョレフジョン(WHIV ジョレフト) 1 つ前のメニューに見る	
	「フ的のケーエーに大る	-
	3醒坝・ICotool 次頂・I Li 前頂・I ↑ I	<u>へ しプ・14761</u>
	ÆM, LEILOIJ M*∐, L↓J ED*∐, L↓J	

ビント:

- コンポーネントが SOL対応サーバの場合に「リダイレクション(LAN)」項目を有効にすると、コンフィグレーション情報を登録する際に、LAN 経由のリモートコンソールのために必要な以下の項目が自動的に変更されます。
 「共通」画面の「リダイレクション(WAN/ダイレクト)」項目:有効
 - ・「WAN/ダイレクト」画面の「フロー制御」項目:RTS/CTS
- (7) 「BMC登録情報の編集」画面から「LAN1」を選択してください。BMCのLAN1について設定 します。以下の項目を設定してください。その他の項目は既定値のまま使用できます。
 - ・「IP アドレスを自動的に取得する(DHCP)」 コンポーネントの BMC が DHCP サーバから IP アドレスオ

コンポーネントの BMC が DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得する機能の有効/ 無効を指定してください。有効を指定すると、登録後に「IP アドレス」、「サブネットマス ク」、「デフォルトゲートウェイ」の項目に BMC が DHCP サーバから取得した値が設定され ます。

BMCがこの機能をサポートしている場合に有効に設定できます。

- 「IPアドレス」
 コンポーネント上の BMC が管理 LAN 用ポートを使用する場合、管理 LAN 用ポートの IP アドレスを入力してください。
 コンポーネント上の BMC が標準搭載の LAN ポートを使用する場合、コンポーネントの OS 上の設定と必ず一致させてください。
- 「サブネットマスク」
 設定した IP アドレスのサブネットマスクを入力してください。
 「デフォルトゲートウェイ」
- ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC とコンポーネントの間でゲートウェイ を介す場合、入力してください。

画面は設定例です。

LAN1	
設定項目	: 設定値
*サーバ	
IPアドレスを自動的に取得する(DHCP)	[有効]
IPアドレス	[192.168.14.141]
サブネットマスク	[255.255.255.0]
デフォルトゲートウェイ	[0.0.0]
1つ前のメニューに戻る	
_ 選択:[Enter] 次項:[↓] 前項:[↑] ヘルプ:	[H/h]
選択:[Enter] 次項:[↓] 前項:[↑] ヘルプ:	[H∕h]

ヒント: 「BMC登録情報の編集」画面の「LAN2」はコンポーネントの BMC が LAN2 経由 • の通信をサポートしている場合だけ表示されます。ESMPRO/ServerManagerとLAN2 経由でも通信したい場合は、「BMC 登録情報の編集」画面の「LAN2」、「LAN2(通 報設定)」画面も同様に設定してください。 _____ チェック: ESMPRO/ServerManager で、BMC の SNMP 通報を受信する場合は、以下の設定も ٠ 行ってください。 ・「LAN1(通報設定)」/「LAN2(通報設定)」 ・「1次通報先/管理用 PC(1)」: 「通報」: 有効 「IPアドレス」: ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PCの IP アドレス

- (8) 「LAN1」、「LAN1(通報設定)」または「LAN2」、「LAN2(通報設定)」画面で「デフォルトゲート ウェイ」や同一ネットワーク上に存在する「通報先/管理用 PC」を設定した場合は、ゲート ウェイや通報先/管理用 PC がネットワークに接続されていることを確認してください。
- (9)「BMC登録情報の編集」画面の「登録」を選択してください。 コンフィグレーション情報が BMC に設定されます。また、ネットワーク接続されているデフ オルトゲートウェイや通報先の MAC アドレスが BMC に設定されます。

2.3 ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録する

ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録する手順を示します。 ESMPRO/ServerManager にログインした後、以下の手順で操作してください。

(1) コンポーネントを任意のグループに所属させたい場合は、グループを登録する。(2) コンポーネントを登録する。

2.3.1 コンポーネントが所属するグループを登録する

(1) コンポーネントを任意のグループに所属させたい場合は、「グループ情報」タブで「グループの 追加」をクリックしてください。

ESMPRO6		ユーザ名: Administrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト
Manager Ver.		アラートビューア ツール 環境設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ
グループ	- root	[RAIDシステム管理モード : アドパンストモー ド]
🕸 🎑 root	グループ情報	
	 ジループ情報 □ コンボーネントー覧 □ グループ情報 ○ ジループ情報 ○ ジアラート状態 ○ ジープの追加 □ コンボーキシャの追加 □ コンボーキシャの追加 □ コンボーキシャの追加 	● 情報 査 マネージメント コノトローラ管理機能 マネージメント リアドレス システム管理機能 ExpressUr 前時 ● 日 ● ● ● ●

(2) グループ名を入力し、「追加」ボタンをクリックしてください。

画面は設定例です。

ESMPRO6		ユーザ名: Administrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト
Manager Ver.		アラートビューア ツール 環境設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ
グループ 🗸	root > グループの追加	[RAIDシステム管理モード : アドバンストモー ド]
🐠 🎑 root	グループ情報	
	 □ ジルーブ情報 □ コンボーネント<u>し</u> □ グルーブ情報 □ グルーブ情報 □ グルーブは報 □ ブルーブの追加 □ コンボーネントの追加 □ コンボーネントの追加 □ 拡張ライセンス一覧 	項目名 設定値 グルーブ名 [必須] SampleGroup 説明 道加 キャンセル

「グループ」ツリーに追加したグループが表示されます。

ESMPRO6		ユーザ名:	Administrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト
Manager Ver.		アラートビューア ツール ヨ	環境設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ
	root		[RAIDシステム管理モード:アドバンストモード]
<u>-</u>	グループ情報		
🚸 🞑 root			
🗉 🐠 📁 SampleGroup	「ログループ情報	┃	Page [1]
	🔤 コンボーネント一覧	■ 情報 2 ☆ ▲	<u> </u>
	ー 🖻 <u>グループ情報</u>		<u>コントローラ管理機能</u> <u>IPアドレス</u> 4
	- 💮 🕑 <u>アラート状態</u>	SampleGroup	
	- 📁 🎾 グループの追加		
	🗉 📃 コンボーネントの追加		
	🦾 📓 拡張ライセンス一覧		
			>

2.3.2 コンポーネントを登録する(LAN 接続)

コンポーネントの登録には2通りの方法があります。どちらかの操作を行ってください。

■ 手動登録

LAN 接続、ダイレクト接続、モデム接続のいずれでも登録可能です。 コンポーネントの BMC の IP アドレスなどの情報を直接入力して登録し、「接続チェック」を 実施します。

■ 自動登録

LAN接続の場合のみ、登録可能です。

ネットワーク上に存在する、ESMPRO/ServerManager上にまだ登録されていないコンポーネントを検索して登録します。この登録方法はコンポーネントと LAN 経由で通信する場合のみ使用できます。

2.3.2.1 手動登録

(1) コンポーネントを所属させるグループ名をクリックしてください。

ESMPRO6		ユーザ名: 4	Administrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト
Manager Ver.		アラートビューア ツール 環	境設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ
Hund M	root		[RAIDシステム管理モード:アドバンストモード]
◆ 🖾 root	グループ情報		
🗉 🏑 江 SampleGroup	1000000000000000000000000000000000000		Page [1]
	□ コンボーネント一覧 □ グループ情報 □ ジューン市振 □ ジュレーブの追加 □ □ □ コンボーネントの追加 □ □ □ 拡張ライセンス一覧	 ■ 情報 名前 ▲ ① ⑦ 算 SampleGroup 	
		<	>

(2)「グループ情報」タブの「コンポーネントの追加」から「手動登録」- 「通常管理」をクリックしてください。

ESMPRO6		ユーザ名:Administrator [権限 : ア アラートビューア ツール 環境設定 ESMPRO/Ser	ドミニストレータ] ログアウト verManagerについて ヘルプ
ゔル−ゔ ∨	root > SampleGroup グループ情報	[RAIDシステム管	「理モード:アドバンストモード]
 The second second	 グループ情報 → コンボーネントー覧 → ジループは超 → ジループの追加 → コンボーネントの追加 → = 自動登録 → 手動登録 → 手動登録 → 手動登録 → = 正常管理 → = 適常管理 → = 適応管理 	 	Page [1] A管理機能 序即余
		<	>

(3) 「手動登録」画面の以下の項目を入力してください。

項目名	設定値
	ESMPRO/ServerManager上で管理するためのコンポーネン
コンポーマントタ	トの名前です。他のコンポーネントの名前と重ならない名
コンホーネント名	前をつけてください。空白文字を含む名前は入力できませ
	ん。また、大文字と小文字は区別されます。
	コンポーネントの別名を指定できます。空白文字を含む名
別名	前は入力できません。また、大文字と小文字は区別されま
	す。
正屋グループ	コンポーネントを追加する先のグループ名を選択してくだ
	さい。
接続形態	LANを選択してください。
共通設定	
OS IP アドレス	コンポーネントの OS IP アドレスを入力してください。
SNMP (ESMPRO/ServerAgent)/ W	/S-Man
管理	コンポーネントのシステム管理を利用する場合は、「登録」
	を選択してください。
	管理対象の管理プロトコルを選択して下さい。
	$\lceil \text{SNMP} floor \approx 1$
管理対象	管理対象に ESMPRO/ServerAgent がインストールされてい
	る場合。
	$\lceil WS-Man \rfloor \times 1, \times 2$
	管理対象が VM ware ESX i5 サーバの場合。
	管理対象に「SNMP」を選択した時のみ表示されます。
	管理対象コンポーネントで稼動している SNMP エージェン
SNMPコミュニティ名(取得用)	トに設定された SNMP コミュニティ名を入力します。SNMP
	による情報取得、設定、監視などを行う場合は、この値を
	設定しておく必要があります。
	管理対象に「SNMP」を選択した時のみ表示されます。
	SNMP を使ってリモートのホストに対して設定を行う場合
	に、取得用の SNMP コミュニティ名と異なる SNMP コミュ
SNMPコミュニアイ名(設定用)	ニアイ名を使用する必要がある場合は、このフィールドに
	設定用の SNMP コミュニアイ名を英数字で指定してくたさ
	い。もし、このフィールドが設定されていなければ、取得
	用のSNMPコミュニアイ名で設定を試みます。
	「管理対象に「WS-Man」を選択した時のみ表示されます。
ユーザ名	WS-Man によるシステム官理を実施する場合に使用するユ
	ーサー名及びハスリードを入力します。
	・ 答理対象が VM wara FSY i5 サーバの提合
パスワード	「「「ANNA VIVIVANCEDARD」 「「「「「」」」 VMware FSXi5 サーバのシステト管理者権限を持つユーザ
	ー名及びパスワードを入力してください
	管理対象に「WS-Man」を選択した時のみ表示されます
プロトコル	WS-Man 管理で使用する通信のプロトコルを選択します
	管理対象に「WS-Man」を選択した時のみ表示されます。
ボート番号	WS-Man 管理で使用するポートを入力します。※3
RAID システム管理機能	
	管理対象が ESXi サーバの場合は、RAID システム管理機能
管理	のみを有効にして ESMPRO/ServerManager に登録すること
	は出来ません。RAID システム管理を使用する場合は、SNMP

	(ESMPRO/ServerAgent)/ WS-Man の項目で、ESXi サーバを管
	理するために必要な情報を入力した上で、RAID システム管
	理機能を登録にしてください。
ExpressUpdate 機能	
ExpressUpdate Agent 経由のアッ	ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合
プデート	は、「登録」を選択してください。
マネージメントコントローラ級	「未登録」を選択してください。EXPRESSSCOPE エンジ
中のアップデート	ン 3以外の BMC はマネージメントコントローラ経由のア
	ップデートに非対応です。
BMC(EXPRESSSCOPEエンジン	/) /vPro (Common)
答理	「登録」を選択してください。「未登録」の場合、装置によ
	ってはハードウェア監視を行えない場合があります。
管理対象	「BMC」を選択してください。
	コンポーネントの BMC(EXPRESSSCOPE エンジン)と通
認証と	信するための認証キーです。2.2章「コンポーネントの BMC
	をコンフィグレーションする(LAN接続)」で設定した認証
	キーを入力してください。
BMC(EXPRESSSCOPEエンジン	キーを入力してください。 <) / vPro (LAN)
BMC(EXPRESSSCOPEエンジン	キーを入力してください。 / √Pro (LAN) </ 下記に示す IP アドレス 1 に接続する場合は「IP アドレス 1」</td
BMC(EXPRESSSCOPEエンジ ン 接続 IPアドレス	 キーを入力してください。 /vPro (LAN) 下記に示す IP アドレス1に接続する場合は「IP アドレス1」 を、IP アドレス2に接続する場合は「IP アドレス2」を選
BMC (EXPRESSSCOPEエンジン 接続 IPアドレス	キーを入力してください。 / vPro (LAN) 下記に示す IP アドレス1に接続する場合は「IP アドレス1」 を、IP アドレス2に接続する場合は「IP アドレス2」を選択してください。
BMC(EXPRESSSCOPEエンジン 接続 IP アドレス	キーを入力してください。 /vPro (LAN) 下記に示す IP アドレス1に接続する場合は「IP アドレス1」 を、IP アドレス2に接続する場合は「IP アドレス2」を選択してください。 片方の IP アドレスへの通信がエラーになった場合にもうー
BMC(EXPRESSSCOPEエンジン 接続 IP アドレス フェイルオーバー	 キーを入力してください。 /vPro(LAN) 下記に示す IP アドレス1に接続する場合は「IP アドレス1」 を、IP アドレス2に接続する場合は「IP アドレス2」を選択してください。 片方の IP アドレスへの通信がエラーになった場合にもう一方の IP アドレスに切り替えて通信を続行するフェイルオー
BMC(EXPRESSSCOPEエンジン 接続 IP アドレス フェイルオーバー	キーを入力してください。 / / vPro (LAN) 下記に示す IP アドレス1に接続する場合は「IP アドレス1」 を、IP アドレス2に接続する場合は「IP アドレス2」を選 択してください。 片方の IP アドレスへの通信がエラーになった場合にもう一 方の IP アドレスに切り替えて通信を続行するフェイルオー バー機能の有効/無効を示します。
BMC(EXPRESSSCOPEエンジン 接続 IP アドレス フェイルオーバー	 キーを入力してください。 /vPro (LAN) 下記に示す IP アドレス1に接続する場合は「IP アドレス1」 を、IP アドレス2に接続する場合は「IP アドレス2」を選択してください。 片方の IP アドレスへの通信がエラーになった場合にもう一方の IP アドレスに切り替えて通信を続行するフェイルオーバー機能の有効/無効を示します。 2.2 章「コンポーネントの BMC コンフィグレーション」で
BMC(EXPRESSSCOPEエンジン 接続 IP アドレス フェイルオーバー IP アドレス 1	 キーを入力してください。 /vPro(LAN) 下記に示す IP アドレス1に接続する場合は「IP アドレス1」 を、IP アドレス2に接続する場合は「IP アドレス2」を選択してください。 片方の IP アドレスへの通信がエラーになった場合にもう一方の IP アドレスに切り替えて通信を続行するフェイルオーバー機能の有効/無効を示します。 2.2 章「コンポーネントの BMC コンフィグレーション」で設定した LAN1の IP アドレスを入力してください。
BMC (EXPRESSSCOPEエンジン 接続 IPアドレス フェイルオーバー IPアドレス1 サブネットマスク1 ※4	 キーを入力してください。 / vPro (LAN) 下記に示す IP アドレス1に接続する場合は「IP アドレス1」 を、IP アドレス2に接続する場合は「IP アドレス2」を選択してください。 片方の IP アドレスへの通信がエラーになった場合にもうー方の IP アドレスに切り替えて通信を続行するフェイルオーバー機能の有効/無効を示します。 2.2 章「コンポーネントの BMC コンフィグレーション」で設定した LAN1の IP アドレスを入力してください。 2.2 章「コンポーネントの BMC コンフィグレーション」で
 BMC (EXPRESSSCOPEエンジン 接続 IP アドレス フェイルオーバー IP アドレス 1 サブネットマスク 1 ※4 	 キーを入力してください。 / vPro (LAN) 下記に示す IP アドレス1に接続する場合は「IP アドレス1」 を、IP アドレス2に接続する場合は「IP アドレス2」を選択してください。 片方の IP アドレスへの通信がエラーになった場合にもう一方の IP アドレスに切り替えて通信を続行するフェイルオーバー機能の有効/無効を示します。 2.2 章「コンポーネントの BMC コンフィグレーション」で設定した LAN1の IP アドレスを入力してください。 2.2 章「コンポーネントの BMC コンフィグレーション」で設定した LAN1のサブネットマスクを入力してください。
BMC (EXPRESSSCOPEエンジン 接続 IP アドレス フェイルオーバー IP アドレス 1 サブネットマスク 1 ※4	 キーを入力してください。 /vPro(LAN) 下記に示す IP アドレス1に接続する場合は「IP アドレス1」 を、IP アドレス2に接続する場合は「IP アドレス2」を選択してください。 片方の IP アドレスへの通信がエラーになった場合にもうー方の IP アドレスに切り替えて通信を続行するフェイルオーバー機能の有効/無効を示します。 2.2 章「コンポーネントの BMC コンフィグレーション」で設定した LAN1の IP アドレスを入力してください。 2.2 章「コンポーネントの BMC コンフィグレーション」で設定した LAN1のサブネットマスクを入力してください。 2.2 章「コンポーネントの BMC コンフィグレーション」で
BMC (EXPRESSSCOPEエンジン 接続 IP アドレス フェイルオーバー IP アドレス 1 サブネットマスク 1 ※4 IP アドレス 2	 キーを入力してください。 /vPro(LAN) 下記に示す IP アドレス1に接続する場合は「IP アドレス1」 を、IP アドレス2に接続する場合は「IP アドレス2」を選択してください。 片方の IP アドレスへの通信がエラーになった場合にもうー方の IP アドレスに切り替えて通信を続行するフェイルオーバー機能の有効/無効を示します。 2.2 章「コンポーネントの BMC コンフィグレーション」で設定した LAN1の IP アドレスを入力してください。 2.2 章「コンポーネントの BMC コンフィグレーション」で設定した LAN1のサブネットマスクを入力してください。 2.2 章「コンポーネントの BMC コンフィグレーション」で設定した LAN1のサブネットマスクを入力してください。
BMC (EXPRESSSCOPEエンジン 接続 IPアドレス フェイルオーバー IPアドレス1 サブネットマスク1 ※4 IPアドレス2 サブネットマスク2 ※4	 キーを入力してください。 /vPro(LAN) 下記に示す IP アドレス1に接続する場合は「IP アドレス1」 を、IP アドレス2に接続する場合は「IP アドレス2」を選択してください。 片方の IP アドレスへの通信がエラーになった場合にもうー方の IP アドレスに切り替えて通信を続行するフェイルオーバー機能の有効/無効を示します。 2.2 章「コンポーネントの BMC コンフィグレーション」で設定した LAN1の IP アドレスを入力してください。 2.2 章「コンポーネントの BMC コンフィグレーション」で設定した LAN1のサブネットマスクを入力してください。 2.2 章「コンポーネントの BMC コンフィグレーション」で設定した LAN2の IP アドレスを入力してください。 2.2 章「コンポーネントの BMC コンフィグレーション」で

チェック:

 ※1: Linux版 ESMPRO/ServerManagerの場合、SNMPによる ESMPRO/ServerAgenet がインストールされたコンポーネントの管理、及び WS-Man による VM ware ESX i5 サーバの管理を行うことが出来ません。

これらの機能は Windows 版 ESMPRO/ServerManager でのみ提供されます。

チェック:

※2:WS-Man 通信を使用する場合、以下のような場合では「1.3.1 環境設定を行う」
 を参考に ESMPRO/ServerManager で自己署名を許容する必要があります。
 ・管理対象が VMwareESXi5 サーバの場合

チェック:

※3: WS-Man 管理時の使用ポート番号については「付録 CWS-Man 管理時のポート番号について」の章を参照してください。

- チェック:
- **※4:ESMPRO/ServerManager Ver.6.06**以降、サブネットマスクは表示しません。

画面は設定例です。 ESMPRO6 ユーザ名: Administrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト アラートビューア | ツール | 環境設定 | ESMPRO/ServerManagerについて | ヘルプ root > SampleGroup > コンポーネントの追加 > 手動登録 > 通常管理 [RAIDシステム管理モード:アドバンストモード] グループ ~ グループ情報 🐠 🛄 root 📁 グループ 情報 🗉 🚸 🚺 SampleGroup 項目名 設定値 ├- □ コンポーネント一覧 コンボーネント名 [必須] SampleServer - 🖻 グループ情報 別名 SampeServer -- ⑩ 1 25-ト状態 所属グループ SampleGroup 🗸 - 📁 🎾 グループの追加 接続形態 ● LAN ○ ダイレクト ○ モデム 🖻 📃 コンポーネントの追加 共通設定 📙 📃 自動登録 OS IPアドレス [必須] 172 16 30 40 🗆 📃 手動登録 SNMP (ESMPRO/ServerAgent)/ WS 🛏 📃 通常管理 管理 ● 登録 ○ 未登録 Imp アラート受信のみ管理 管理対象 💿 SNMP 🔘 WS-Man SNMPコミュニティ名(取得用) public SNMPコミュニティ名(設定用) RAIDシステム管理機能 管理 ● 登録 ○ 未登録 ExpressUpdate機能 ExpressUpdate Agent経由のアップデート ● 登録 ○ 未登録 マネージメントコントローラ経由のアップデート ○ 登録 ④ 未登録 BMC(EXPRESSSCOPEエンジン)/ vPro (Common) 管理 ● 登録 ○ 未登録 管理対象 💿 BMC 🔾 vPro 認証キー [必須] BMC(EXPRESSSCOPEエンジン)/ vPro (LAN) ● IPアドレス1 〇 IPアドレス2 接続IPアドレス フェイルオーバー ● 有効 ○ 無効 172 16 30 41 IPアドレス1 [必須] サブネットマスク1 <mark>|必須]</mark> 255 . 255 . 0 . 0 IPアドレス2 サブネットマスク2 255 . 255 . 255 . 0 追加 > <

(4) 「追加」ボタンをクリックしてください。

ヒント:
コンポーネントを手動登録しただけでは、まだコンポーネントをリモート管理できません。続けて「接続チェック」を行ってください。

(5) コンポーネントの「設定」タブから「接続設定」をクリックしてください。 「接続設定」ビューが 表示されます。

「接続チェック」ボタンをクリックすると、ESMPRO/ServerManagerが「接続チェック」を行って、リモート管理のために必要な情報をコンポーネントから収集します。

ESMPRO6		ユーザ名:A	idministrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト
Manager Fire		アラートビューア リール 環	現設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ
グループ 🗸	t > SampleGroup > SampleServe	w>接続股定	【RADシステム管理モード:アドバンストモード】
	國定		
📀 🛄 root			
- O Septimer		接続チェックが行われていない	ためコマンド実行できませんでした。 料料材
		项目名	102M
		コンボーネント名	SampleServer
		别名	SampleServer
		所属グループ	SampleGroup
		接続形態	LAN
		共通設定	
		05 P7FL 2	172.1630.40
		SNMP (ESMPRO/ServerAcent)/ WS-Man	THE REPORT OF
		管理	登録く無効>
		SNMPコミュニティ名(取得用)	public
		SNMPコミュニティ名(設定用)	26.6.6
1		RAIDシステム管理機能	
		管理	登録<無効>
		ExpressUpdate機能	
		ExpressUpdate Apent経由のアップデート	登録<無効>
		マネージメントコントローラ経由のアップデート	登録く無効>
		BMC(EXPRESSSCOPEエンジン) / vPro (Co	mmon)
		管理	登録<無効>
		管理对象	BMC
		1232年-	
		ユーザ名	
		パスワード	
		BMC(EXPRESSSOOPEエンジン)/ vPro (LA	N)
		接続P7Fレス	172.1630.41
		フェイルオーバー	無効
		P7FU21	172.1630.41
		サブネットマスク1	255.255.0.0
		P7FL22	000.0
		サブネットマスク2	255 255 295 0
		マネージメントコントローラ管理機能(モデム))
		電話醫号	
		V and	編碁チャック
		1	TRAIN C. S. P. C.

(6) 接続チェックボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。

ESMPRO6		ユーザ名: Administrator [権限:アドミニストレータ] ロクアウト
Manager Her. U		アラートビューア ツール 環境設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ
	root > SampleGroup > SampleServer > 接続設定 設定 してまた してまた たたちを知	【RADシステム管理モード:アドバンストモード】

(7) 接続チェックが終了すると接続チェック実行結果画面が表示されます。

接続チェックが完了することで、コンポーネントをリモート管理できるようになります

検出状態	説明
を山	管理の欄に表示されている機能を検出できた状態です。
陝 出	該当機能を使用できます。
	管理の欄に表示されている機能を検出できなかった状態です。
未検出	該当機能を使用できません。
	再度入力情報を確認し、入力した情報に誤りがないか確認して下さい。

ESMPRO6		アラードビューア	2-1	「名: Administrator [積限:アドミニストレータ] ロジアのト レー 環境協定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルブ
Ø16-7 ♥ ♥ ₽₹***	root > SampleGroup > SampleServer	> HARRE 2	r	【RADシステム管理モード:アドパンストモード】 スケジュール
a © C, Sanatana I ⊘I S, Sanatana		推续股泡に <u>戻る</u> 管理	HRADE N	業続チェック 実行結果 詳細
		ExpressUpdate機能 RADシステム管理機能 BMC(EXPRESSSCOPEエンジ ン)	株出 株出 株出	Express/Update Apentを使用したExpress/Update構成の使用できます。 RADシステム管理機能が使用できます。 BMD(EXPRESSSOCPEエンジン)が使用できます。
		SMAP (ESMPRO/ServerAsent)	株出	SNMP (ESMPRO/ServerAgent)が使用できます。
< >	< >			

2.3.2.2 自動登録

(1) 「グループ情報」タブの「コンポーネントの追加」から「自動登録」をクリックしてください。

ESMPRO6		ユーザ名: Administrator [権限:アドミニストレー	-タ] ログアウト
Manager Ver.		アラートビューア ツール 環境設定 ESMPRO/ServerManagerl	こついて ヘルプ
	root > SampleGroup	[RAIDシステム管理モード:]	アドバンストモード]
	グループ情報		
 	 ジループ情報 ○ コンボーネント一覧 ○ グループ情報 ○ グループ情報 ○ ブラート状態 ○ ブラート状態 ○ ジループの追加 □ コンボーネントの追加 □ コンボーネントの追加 □ コンボーネントの追加 □ コンボーネントの適加 □ 目動登録 □ 日動登録 □ 日動登録 □ 日動登録 □ 日勤登録 	 ・ (登録数: 0件) ■ 情報 ■ 日報 ■ コントローフ管理報能 エントローフ管理報能 ■ アドレス 	Page [1] ExpressUpdat
		<	>

(2) 以下の項目を入力してください。

項目名	設定値
登録先グループ	自動登録機能で発見したコンポーネントを所属させるグル ープを指定してください。
検索範囲	
検索モード	「IPアドレス範囲指定検索」を選択すると、指定された範囲のIPアドレスを持つコンポーネントを検索します。 「ネットワークアドレス検索」を選択すると、指定された ネットワークアドレスを持つコンポーネントを検索します。
開始アドレス	「IP アドレス範囲指定検索」を選択した時のみ表示されま
終了アドレス	9。コンホーネンドを検索93 IF アドレスの開始アドレス と終了アドレスを指定してください。
ネットワークアドレス	「ネットワークアドレス検索」を選択した時のみ表示され ます。コンポーネントを検索するネットワークアドレスと
ネットワークマスク	ネットワークマスクを指定してください。
SNMP (ESMPRO/ServerAgent)	
検索	ESMPRO/ServerAgent がインストールされたコンポーネントを検索する場合は、「有効」を選択してください。※1
SNMP コミュニティ名	対象となっているネットワーク上の機器に設定されている SNMPコミュニティ名を設定してください。 対象となっているネットワーク上の SNMPコミュニティ名 が不明な場合は、"public"を設定してください。
WS-Man	
検索	VM ware ESXi5 サーバを検索する場合に選択してください。 ※1、※2
ユーザ/パスワード	WS-Man による管理を実施するためのユーザー名とパスワ ードを入力してください。追加をクリックすることで最大 で 5 組のユーザー名、及びパスワードの組み合わせを設定 できます。※3 検索したい管理対象により以下の内容を入力してくださ い。 「VMwareESXi5サーバの場合」 VMware ESXi5 サーバのシステム管理者権限を持つユーザ ー名及びパスワードを入力してください。
RAID システム管理機能	
検索	コンボーネントの RAID システムを管理する場合は、「有効」 を選択してください。管理対象が ESXi サーバの場合は、 RAID システム管理機能のみを有効にして ESMPRO/ServerManager に登録することは出来ません。 RAID システム管理を使用する場合は、WS-Manの項目で、 ESXi サーバを管理するために必要な情報を入力した上で、 RAID システム管理機能を有効にしてください。
ExpressUpdate 機能	
検索	ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合 は、「有効」を選択してください。
BMC(EXPRESSSCOPEエンジン	/)
検索	「有効」を選択してください。「無効」の場合、装置によっ てはハードウェア監視を行えない場合があります。
ExpressUpdate 機能	「無効」を選択してください。EXPRESSSCOPE エンジン 3 以外の BMC はマネージメントコントローラ経由のアップ デートに非対応です。
------------------------------	---
認証キー	コンポーネントの BMC と通信するための認証キーです。2.2 章「コンポーネントの BMC をコンフィグレーションする (LAN 接続)」で設定した認証キーを入力してください。追 加をクリックすることで最大で 5 つの認証キーを入力する 事ができます。※2
Intel(R) vPro(TM) Technology	
検索	EXPRESSSCOPEエンジン3以外のBMCが搭載されたコン ポーネントのみを検索する場合は「無効」を選択してくだ さい。

チェック:

 ※1: Linux版 ESMPRO/ServerManagerの場合、SNMPによる ESMPRO/ServerAgenet がインストールされたコンポーネントの管理、及び WS-Man による VM ware ESXi5 サーバの管理を行うことが出来ません。

これらの機能は Windows 版 ESMPRO/ServerManager でのみ提供されます。

- チェック:
- ※2:WS-Man 通信を使用する場合、以下のような場合では「1.3.1 環境設定を行う」 を参考に ESMPRO/ServerManager で自己署名を許容する必要があります。
 ・管理対象が VMwareESXi5 サーバの場合

チェック

 ※3: Webブラウザ上の【環境設定】→【自動登録設定】の画面を開くことで、WS-Man 検索、BMC(EXPRESSSCOPEエンジン)検索、及びIntel(R) vPro(TM) Technology 検索で使用するユーザパスワードもしくは認証キーを、自動登録画面で入力する情 報とは別に予め5つまで登録することが出来ます。ここで入力した情報は、自動登 録を実施するたびにコンポーネント検索情報として使用されます。詳細は 1.3.3.3 自動登録設定機能をご確認ください。

(3) 「検索」ボタンをクリックしてください。

「検索」ボタンをクリックすることで、コンポーネントの検索を開始します。

-	root > SampleGroup > コンボーネンドの	の通知と自動発展		[8	ADシステム管理モード	アドバンスト
-1	クループは取					
Cilent.						
E () (laugeting)	ロジループ領報	1082	No. Contraction	122244		
	一日二十一十二十一五	な時帯グループ	Sample/Group V			
	- 節 グループ議報	19/2/10/	[omplected) +]			
		持ちモード	■ 1271,7 算器数	2時季 〇 ネートワークアドレ	280	
 □ <u>グループの活動</u> □ <u>ゴル</u> (→ ±) + の通知 □ <u>二</u> (→ ±) + 0.0000 □ <u>1</u> (→ ±) + 0.00000 □ <u>1</u> (→ ±) + 0.00000 □ <u>1</u> (→ ±) + 0.000000 □ <u>1</u> (→ ±) + 0.0000000000000000000000000000000000	MN/243, 2 64/81	172 15	20 50	010.00		
	日日ゴノボーキンクの通知	18 7 7 13 7 (ASI)	199 196 1	260 260		
		THE ADDRESS OF	Accession (19)	KA		
	- HWAR	16th	* #th () #th			
	E 7 440715	94.671-74.214	and mobile			
	- 画 証法シイセンス一覧	Wolden	and proves			
		移動	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
		フーザルシフロード	Administrator	1	NO. 101	
			The second second		m	P.
		ユーザバスワード		//		
		RADSZTATTER	Contract Contract			
	N	(K)(0)	●有効 ○無効			
		ExpressOpdater@Elle	R HOL CHEM			
		ELEVE VOIDE DODAVIE Y				
		18:2	· # # 25 () # 25			
		European Instate Will	0800 - #00			
		17/12+	Co Hina oo Hina	APR BITS		
		POST -				
		1211+-	. L	18.16		
		Intellio wholing Technic	okary			
		07.m				
		ユーザバスワード	Administrator	/ *******	相葉 約3	8
		ユーザバスワード		1/		這加
				狭常		

画面は「IPアドレス範囲指定検索」を選択した場合の設定例です。

(4) 「自動登録」が終了すると、コンポーネントをリモート管理できるようになります。

t−7 V	グループ1819						
a 🖉 👯 maaraa	レージョンボーキンター制	[歐緯数:2件]			-		
S S Martinet Contra		88	87R.2	マネーリチオレルト 19771レス1	272-9754 UNI P7FL 2	ExpressUpdate Apert® インストール	PHT
		ManagementController		172162013		-	コンボーネントが 潮加されました。
	日日コンボーキントの追加	WN-ENFRSMF41K2	172.16.20.14			-	コンボーネントが 遠加されました。
	= <u>1</u> 56220 = <u>1</u> 5628 <u>■ 13551022-1</u>						

ヒント:

 自動登録の場合、ESMPRO/ServerManager 上でのコンポーネントの名前「コンポー ネント名」は、SNMP コミュニティ名が設定されていない場合は 「ManagementController + 番号」になります。
 ESMPRO/ServerManager 上の「コンポーネント名」は、Web ブラウザ上でコンポー

ネントの「設定」-「接続設定」画面で変更できます。

第3章 EXPRESSSCOPE エンジン 3 以外の BMC 搭載コン ポーネントのセットアップ(ダイレクト接続/モデム接続)

この章では、ESMPRO/ServerManagerからコンポーネント上の BMC, System BIOS をダイレクト接続 またはモデム接続でリモート管理するための、推奨するセットアップ手順を説明します。 ダイレクト接続の場合を中心に説明します。

3.1 セットアップの流れ(ダイレクト接続/モデム接続)

以下の手順でセットアップを行ってください。

- (1) ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC とコンポーネントを接続する。 ダイレクト接続の場合は、ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC とコンポーネン トを RS-232C クロスケーブルで直結します。ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC 側は、「環境設定」画面で指定した番号のシリアルポートにケーブルを接続してください。
- (2) コンポーネントの BMC をコンフィグレーションする。
- (3) ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録する。

3.2 コンポーネントの BMC をコンフィグレーションする(ダイレク ト接続/モデム接続)

はじめにコンポーネントの BMC をコンフィグレーションします。

ヒント:

 この章では、ESMPRO/ServerManager と BMC を接続するために必要な、最低限の コンフィグレーション項目の設定を説明します。BMC コンフィグレーションの設 定項目の詳細については、各ツールのドキュメントを参照してください。

コンポーネントの BMC のコンフィグレーションには以下の方法があります。

ESMPRO/ServerAgent Extension、DianaScope Agent または EXPRESSBUILDER の「システムマネージメント機能」を使ったコンフィグレーション
 本書では Windows 版の ESMPRO/ServerAgent Extension を使ってコンフィグレーションする方法を説明します。

-----チェック:

- ESMPRO/ServerAgent Extension、DianaScope Agent 以外にも BMC をコンフィグレー ションするツールがありますが、ESMPRO/ServerManager のセットアップでは使用 できないものがあります。
 - ・MWA Agent は使用しないでください。
 - ・コンポーネントを EXPRESSBUILDER から起動して実行する「システム マネージメント機能」は、同じ EXPRESSBUILDER に ESMPRO/ServerManager が格納されている場合のみ使用できます。

■ EXPRESSBUILDER のコンソールレス機能を使ったコンフィグレーション

EXPRESSBUILDER のコンソールレス機能は、キーボードが接続されていないコンポーネント をコンフィグレーションする機能です。ディスプレイやキーボードなどのコンソールが接続さ れていないコンポーネントをダイレクト接続するときは、この方法で BMC のコンフィグレー ションを行います。

------チェック:

- EXPRESSBUILDERのコンソールレス機能を使ったコンフィグレーションは、同じ EXPRESSBUILDERに ESMPRO/ServerManager が格納されている場合のみ利用でき ます。
- EXPRESSBUILDERのコンソールレス機能については、コンポーネントに添付されているユーザーズガイドを参照してください。ユーザーズガイドにコンソールレス機能の説明がない場合はご利用いただけません。

3.2.1 ESMPRO/ServerAgent Extension を使ってコンフィグレーションする(ダ イレクト接続/モデム接続)

ここでは、Windows 版の ESMPRO/ServerAgent Extension を使って、ダイレクト接続またはモデム経由でコンポーネントをリモート管理するためのコンフィグレーション手順を説明します。 ESMPRO/ServerAgent Extension での操作について説明します。

- (1) コンポーネントで Windows を起動後、Windows のスタートメニューから ESMPRO/ServerAgent Extension を起動してください。
- (2) 「コンフィグレーション情報設定」ボタンをクリックしてください。確認メッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。
- (3) 「BMC コンフィグレーション」ダイアログボックスが表示されます。「共通」タブページの項 目を設定してください。以下の項目を必ず設定してください。その他の項目は既定値のまま使 用できます。
 - 「コンピュータ名」
 コンポーネント毎に異なる名前を設定してください。
 「認証キー」
- (4) 「WAN/ダイレクト」タブページの項目を設定してください。以下の項目を必ず設定してくだ さい。その他の項目は既定値のまま使用できます。
 - ・「シリアルポート使用モード」
 ダイレクト接続の場合、「ダイレクト」を選択してください。
 モデム経由で通信する場合、「モデム」を選択してください。
 - 「フロー制御」
 「RTS/CTS」を選択してください。
- (5) 「登録」ボタンをクリックしてください。 コンフィグレーション情報が BMC に設定されます。

3.2.2 EXPRESSBUILDER コンソールレス機能を使ってコンフィグレーション する(ダイレクト接続/モデム接続)

コンフィグレーション情報 FD に保存されたコンフィグレーション情報を、EXPRESSBUILDER の コンソールレス機能を使ってコンポーネント上に設定します。 ダイレクト接続でリモート管理する場合について説明します。

チェック:

- EXPRESSBUILDER のコンソールレス機能は、同じ EXPRESSBUILDER に ESMPRO/ServerManager が格納されている場合のみ使用できます。
- EXPRESSBUILDERのコンソールレス機能については、コンポーネントに添付されているユーザーズガイドを参照してください。ユーザーズガイドにコンソールレス機能の説明がない場合はご利用いただけません。

以下の手順で操作してください。

- (1) コンフィグレーション情報ファイルを作成する
- (2) EXPRESSBUILDER コンソールレス機能を実行する

3.2.2.1 コンフィグレーション情報ファイルを作成する

- (1) コンフィグレーション情報ファイルを作成します。任意の PC 上にインストールした ESMPRO/BMC Configuration を起動してください。
- (2) 「新規作成」ボタンをクリックしてください。確認メッセージが表示されます。「OK」ボタン をクリックしてください。
- (3) 「BMC コンフィグレーション」ダイアログボックスが表示されます。「共通」タブページの項 目を設定してください。

以下の項目を必ず設定してください。その他の項目は既定値のまま使用できます。

- ・「コンピュータ名」
 - コンポーネント毎に異なる名前を設定してください。
- 「認証キー」
- ・「リモート制御(WAN/ダイレクト)」/「リダイレクション(WAN/ダイレクト)」 必ず有効に設定してください。
- (4) 「WAN/ダイレクト」タブページの項目を設定してください。

以下の項目を必ず設定してください。その他の項目は既定値のまま使用できます。 ・「シリアルポート 使用モード」 ダイレクト接続の場合、「ダイレクト」を選択してください。 モデム経由で通信する場合、「モデム」を選択してください。 ・「フロー制御」 「RTS/CTS」を選択してください。

(5) ESMPRO/BMC Configuration を起動している装置のFDドライブにフォーマット済みのフロッピ ーディスクをセットして、「登録」ボタンを押してください。 保存先を指定するダイアログボックスが表示されます。 (6) 保存先をフロッピーディスクのルートディレクトリにしてください。 ファイル名に「CSL_LESS.CFG」を入力して「OK」ボタンを押してください。 コンフィグレーション情報ファイルがフロッピーディスクに保存されます。この FD を「コン フィグレーション情報 FD」と呼びます。

チェック:
コンフィグレーション情報 FD を書き込み許可状態にしておいてください。

3.2.2.2 EXPRESSBUILDER コンソールレス機能を実行する

(1) コンフィグレーション情報ファイルの内容を対象管理コンポーネントに登録します。コンポー ネントの CD または DVD ドライブに EXPRESSBUILDER を、FD ドライブに「コンフィグレー ション情報 FD」をセットし、装置の電源を入れてください。

EXPRESSBUILDERのコンソールレス機能が起動し、コンフィグレーション情報 FD の中の情報をコンポーネントに設定した後、OS が再起動されます。

ヒント:

コンポーネントにコンフィグレーション情報ファイルの内容が既に設定されている場合は、リブートされません。

•	コンソールレス機能を使用する	と、BIOSの設定を以下のように変更します。
	Serial Port Address:	On Board COM B
	Baud Rate :	19.2kbps
	Flow Control :	SOL対応サーバの場合、No Flow
		SOLに対応していないサーバの場合、RTS/CTS
	Terminal Type (Console Type) :	PC-ANSI
	コンポーネントが SOL 対応サー	バかどうかは「付録 D 管理対象コンポーネントー
	覧」で確認してください。	
•	コンポーネントは、EXPRESSBU	JILDERのメインメニューが起動した状態になりま
	す。ESMPRO/ServerManager にい	コンポーネントを登録し、ESMPRO/ServerManager
	の「リモートコンソール」画面~	でコンポーネントの画面を確認した後で、必要に応
	じて、コンポーネントの CD ま	たは DVD ドライブから EXPRESSBUILDER を取り

出してください

3.3 ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録する(ダイレ クト接続/モデム接続)

ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録し、接続チェックを実施します。 ESMPRO/ServerManager にログインした後、以下の手順で操作してください。

(1) コンポーネントをグループに所属させたい場合は、グループを登録する。

(2) コンポーネントを登録する。

3.3.1 コンポーネントが所属するグループを登録する

2.3.1章を参照してください。

3.3.2 コンポーネントを登録する(ダイレクト接続/モデム接続)

- (1) 「グループ」ツリーからコンポーネントが所属するグループ名をクリックしてください。
- (2)「グループ情報」タブの「コンポーネントの追加」から「手動登録」-「通常管理」をクリックしてください。
- (3) 以下の項目を入力してください。

項目名	設定値		
コンポーネント名	コンポーネントをリモート管理するための名前を入力して ください。他のコンポーネントと異なる名前を設定してく ださい。空白文字を含む名前は入力できません。また、大 文字と小文字は区別されます。		
別名	コンポーネントの別名を指定できます。空白文字を含む名 前は入力できません。また、大文字と小文字は区別されま す。		
所属グループ	コンポーネントを追加する先のグループ名を選択してくだ さい。		
接続形態	 ・ダイレクト接続の場合 ⇒「ダイレクト」を選択してください。 ・モデム接続の場合 ⇒「モデム」を選択してください。 		
BMC (EXPRESSSCOPEエンジン) /vPro (Common)			
認証キー	「コンポーネント」の「BMC コンフィグレーション」で設 定した認証キーを入力してください。		
マネージメントコントローラ管理	機能 (モデム)		
電話番号	接続形態で「モデム」を選択した場合にのみ表示されます。 モデム接続で使用する電話番号を記載してください。		

ヒント:

その他の項目の詳細についてはオンラインヘルプを参照してください。

(4) 「追加」ボタンをクリックしてください。

ヒント:

- コンポーネントを手動登録しただけでは、まだコンポーネントをリモート管理できません。
 下記に示す「接続チェック」を実行してください。
- (5) 「設定」タブから「接続設定」をクリックしてください。 「接続設定」画面で「接続」ボタンを クリックしてください
- (6) 「接続チェック」ボタンをクリックしてください。

ESMPRO/ServerManager がコンポーネントの BMC と通信して接続確認を行います。また、リ モート管理のために必要な情報をコンポーネントから収集します。 「接続チェック」が終了すると、コンポーネントをリモート管理できるようになります。

検出状態	説明
検出	管理の欄に表示されている機能を検出できた状態です。 蒸光機能を使用できます
未検出	管理の欄に表示されている機能を検出できなかった状態です。 該当機能を使用できません。 再度入力情報を確認し、入力した情報に誤りがないか確認して下さい。

チェック:

コンポーネントに対するリモートでの作業が終了したら、「接続設定」画面で「切断」ボタンをクリックして回線を切断してください。

第4章 EMカードとブレード収納ユニットの管理

4.1 概要

ESMPRO/ServerManager はブレード収納ユニットに搭載されている EM カードと通信して、以下の 機能を実行できます。

■ 情報収集

EM カードが搭載されているブレード収納ユニットの状態や情報を収集して表示します。以下の 情報を収集できます。

・ブレード/EM カード/スイッチモジュール一覧

CPU ブレード、EM カード、スイッチモジュールの各スロット実装状態に変更があったときに、実装状態を取得します。

- ・筐体情報
 - ブレード収納ユニット名や、ブレード収納ユニットが搭載されているラックのラック名、 ラック IDを取得できます。
- ・EM カード/スイッチモジュール状態 EM カードおよびスイッチモジュールの STATUS ランプの状態を取得できます。

■ コンポーネント監視

筐体の各スロット実装状態や、EM カード、スイッチモジュールの STATUS ランプの状態を常 に監視し、実装状態変更や障害が発生した場合に、オペレータに通知します。

■ CPUブレード自動登録

新しく実装された CPU ブレードを検出したとき、EM カードを経由して CPU ブレードの BMC コンフィグレーションを行います。また、ESMPRO/ServerManager 上へのコンポーネント登録と 接続チェックを行います。

4.2 動作環境

ESMPRO/ServerManagerが管理する EM カードは以下の通りです。

- ハードウェア 「付録 D 管理対象コンポーネント一覧」に記載されている EM カード。
 - 接続メディア TCP/IP ネットワーク

チェック:

 EM カードには ESMPRO/ServerAgent Extension および DianaScope Agent をインスト ールできません。

4.3 EM カードのセットアップ

4.3.1 セットアップの流れ

以下の手順でセットアップを行ってください。

- (1) ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC と EM カードを同一ネットワークに接続する。
- (2) EM カードに ESMPRO/ServerManager と通信するための設定を行う。
- (3) ESMPRO/ServerManager に EM カードを登録する。

4.3.2 EM カードに ESMPRO/ServerManager と通信するための設定を行う

EM カード上で、以下の設定を行ってください。詳細は EM カードのユーザーズガイドを参照して ください。

(1) EM カード自身の IP アドレスを設定してください。

-----チェック:

- EMカード自身にIPアドレスを設定するときは、IPアドレスの最後の数値が4の倍数になる値を指定してください。異なる値を指定した場合、ESMPRO/ServerManagerからの接続チェックが失敗します。
- ESMPRO/ServerManager は EM カードと「固定 IP」を使用して通信します。

(2) ESMPRO/ServerManager 連携機能の設定を変更してください。

SIGMABLADE-M 用 EM カードの場合は、setdsl コマンドを利用します。 SIGMABLADE-H v2 用 EM カードの場合は、SET DSGSTATE コマンドおよび SET DSGPASSWORD コマンドを利用します。

4.3.3 ESMPRO/ServerManager に EM カードを登録する

ESMPRO/ServerManager に EM カードを登録する方法は、通常のコンポーネントと同じです。 下記の2通りの方法があります。どちらかの操作を行ってください。

■ 手動登録

EM カードの IP アドレスなどの情報を直接入力して登録し、「接続チェック」を実施します。

■ 自動登録

ネットワーク上に存在する、ESMPRO/ServerManager上にまだ登録されていないコンポーネントとともに、EMカードも検索して登録します。

ヒント:

- 「接続チェック」を行うことにより、ESMPRO/ServerManager は登録したコンポー ネントが EM カードであることを識別します。
- EM カードの「接続チェック」が終了すると、ESMPRO/ ServerManagerの筐体一覧 に、EM カードが実装されているブレード収納ユニット(筐体)の情報が追加されま す。
- ESMPRO/ ServerManager 上での筐体名は、EM カード上に設定されているブレード 収納ユニット名の先頭16文字になります。(同じ名前が既に登録されていた場合は、 「ブレード収納ユニット名+番号」になります。)
 ESMPRO/ServerManager 上の筐体名は、Web ブラウザ上で「筐体情報」画面で変更

```
できます。
```

4.3.3.1

4.3.3.1 手動登録

(1) 「コンポーネント一覧」画面または「グループ」ツリーで EM カードを所属させるグループ名 をクリックしてください。

(2) 選択したグループの「グループ情報」タブの「コンポーネントの追加」から「手動登録」-「通 常管理」をクリックしてください。

(3) 「手動登録」画面で以下の項目を入力してください。

項目名	設定値
	EM カードをリモート管理するための名前を入力してくだ
コンポーネント名	さい。他のコンポーネントおよび EM カードと異なる名前
	を設定してください。空白文字を含む名前は入力できませ
	ん。また、大文字と小文字は区別されます。
	EM カードについて説明を書き込むことができます。空白文
別名	字を含む名前は入力できません。また、大文字と小文字は
	区別されます。
所属グループ	コンポーネントを追加する先のグループ名を選択してくだ
	さい。
接続形態	LANを選択してください。
OSIPアドレス	EM カードの「固定 IP」を入力してください。
SNMP (ESMPRO/ServerAgent)/ W	/S-Man
管理	「登録」を選択してください。
管理対象	「SNMP」を選択してください。
SNMPコミュニティ名(取得用)	EM カード上で設定した「GET コミュニティ名」を入力し
	てください。デフォルト値は"Pubulic"です。
SNMPコミュニティ名(設定用)	EM カード上で設定した「SET コミュニティ名」を入力して
	ください。デフォルト値は"Pubulic"です。
RAID システム管理機能	•
管理	「未登録」を選択してください。
ExpressUpdate 機能	
ExpressUpdate Agent 経由のアッ	「未登録」を選択してください。
ブデート	
マネージメントコントローラ経	「未登録」を選択してください。
由のアップデート	
BMC(EXPRESSSCOPEエンジン	/) /vPro (Common)
管理	「登録」を選択してください。
管理対象	「BMC」を選択してください。
認証キー	EM カード上で設定した ESMPRO/ ServerManager(旧
	DianaScope)ユーザーパスワード」を入力してください。
BMC (EXPRESSSCOPEエンジン	/) /vPro (LAN)
接続IPアドレス	IPアドレス1を選択してください。
フェイルオーバー	「無効」を選択してください。
IPアドレス1	EM カードの「固定 IP」を入力してください。
サブネットマスク1 ※1	サブネットマスクを入力してください。
IPアドレス2	入力不要です。
サブネットマスクク ※1	入力不要です。

チェック:

• ※1:ESMPRO/ServerManager Ver.6.06以降、サブネットマスクは表示しません。

(4) 「追加」ボタンをクリックしてください。

(5) コンポーネントの「設定」タブの「接続設定」画面で「接続チェック」ボタンをクリックして ください

(6) 「接続チェック」ボタンをクリックすると、ESMPRO/ServerManager が「接続チェック」を 行って、リモート管理のために必要な情報を EM カードから収集します。

「接続チェック」が正常終了すると、EM カードをリモート管理できるようになります。

検出状態	説明
检出	管理の欄に表示されている機能を検出できた状態です。
快口	該当機能を使用できます。
未検出	管理の欄に表示されている機能を検出できなかった状態です。
	該当機能を使用できません。
	再度入力情報を確認し、入力した情報に誤りがないか確認して下さい。

4.3.3.2 自動登録

(1) 「コンポーネントー覧」画面または「グループ」ツリーで EM カードを所属させるグループ名 をクリックしてください。

(2) 選択したグループの「グループ情報」タブの「コンポーネントの追加」から「自動登録」をク リックしてください。

(3) 「自動登録」画面で、以下の項目を入力してください。

項目名	設定値		
登録先グループ	EM カードを登録したいグループを選択してください。。		
検索範囲			
検索モード	IPアドレス範囲指定検索を選択すると、指定された範囲の IPアドレスを持つコンポーネントを検索します。 ネットワークアドレス検索を選択すると、指定されたネッ トワークアドレスを持つコンポーネントを検索します。		
開始アドレス	「IP アドレス範囲指定検索」を選択した時のみに表示され ます。コンポーネントを検索する IP アドレスの開始アドレ		
終了アドレス	スと終了アドレスを指定してください。		
ネットワークアドレス	「ネットワークアドレス検索」を選択した時のみに表示されます。コンポーネントを検索するネットワークアドレス		
ネットワークマスク	とネットワークマスクを指定してください。		
SNMP (ESMPRO/ServerAgent)			
検索	有効を選択してください。		
SNMP コミュニティ名	EM カード上で設定した「SNMP コミュニティ名」を入力 してください。		
WS-Man			
検索	「無効」を選択してください。		
RAID システム管理機能			
検索	「無効」を選択してください。		
ExpressUpdate 機能			
検索	「無効」を選択してください。		
BMC (EXPRESSSCOPEエンジン)			
検索	「有効」を選択してください。		
ExpressUpdate 機能	「無効」を選択してください。		
認証キー	EM カード上で設定した「ESMPRO/ ServerManager(旧 DianaScope)ユーザーパスワード」を入力してください。		
Intel(R) vPro(TM) Technology			
検索	「無効」を選択してください。		

(4) 「検索」ボタンをクリックしてください。

「検索」ボタンをクリックすると、コンポーネントの検索を開始します

「自動登録」が完了すると、コンポーネントのIPアドレスとともに、発見された EM カードの固定 IPアドレスが一覧に表示され、EM カードをリモート管理できるようになります。

ヒント:

自動登録の場合、ESMPRO/ServerManager上での EM カード名は、「ブレード収納ユニット名+ "-EM" + EM カード番号」になります。
 ESMPRO/ServerManager上の EM カード名は、Web ブラウザ上で「設定」タブの「接続設定」で変更できます。

4.4 EM カードの操作

EM カードの STATUS ランプの状態の確認や、筐体識別機能の実行は、以下の手順で行えます。

- (1) ツリービューから「筐体」をクリックしてください。
- (2) 「コンポーネント一覧」画面から EM カード名をクリックしてください。
- (3) 筐体 MAP 画面で EM カード部分をクリックしてください。

4.5 CPU ブレード自動登録設定

ESMPRO/ServerManager は、EM カードと通信してブレード収納ユニットのブレードスロット状態 を監視し、新しく実装された CPU ブレードを検出したとき、EM カードを経由して CPU ブレード の BMC コンフィグレーションを行います。また、ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録 し、接続チェックを行います。

この機能を利用するために、 CPU ブレードの BMC コンフィグレーションと、 ESMPRO/ServerManager 上へのコンポーネント登録のための情報を、あらかじめ設定してください。 EM カードが実装されている筐体の「筐体プロパティ」-「CPU ブレード自動登録設定」で設定で きます。

各設定項目の詳細は ESMPRO/ServerManager のオンラインヘルプを参照してください。

iStorage M シリーズのセットアップ 第5章

5.1 ESMPRO/ServerManager に iStorage を登録する

ESMPRO/ServerManagerに iStorage を登録する方法は、通常のコンポーネントと同じです。 下記の2通りの方法があります。どちらかの操作を行ってください。

手動登録

iStorageのフローティングアドレスなどの情報を直接入力して登録し、「接続チェック」を実施 します。

■ 自動登録

ネットワーク上に存在する iStorage を検索して登録します。

ヒント:

「接続チェック」を行うことにより、ESMPRO/ServerManagerは登録したコンポー • ネントが iStorage であることを識別します。

• ESMPRO/ ServerManager 上でのコンポーネント名は、iSM クライアントに設定され ている iStorage のディスクアレイ名になります。 ESMPRO/ServerManager 上のコンポーネント名は、Web ブラウザ上で「接続設定」 画面で変更できます。

5.1.1 手動登録

(1) 「コンポーネント一覧」画面または「グループ」ツリーで iStorage を所属させるグループ名を クリックしてください。

(2) 選択したグループの「グループ情報」タブの「コンポーネントの追加」から「手動登録」-「通常管理」をクリックしてください。

(3) 「手動登録」画面で以下の項目を入力してください。

項目名	設定値		
コンポーネント名	iStorage をリモート管理するための名前を入力してください。他のコンポーネントと異なる名前を設定してください。		
	空白文字を含む名前は入力できません。また、大文字と小 文字は区別されます。		
	iStorage について説明を書き込むことができます。 空白文字		
別名	を含む名前は入力できません。また、大文字と小文字は区		
	別されます。		
所属グループ	コンポーネントを追加する先のグループ名を選択してくだ		
	さい。		
接続形態	LANを選択してください。		
共通設定			
OS IP アドレス	iStorage の「フローティングアドレス」を入力してください。		
SNMP (ESMPRO/ServerAgent)/ WS-Man			
管理	「登録」を選択してください。		
管理対象	「SNMP」を選択してください。		
SNMPコミュニティタ(販得田)	iSM クライアントで設定した取得用の「SNMP コミュニテ		
511111 - 、エーノイコ(収得加)	ィ名」を入力してください。		
SNMPコミュニティタ(設定用)	iSM クライアントで設定した設定用の「SNMP コミュニテ		
	ィ名」を入力してください。		
RAID システム管理機能			
管理	「未登録」を選択してください。		
ExpressUpdate 機能			
ExpressUpdate Agent 経由のアッ プデート	「未登録」を選択してください。		
マネージメントコントローラ経	「土惑母」な遅切してください		
由のアップデート			
BMC (EXPRESSSCOPEエンジン	/) / vPro (Common)		
管理	「未登録」を選択してください。		

(4) 「追加」ボタンをクリックしてください。

(5) 追加後、コンポーネントの「設定」タブの「接続設定」画面で「接続チェック」ボタンをクリックしてください。

「接続チェック」ボタンをクリックすると、ESMPRO/ServerManager が「接続チェック」を行って、リモート管理のために必要な情報をiStorage から収集します。

「接続チェック」が正常終了すると、iStorageをリモート管理できるようになります。

検出状態	説明
 按 山	管理の欄に表示されている機能を検出できた状態です。
快口	該当機能を使用できます。
未検出	管理の欄に表示されている機能を検出できなかった状態です。
	該当機能を使用できません。
	再度入力情報を確認し、入力した情報に誤りがないか確認して下さい。

5.1.2 自動登録

(1) 「コンポーネント一覧」画面または「グループ」ツリーで iStorage を所属させるグループ名を クリックしてください。

(2) 選択したグループの「グループ情報」タブで「コンポーネントの追加」-「自動登録」をクリックしてください。

(3) 「自動登録」画面で以下の項目を入力してください。

項目名	設定値
登録先グループ	iStorage を登録したいグループを選択してください。。
検索範囲	
検索モード	IPアドレス範囲指定検索を選択すると、指定された範囲の IPアドレスを持つ iStorage を検索します。 ネットワークアドレス検索を選択すると、指定されたネッ トワークアドレスを持つコンポーネントを検索します。
開始アドレス	「IP アドレス範囲指定検索」を選択した時のみ表示されます。 す。検索範囲に iStorage のフローティングアドレスを含めて
終了アドレス	ください
ネットワークアドレス	「ネットワークアドレス検索」を選択した時のみ表示され ます。iStorageのフローティングアドレスのネットワークア
ネットワークマスク	ドレスとネットワークマスクを入力してください。
SNMP (ESMPRO/ServerAgent)	
検索	有効を選択してください。
SNMP コミュニティ名	iSM クライアントで設定した「SNMP コミュニティ名」を 入力してください。
WS-Man	
検索	「無効」を選択してください。
RAID システム管理機能	
検索	「無効」を選択してください。
ExpressUpdate 機能	
検索	「無効」を選択してください。
BMC(EXPRESSSCOPEエンジン	/)
検索	「無効」を選択してください。
Intel(R) vPro(TM) Technology	
検索	「無効」を選択してください。

(4) 「検索」ボタンをクリックしてください。

「検索」ボタンをクリックすると、コンポーネントの検索を開始します。 コンポーネントの IP アドレスとともに、発見された iStorage のフローティングアドレスが 一覧に表示されます。

「自動登録」が終了すると、iStorage をリモート管理できるようになります。

ヒント:
iStorage、iSM クライアントの概要および関連説明書については、「iStorageManager

• IStorage、ISM クノイアントの気姿わよい関連説明者については、「IStorageManager マニュアルガイド」(IS901)をご覧ください。

第6章 vPro 搭載コンポーネントのセットアップ

6.1 セットアップの流れ

以下の手順でセットアップを行ってください。

- (1) ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC と、vPro 搭載コンポーネントを同一ネットワークに接続する。
- (2) vPro 搭載コンポーネントの iAMT をコンフィグレーションする。
- (3) ESMPRO/ServerManager に vPro 搭載コンポーネントを登録する。

6.2 iAMT をコンフィグレーションする

vPro 搭載コンポーネントの電源 ON の後、<Ctrl+P>の入力を促すメッセージが表示されたらすぐに、<Ctrl+P>を入力してください。

iAMT のコンフィグレーション画面が表示されますので、パスワードを入力しコンフィグレーションを行ってください。

- ヒント:
- ESMPRO/ServerManagerでは、iAMTファームウェアバージョンが「6.0」以降の vPro が管理対象です。
- デフォルトユーザー名及びパスワードは共に、「admin」です。
- iAMT のコンフィグレーションは、iAMT ファームウェアバージョンによって異な ります。コンフィグレーションの詳細については、Web等で公開されている情報を 参考にして実行してください。以下に参考情報の例を示します。 この URL の内容は事前の通知がなく変更される場合があります。予めご了承くだ さい。

<u>http://software.intel.com/en-us/articles/intel-active-management-technology-intel-amt-soft</u> ware-development-kit-sdk-start-here-guide/

6.3 コンポーネントを登録する

6.3.1 所属グループを登録する

「1.3.2 コンポーネントが所属するグループを登録する」を参照してください。

6.3.2 コンポーネントを登録する

下記の2通りの方法があります。どちらかの操作を行ってください。

■ 手動登録

vProのIPアドレスなどの情報を直接入力して登録し、「接続チェック」を実施します。

■ 自動登録

ネットワーク上に存在する、ESMPRO/ServerManager上にまだ登録されていないコンポーネントとともに、vPro 搭載コンポーネントも検索して登録します。

6.3.2.1 手動登録

(1) 「コンポーネントー覧」画面または「グループ」 ツリーで vPro 搭載コンポーネントを所属させるグループ名をクリックしてください。

(2) 選択したグループの「グループ情報」タブの「コンポーネントの追加」から「手動登録」-「通常管理」をクリックしてください。

(3) 「手動登録」画面で以下の項目を入力してください。

項目名	設定値
コンポーネント名	ESMPRO/ServerManager 上で管理するためのコンポーネン トの名前です。他のコンポーネントの名前と重ならない名 前をつけてください。空白文字を含む名前は入力できませ ん。また、大文字と小文字は区別されます。
別名	コンポーネントの別名を指定できます。空白文字を含む名 前は入力できません。また、大文字と小文字は区別されま す。
所属グループ	コンポーネントを追加する先のグループ名を選択してくだ さい。
接続形態	LANを選択してください。
共通設定	
OS IPアドレス	コンポーネントの OS IP アドレスを入力してください。
SNMP (ESMPRO/ServerAgent)/ W	/S-Man
管理	コンポーネントのシステム管理機能を使用したい場合は 「登録」を選択してください。
管理対象	管理対象の管理プロトコルを選択して下さい。 「SNMP」※1 管理対象に ESMPRO/ServerAgent がインストールされてい る場合。 「WS-Man」 ※1, ※2 管理対象に ESMPRO/ServerAgentService がインストールさ れている場合。
SNMPコミュニティ名(取得用)	管理対象に「SNMP」を選択した時のみ表示されます。 管理対象コンポーネントで稼動している SNMP エージェン トに設定された SNMP コミュニティ名を入力します。SNMP による情報取得、設定、監視などを行う場合は、この値を 設定しておく必要があります。
SNMPコミュニティ名(設定用)	管理対象に「SNMP」を選択した時のみ表示されます。 SNMP を使ってリモートのホストに対して設定を行う場合 に、取得用の SNMP コミュニティ名と異なる SNMP コミュ ニティ名を使用する必要がある場合は、このフィールドに 設定用の SNMP コミュニティ名を英数字で指定してくださ い。もし、このフィールドが設定されていなければ、取得 用の SNMP コミュニティ名で設定を試みます。

	管理対象に「WS-Man」を選択した時のみ表示されます。
	WS-Man によるシステム管理を実施する場合に使用するユ
ユーザタ	ーザー名及びパスワードを入力します。
~ ,	
	「Windows 版 ESMPRO/ServerAgentService の場合」
	Window のシステム管理者権限を持つローカルのユーザー
	名及びパスワードをを入力してください。ActiveDirectory 上
	に作成したユーザーアカウントを使用することは出来ませ
パスワード	\mathcal{N}_{\circ}
	「Linux版 ESMPRO/ServerAgentService の場合」
	Linuxの root ユーザー/パスワードを入力してください。
	管理対象に「WS-Man」を選択した時のみ表示されます。
	WS-Man 管理で使用する通信のプロトコルを選択します。
	管理対象に「WS-Man」を選択した時のみ表示されます。
小一下留亏	WS-Man 管理で使用するポートを入力します。※3
RAID システム管理機能	
答理	RAID システムを管理する場合は、「登録」を選択してくだ
目坦	さい。
ExpressUpdate 機能	
ExpressUpdate 機能 ExpressUpdate Agent 経由のアッ	ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合
ExpressUpdate 機能 ExpressUpdate Agent 経由のアッ プデート	ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合 は、「登録」を選択してください。
Express Update 機能 Express Update Agent 経由のアッ プデート マネージメントコントローラ経	ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合 は、「登録」を選択してください。
Express Update 機能Express Update Agent 経由のアップデートマネージメントコントローラ経由のアップデート	ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合 は、「登録」を選択してください。 「未登録」を選択してください。
Express Update 機能 Express Update Agent 経由のアッ プデート マネージメントコントローラ経 由のアップデート BMC (EXPRESSSCOPEエンジン	ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合 は、「登録」を選択してください。 「未登録」を選択してください。 / / vPro (Common)
 Express Update 機能 Express Update Agent 経由のアッ プデート マネージメントコントローラ経 由のアップデート BMC (EXPRESSSCOPEエンジン 管理 	 ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合は、「登録」を選択してください。 「未登録」を選択してください。 / vPro (Common) 「登録」を選択してください。
Express Update 機能Express Update Agent 経由のアップデートマネージメントコントローラ経由のアップデートBMC (EXPRESSSCOPEエンジン管理管理対象	ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合は、「登録」を選択してください。 「未登録」を選択してください。 / VPro (Common) 「登録」を選択してください。 「vPro」を選択してください。
 Express Update 機能 Express Update Agent 経由のアッ プデート マネージメントコントローラ経 由のアップデート BMC (EXPRESSSCOPEエンジン 管理 管理対象 ユーザ名 	ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合は、「登録」を選択してください。 「未登録」を選択してください。 / vPro (Common) 「登録」を選択してください。 「vPro」を選択してください。 6.2 章「iAMT をコンフィグレーションする」で設定した管
Express Update 機能Express Update Agent 経由のアップデートマネージメントコントローラ経由のアップデートBMC (EXPRESSSCOPEエンジン管理管理対象ユーザ名	ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合は、「登録」を選択してください。 「未登録」を選択してください。 / vPro (Common) 「登録」を選択してください。 「vPro」を選択してください。 6.2 章「iAMT をコンフィグレーションする」で設定した管理対象コンポーネントの vPro と通信するためのユーザー名
Express Update 機能 Express Update Agent 経由のアッ プデート マネージメントコントローラ経 由のアップデート BMC (EXPRESSSCOPEエンジン 管理 管理対象 ユーザ名 パスワード	Express Update を使用してコンポーネントを管理する場合 は、「登録」を選択してください。「未登録」を選択してください。/ VPro (Common)「登録」を選択してください。「vPro」を選択してください。6.2 章「iAMT をコンフィグレーションする」で設定した管 理対象コンポーネントの vPro と通信するためのユーザー名 及びパスワードを入力してください。デフォルトのユーザ
Express Update 機能Express Update Agent 経由のアップデートマネージメントコントローラ経由のアップデートBMC (EXPRESSSCOPEエンジン管理管理対象ユーザ名パスワード	 ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合は、「登録」を選択してください。 「未登録」を選択してください。 / VPro (Common) 「登録」を選択してください。 「vPro」を選択してください。 6.2章「iAMTをコンフィグレーションする」で設定した管理対象コンポーネントの vPro と通信するためのユーザー名及びパスワードを入力してください。デフォルトのユーザー名及びパスワードは共に「admin」です。
Express Update 機能Express Update Agent 経由のアップデートマネージメントコントローラ経由のアップデートBMC (EXPRESSSCOPEエンジン管理管理対象ユーザ名パスワードBMC (EXPRESSSCOPEエンジン	 ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合は、「登録」を選択してください。 「未登録」を選択してください。 / vPro (Common) 「登録」を選択してください。 「vPro」を選択してください。 6.2 章「iAMTをコンフィグレーションする」で設定した管理対象コンポーネントの vPro と通信するためのユーザー名及びパスワードを入力してください。デフォルトのユーザー名及びパスワードは共に「admin」です。 / vPro (LAN)
Express Update 機能Express Update Agent 経由のアップデートマネージメントコントローラ経由のアップデートBMC (EXPRESSSCOPEエンジン管理管理対象ユーザ名パスワードBMC (EXPRESSSCOPEエンジン	 ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合は、「登録」を選択してください。 「未登録」を選択してください。 / vPro (Common) 「登録」を選択してください。 「vPro」を選択してください。 6.2章「iAMTをコンフィグレーションする」で設定した管理対象コンポーネントの vPro と通信するためのユーザー名及びパスワードを入力してください。デフォルトのユーザー名及びパスワードは共に「admin」です。 / vPro (LAN) コンポーネントの iAMT コンフィグレーションで設定した
 Express Update 機能 Express Update Agent 経由のアッ プデート マネージメントコントローラ経 由のアップデート BMC (EXPRESSSCOPEエンジン 管理 管理対象 ユーザ名 パスワード BMC (EXPRESSSCOPEエンジン) 	 ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合は、「登録」を選択してください。 「未登録」を選択してください。 / VPro (Common) 「登録」を選択してください。 「vPro」を選択してください。 6.2章「iAMTをコンフィグレーションする」で設定した管理対象コンポーネントの vPro と通信するためのユーザー名及びパスワードを入力してください。デフォルトのユーザー名及びパスワードは共に「admin」です。 / VPro (LAN) コンポーネントの iAMT コンフィグレーションで設定したLAN の IP アドレスを指定してください。
Express Update 機能Express Update Agent 経由のアップデートマネージメントコントローラ経由のアップデートBMC (EXPRESSSCOPEエンジン管理管理対象ユーザ名パスワードBMC (EXPRESSSCOPEエンジンIP アドレス1	 ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合は、「登録」を選択してください。 「未登録」を選択してください。 / vPro (Common) 「登録」を選択してください。 (vPro Jを選択してください。 6.2 章「iAMTをコンフィグレーションする」で設定した管理対象コンポーネントの vPro と通信するためのユーザー名及びパスワードを入力してください。デフォルトのユーザー名及びパスワードは共に「admin」です。 / vPro (LAN) コンポーネントの iAMT コンフィグレーションで設定したLAN の IP アドレスを指定してください。 iAMT コンフィグレーションで DHCP を有効に設定した場
Express Update 機能 Express Update Agent 経由のアッ プデート マネージメントコントローラ経 由のアップデート BMC (EXPRESSSCOPEエンジン 管理 管理対象 ユーザ名 パスワード BMC (EXPRESSSCOPEエンジン IP アドレス1	 ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合は、「登録」を選択してください。 「未登録」を選択してください。 / vPro (Common) 「登録」を選択してください。 (vPro」を選択してください。 6.2章「iAMTをコンフィグレーションする」で設定した管理対象コンポーネントの vPro と通信するためのユーザー名及びパスワードを入力してください。デフォルトのユーザー名及びパスワードは共に「admin」です。 / vPro (LAN) コンポーネントの iAMT コンフィグレーションで設定したLAN の IP アドレスを指定してください。 iAMT コンフィグレーションで DHCP を有効に設定した場合は、OS の IP アドレスを指定してください。
Express Update 機能 Express Update Agent 経由のアッ プデート マネージメントコントローラ経 由のアップデート BMC (EXPRESSSCOPEエンジン 管理 管理対象 ユーザ名 パスワード BMC (EXPRESSSCOPEエンジン IP アドレス1 サブネットマスク1、※4	 Express Update を使用してコンポーネントを管理する場合は、「登録」を選択してください。 「未登録」を選択してください。 / vPro (Common) 「登録」を選択してください。 「vPro」を選択してください。 6.2章「iAMTをコンフィグレーションする」で設定した管理対象コンポーネントの vPro と通信するためのユーザー名及びパスワードを入力してください。デフォルトのユーザー名及びパスワードは共に「admin」です。 / vPro (LAN) コンポーネントの iAMT コンフィグレーションで設定したLAN の IP アドレスを指定してください。 iAMT コンフィグレーションで DHCP を有効に設定した場合は、OS の IP アドレスを指定してください。 コンポーネントの iAMT コンフィグレーションで設定した

チェック:

 ※1: Linux版 ESMPRO/ServerManagerの場合、SNMPによる ESMPRO/ServerAgenet がインストールされたコンポーネントの管理を行うことが出来ません。 この機能は Windows 版 ESMPRO/ServerManager でのみ提供されます。

チェック:

※2:WS-Man 通信を使用する場合、以下のような場合では「1.3.1 環境設定を行う」
 を参考に ESMPRO/ServerManager で自己署名を許容する必要があります。

 ・管理対象側で ESMPRO/ServerAgentService と ESMPRO/ServerManager との通信に HTTPS を使用する設定を行っている場合でかつ、自己署名を使用している場合。 チェック:
 ※3: WS-Man 管理時の使用ポート番号については「付録 CWS-Man 管理時のポート 番号について」の章を参照してください。
 チェック:
 ※4: ESMPRO/ServerManager Ver.6.06 以降、サブネットマスクは表示しません。

(4) 「追加」ボタンをクリックしてください。

(5)

(5) コンポーネントの「設定」タブの「接続設定」画面で「接続チェック」ボタンをクリックして ください。

「接続チェック」ボタンをクリックすると、ESMPRO/ServerManagerが「接続チェック」を行って、リモート管理のために必要な情報をコンポーネントから収集します。

「接続チェック」が正常終了すると、コンポーネントをリモート管理できるようになります

検出状態	説明
移击	管理の欄に表示されている機能を検出できた状態です。
1 円 山	該当機能を使用できます。
	管理の欄に表示されている機能を検出できなかった状態です。
未検出	該当機能を使用できません。
	再度入力情報を確認し、入力した情報に誤りがないか確認して下さい。

6.3.2.2 自動登録

(1) 「コンポーネントー覧」 画面または「グループ」 ツリーで vPro 搭載コンポーネントを所属させるグループ名をクリックしてください。

(2) 選択したグループの「グループ情報」タブで「コンポーネントの追加」-「自動登録」をクリックしてください。

(3) 「自動登録」画面で、vPro 搭載コンポーネントを検索するための設定を行ってください。

項目名	設定値
登録先グループ	自動登録機能で発見したコンポーネントを所属させるグル ープを指定してください。
検索範囲	
検索モード	「IPアドレス範囲指定検索」を選択すると、指定された範囲のIPアドレスを持つコンポーネントを検索します。 「ネットワークアドレス検索」を選択すると、指定された ネットワークアドレスを持つコンポーネントを検索しま す。
開始アドレス	「IP アドレス範囲指定検索」を選択した時のみ表示されま す コンポーネントを検索する IP アドレスの開始アドレス
終了アドレス	と終了アドレスを指定してください。
ネットワークアドレス	「ネットワークアドレス検索」を選択した時のみ表示されます。コンポーネントを検索するネットロークアドレスト
ネットワークマスク	ネットワークマスクを指定してください。
SNMP (ESMPRO/ServerAgent)	
検索	ESMPRO/ServerAgent がインストールされたコンポーネン トを検索する場合は、「有効」を選択してください。※1
SNMP コミュニティ名	対象となっているネットワーク上の機器に設定されている SNMPコミュニティ名を設定してください。 対象となっているネットワーク上の SNMPコミュニティ名 が不明な場合は、"public"を設定してください。
WS-Man	
検索	ESMPRO/ServerAgentService がインストールされたコンポ ーネントを検索する場合に選択してください。※1、※2
	WS-Man による管理を実施するためのユーザー名とパスワ ードを入力してください。追加をクリックすることで最大 で 5 組のユーザー名、及びパスワードの組み合わせを設定 できます。※3 検索したい管理対象により以下の内容を入力してくださ い。
ユーザ/パスワード	「Windows 版 ESMPRO/ServerAgentService の場合」 Windows のシステム管理者権限を持つローカルのユーザ ー名/パスワードを入力してください。ActiveDirectory 上 に作成したユーザーアカウントを使用することは出来ま せん。 「Linux版 ESMPRO/ServerAgentService の場合」
	Linuxの root ユーザー/パスワードを入力してください。
RAID システム管理機能	
検索	コンポーネントの RAID システムを管理する場合は、「有効」

	を選択してください。	
ExpressUpdate 機能		
検索	ExpressUpdate を使用してコンポーネントを管理する場合 は、「有効」を選択してください。	
BMC(EXPRESSSCOPEエンジン	/)	
検索	「無効」を選択してください。	
Intel(R) vPro(TM) Technology		
検索	「有効」を選択してください。	
ユーザ/パスワード	6.2 章「iAMT をコンフィグレーションする」で設定した Intel(R) vPro(TM) Technology 管理機能を実施するためのユ ーザー名とパスワードを入力してください。 デフォルトのユーザー名及びパスワードは共に「admin」で す。追加をクリックすることで最大で 5 組のユーザー名、 及びパスワードの組み合わせを設定できます。※2	

チェック:

- ※1: Linux版 ESMPRO/ServerManagerの場合、SNMPによる ESMPRO/ServerAgenet がインストールされたコンポーネントの管理を行うことが出来ません。 この機能は Windows 版 ESMPRO/ServerManager でのみ提供されます。
- チェック
- ※2: Web ブラウザ上の【環境設定】→【自動登録設定】の画面を開くことで、WS-Man 検索、BMC(EXPRESSSCOPEエンジン)検索、及び Intel(R) vPro(TM) Technology 検索で使用するユーザ/パスワードもしくは認証キーを、自動登録画面で入力する情報とは別に予め5つまで登録することが出来ます。ここで入力した情報は、自動登録を実施するたびにコンポーネント検索情報として使用されます。詳細は 1.3.3.3 自動登録設定機能をご確認ください。
- (4) 「検索」ボタンをクリックしてください。 「検索」ボタンをクリックすると、コンポーネントの検索を開始します。
- (5) 自動登録が終了すると、登録したコンポーネントの一覧を表示します。 自動登録終了後、vPro 搭載コンポーネントをリモート管理できるようになります。

第7章 VMware ESXi5 サーバのセットアップ

7.1 セットアップ前の注意事項

ESMMPRO/ServerManager による ESXi5 サーバの管理は Windows 版のみ対応しております。 Linux版 ESMPRO/ServerManager では ESXi5 サーバの管理は対応しておりません。 VMware ESXi5 サーバを監視する場合は Windows 版 ESMPRO/ServerManager を使用して下さい。

7.2 セットアップの流れ

以下の手順でセットアップを行ってください。

- ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC と、管理対象サーバとなる VM ware ESXi5 サーバを同一ネットワークに接続する。
- (2) VM ware ESXi5 サーバのマネージメントコントローラを管理する場合、VM ware ESXi5 サーバの BMC をコンフィグレーションする。
- (3) ESMPRO/ServerManager に VM ware ESXi5 サーバをコンポーネント登録する。

7.3 BMC をコンフィグレーションする

VM ware ESXi5 サーバのマネージメントコントローラを管理する場合、VM ware ESXi5 サーバの BMCをコンフィグレーションしてください。

VMware ESXi5 サーバが EXPRESSSCOPE エンジン 3を搭載している場合:

1.2「コンポーネントのBMCをコンフィグレーションする」を参照してください。

VMware ESXi5 サーバが EXPRESSSCOPE エンジン 3 以外の BMC を搭載している場合:

2.2「コンポーネントの BMC をコンフィグレーションする(LAN 接続)」を参照してください。

ヒント:
 管理対象サーバの BMC の種類は、付録 D 管理対象コンポーネント一覧で確認できます。

チェック:

 VM ware ESXi 環境において、EXPRESSSCOPE エンジンからの SNMP 通報を利用 する場合に注意事項があります。以下の URL を参照してください。

https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140101627

7.4 コンポーネントを登録する

7.4.1 環境設定を行う。

以下に ESXi サーバを管理するために必要な WS-Man 通信を有効にする手順を示します。

(1)「環境設定」-「ネットワーク」画面で、「WS-Man 通信」の項目を、自己署名証明を「許容する」 に設定してください。

ESMPROK		ユーザ名: Administrator [権限:アドミニストレータ] ロジアウト
Manager Fir. U	75-	トビューア ツール 環境設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ
グループ 💙	環境設定	【RAIDシステム管理モード:アドバンストモード】
Un-J ✓	ユーザアカウント アクセス制御 ネットワーク オナシ 東目名 SNMP/ICMP通信 バケット再返回数 黒応答株出タイマ値1(1-65535村)[必須] 黒応答株出タイマ値2(1-65535村)[必須] 黒応答株出タイマ値3(1-65535村)[必須] 男正で答株出タイマ値3(1-65535村)[必須] リモートコンノール/リモートトラッイブとの通信 黒応答株出タイマ値(20-1800村)[必須] BM2との通信 黒応答株出タイマ値(1-15村)[必須] コマンド送信リトライ回数(0-10回)[必須]	
	送信元ポート (1025 - 65535) [必須]	47117
	ダイレクト接続設定	and the second
	使用ボート番号	シリアルボート1 >
	WS-Manie (S	
	自己署名證明	● 許容する ○ 自留しない
	進用	キャンセル・ケフォルト設定

チェック:

 VM ware ESXi5.5 装置を ESMPRO/ServerManager のシステム管理機能で登録する場合の注意事項があります。以下の URL を参照してください。 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140102220

7.4.2 所属グループを登録する

(1) コンポーネントを任意のグループに所属させたい場合は、「グループ情報」 タブで「グループの 追加」をクリックしてください。

ESMPRO6		ユーザ名: Administrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト
Manager Ver.		アラートビューア ツール 環境設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ
グループ	✓ root	[RAIDシステム管理モード:アドバンストモー ド]
🐠 🚺 root	グループ情報	
	 □ プループ情報 □ コンボーネン(□ グループ情報 □ グループ情報 □ グループ情報 □ グループの減 □ □ コンボーネア(0) □ □ コンボーネア(0) □ □ エンボーネア(0) 	■ 情報 型 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

(2) グループ名を入力し、「追加」ボタンをクリックしてください。

画面は設定例です。	>	
ESMPRO6	15 4 ⁰ 11 - 200 ⁵ 040	ユーザ名: Administrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト アラートビューア ツール 環境設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ
ブルーブ ✓ ◆ Implement of the second s	root > グルーブの追加 グループ情報 ト □ コンポーネントー覧 ト □ グループ情報 ト □ グループ情報 ト □ グループ情報 ト □ グループ情報 ト □ グループは報 ト □ グループは報 ト □ ブループは報 ト □ コンポーネントの追加 □ コンポーネントの追加 □ コンポーネントの追加	[RAIDシステム管理モード:アドバンストモード] 項目名 グルーブ名[必須] 説明 道加」キャンセル
		< >

「グループ」ツリーに追加したグループが表示されます。

ESMPRO6		ユーザ名:	Administrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト
Manager Ver. U		アラートビューア ツール 3	環境設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ
	root		[RAIDシステム管理モード:アドバンストモード]
<u>9₩-</u> 9	グループ情報		
🕸 🞑 root			
🗉 🌒 🏹 SampleGroup	📁 グループ情報	[公会表析・1/4]	Page [1]
	🚽 📄 コンポーネント一覧		マネージャル マネージャルIAM
	├ 🖻 <u>グループ情報</u>	□ 情報 名前 ▲	コントローラ管理機能
1		🔲 🐵 🖾 SampleGroup	
	- 📁 グルーブの追加		
	■ 📃 コンポーネントの追加		
		<	>

7.4.3 コンポーネントを登録する

下記の2通りの方法があります。どちらかの操作を行ってください。

■ 手動登録

VM ware ESXi5 サーバの IP アドレスなどの情報を直接入力して登録し、「接続チェック」を実施します。

■ 自動登録

ネットワーク上に存在する、ESMPRO/ServerManager上にまだ登録されていないコンポーネントとともに、VMware ESXi5サーバも検索して登録します。

7.4.3.1 手動登録

(1) 「コンポーネント一覧」画面または「グループ」ツリーで VMware ESX5 サーバを所属させる グループ名をクリックしてください。

(2) 選択したグループの「グループ情報」タブの「コンポーネントの追加」から「手動登録」-「通常管理」をクリックしてください。

(3) 「手動登録」画面で以下の項目を入力してください。

項目名	設定値
	ESMPRO/ServerManager上で管理するためのコンポーネン
	トの名前です。他のコンポーネントの名前と重ならない名
コンホーイント名	前をつけてください。空白文字を含む名前は入力できませ
	ん。また、大文字と小文字は区別されます。
	コンポーネントの別名を指定できます。空白文字を含む名
別名	前は入力できません。また、大文字と小文字は区別されま
	コンポーネントを追加する先のグループ名を選択してくだ
所属グループ	コントレージョンを通知のないのです。
	してい。 IANを選択してください
安祝/// 感 世 通 歌 宏	
	コンポーマントの OSID アドレフを入力してください
SNMD (ESMDDO/ServerAgent)/ W	
SINNP (ESMPRO/ServerAgent)/ W	
	「豆」 などのして、たらい。
官	
	VM ware ESX15 サーバのシステム管理者権限を持つユーサ
バスリード	一名及びパスリードを入力してくたさい。
プロトコル	WS-Man 管理で使用する通信のプロトコルを選択します。
ポート番号	WS-Man 管理で使用するポートを入力します。※2
RAID システム管理機能	
	管理対象が ESXi サーバの場合は、RAID システム管理機能
	のみを有効にして ESMPRO/ServerManager に登録すること
答理	は出来ません。RAID システム管理を使用する場合は、SNMP
	(ESMPRO/ServerAgent)/WS-Manの項目で、ESXiサーバを管
	理するために必要な情報を入力した上で、RAID システム管
	理機能を登録にしてください。
ExpressUpdate 機能	
ExpressUpdate Agent 経由のアッ	VMware ESXi5 サーバに対して実行できません。「未登録」
プデート	を選択してください。
マネージメントコントローラ経	マネージメントコントローラを使用してコンポーネントを
由のアップデート	管理する場合は、「登録」を選択してください。
BMC (EXPRESSSCOPEエンジン	/) /vPro (Common)
	「登録」を選択してください。「未登録」の場合、コンポー
管理	ネントのハードウェア監視を行えません。
管理対象	「BMC」を選択してください。
	コンポーネントの BMC (EXPRESSSCOPE エンジン) と通
	信するための認証キーです 12 音の「コンポーネントの
認証キー	BMCをコンフィグレーションオス」で設定した認証キーを
	入力してください
BMC (FYPRESSSCOPE エンジン	$/\sqrt{3} = (1 \text{ AN})$
接続 IP アドレス	「IPアドレス 1」を指定してください
フェイルオーバー	
	「「「別」でどいしていたこと。 コンポーネントの PMC コンファガレーションズ那字した
IPアドレス1	$- \cdot \cdot$
	LANI ψ IF / ドレヘセハガレしくにさい。 コンポーマントの DMC コンフィガル ションズ肌ウト
サブネットマスク1 ※3	コンハーイントの BMU コンノイクレーンヨンで設定した
	LANIのアノイットマムクを入力してくたさい。
IPアドレス 2	人刀の必要はありません。

サブネットマスク2 ※3 ノ	し力の必要はありません。
----------------	--------------

- チェック:
 ※1:VM ware ESXi5 サーバを管理する場合、Web ブラウザ上から「環境設定」-「ネットワーク」画面を開き、「WS-Man 通信」の項目で自己署名証明を「許容する」に設定する必要があります。詳細は「7.4.1環境設定を行う。」を参照してください。
 チェック:
 ※2: WS-Man 接続時の使用ポート番号については「付録 CWS-Man 管理時のポート番号について」の章を参照してください。
 チェック:
 ※3: ESMPRO/ServerManager Ver.6.06 以降、サブネットマスクは表示しません。
- (4) 「追加」ボタンをクリックしてください。
- (5) コンポーネントの「設定」タブの「接続設定」画面で「接続チェック」ボタンをクリックして ください。

「接続チェック」ボタンをクリックすると、ESMPRO/ServerManager が「接続チェック」を行って、 リモート管理のために必要な情報を VM ware ESX i5 サーバから収集します。

「接続チェック」が正常終了すると、VMware ESXi5 サーバをリモート管理できるようになります。

検出状態	説明
144	管理の欄に表示されている機能を検出できた状態です。
快口	該当機能を使用できます。
	管理の欄に表示されている機能を検出できなかった状態です。
未検出	該当機能を使用できません。
	再度入力情報を確認し、入力した情報に誤りがないか確認して下さい。
7.4.3.2 自動登録

(1) 「コンポーネントー覧」画面または「グループ」ツリーで VMware ESXI5 サーバを所属させる グループ名をクリックしてください。

(2) 選択したグループの「グループ情報」タブで「コンポーネントの追加」-「自動登録」をクリックしてください。

(3) 「自動登録」画面で、VMware ESXi5 サーバを検索するための設定を行ってください。

項目名	設定値
登録先グループ	自動登録機能で発見したコンポーネントを所属させるグル ープを指定してください。
検索範囲	
検索モード	「IPアドレス範囲指定検索」を選択すると、指定された範囲のIPアドレスを持つコンポーネントを検索します。 「ネットワークアドレス検索」を選択すると、指定された ネットワークアドレスを持つコンポーネントを検索します。
開始アドレス	「IP アドレス範囲指定検索」を選択した時のみ表示されま
終了アドレス	と終了アドレスを指定してください。
ネットワークアドレス	「ネットワークアドレス検索」を選択した時のみ表示され ます。コンポーネントを検索するネットワークアドレスと
ネットワークマスク	ネットワークマスクを指定してください。
SNMP (ESMPRO/ServerAgent)	
検索	VM ware ESXi5 サーバを検索するときは「無効」を選択して ください。※1
WS-Man	
検索	「有効」を選択してください。 ※2
ユーザ/パスワード	VM ware ESXi5 サーバのシステム管理者権限を持つユーザ ー名及びパスワードを入力してください。追加をクリック することで最大で 5 組のユーザー名、及びパスワードの組 み合わせを設定できます。※3
RAID システム管理機能	
検索	管理対象が ESXiサーバの場合は、RAID システム管理機能 のみを有効にして ESMPRO/ServerManager に登録すること は出来ません。RAID システム管理を使用する場合は、 WS-Man の項目で、ESXiサーバを管理するために必要な情 報を入力した上で、RAID システム管理機能を有効にしてく ださい。
ExpressUpdate 機能	
検索	ExpressUpdate 機能は、VM ware ESXi5 サーバに対して実行 できません。「無効」に設定してください。
BMC(EXPRESSSCOPEエンジン	/)
検索	「有効」を選択してください。「無効」の場合、コンポーネ ントのハードウェア監視を行えません。
ExpressUpdate機能	ExpressUpdate機能は、VMware ESXi5 サーバに対して実行 できません。「無効」に設定してください。
認証キー	コンポーネントの BMC (EXPRESSSCOPE エンジン) と通 信するための認証キーです。1.2 章の「コンポーネントの BMCをコンフィグレーションする」で設定した認証キーを 入力してください。 ※3
Intel(R) vPro(TM) Technology	
検索	VM ware ESX i5 サーバのみを検索する場合は「無効」を選択 してください。

チェック:
※1: ESMPRO/ServerManager がインストールされている OS が Linuxの場合、SNMP によるシステム管理を利用することができません。
チェック:
※2:VM ware ESX i5 サーバを管理する場合、Web ブラウザ上から「環境設定」-「ネットワーク」画面を開き、「WS-Man 通信」の項目で自己署名証明を「許容する」に設定する必要があります。詳細は「7.4.1環境設定を行う。」を参照してください。

- ※3: Web ブラウザ上の【環境設定】→【自動登録設定】の画面を開くことで、WS-Man 検索、BMC(EXPRESSSCOPEエンジン)検索、及び Intel(R) vPro(TM) Technology 検索で使用するユーザパスワードもしくは認証キーを、自動登録画面で入力する情 報とは別に予め5つまで登録することが出来ます。ここで入力した情報は、自動登 録を実施するたびにコンポーネント検索情報として使用されます。詳細は 1.3.3.3 自動登録設定機能をご確認ください。
- (4) 入力したら「検索」ボタンをクリックしてください。 「検索」ボタンをクリックすると、コンポーネントの検索を開始します。

(5) 自動登録が終了すると、登録したコンポーネントの一覧を表示します、自動登録終了後、 VMware ESX15 サーバをリモート管理できるようになります。

第8章 アラート受信のみのコンポーネントのセットアップ

ESMPRO/ServerManager ver.6.02 以降では、SNMP Trap を通知できるコンポーネントを登録することで登録したコンポーネントから SNMP Trap を受信、管理することが出来ます。

この章では、SNMP Trap を通知することができるコンポーネントを管理するために推奨するセットアップ手順を説明します。

8.1 セットアップの流れ

以下の手順でセットアップを行って下さい。

- (1) ESMRPO/ServerManager をインストールした管理 PC と SNMP Trap を通知できる コンポーネントを同一ネットワークに接続する。
- (2) SNMP Trap を通知するコンポーネント上で SNMP Trap を通知するために必要な セットアップを実施する。

※セットアップ手順については、コンポーネントごとに異なるため、各コンポーネントの手順書 をご参照ください。

(3) ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録する。

8.2 ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録する。

ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録する手順を示します。ESMPRO/ServerManager にログインした後、以下の手順で操作して下さい。

チェック:

- アラート受信のみを管理するコンポーネントは、手動登録からのみ登録できます。
 自動登録からは登録できません。
- (1) コンポーネントを任意のグループに所属させたい場合は、「グループ情報」タブで「グループの 追加をクリックしてください。 グループを新規作成する方法については 1.3.2 章を参照して ください。

ESMPRO6		ユーザ名: A	idministrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト
Manager Ver.		アラートビューア ツール 環	境設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ
///////	root		[RAIDシステム管理モード:アドバンストモード]
	グループ情報		
Cot SampleGroup	🎾 グループ 情報	【● [登録数:1件]	Page [1]
	□ コンポーネント一覧 □ <u>グループ情報</u>	■ 情報 名前 ▲	<u>マネージメント</u> コントローラ管理機能 IPアドレス
	- 🕕 🕑 <u>アラート状態</u>	🔲 🐵 🖾 SampleGroup	
	- 📁 🎾 グループの追加		
	🗉 📃 コンボーネントの追加		
	└── 🗎 拡張ライセンス一覧		
		<	>

(2) 「グループ情報」タブの「コンポーネントの追加」から「手動登録」-「アラート受信のみ管理」 をクリックしてください。

ESMPRO6		ユーザ名: Ad	ministrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト
Manager Ver. U		- アラートビューア ツール 環境	観定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ
グループ ✓ ◆ 💭 root ■ ◆ 🏹 SampleGroup	root > SampleGroup > コンボーネントの追加 > 手軽 グループ情報	 アラート受信のみ管理 項目名 コンボーネント名 [必須] 別名 所属グルーブ 共通設定 	RAIDシステム管理モード:アドバンストモード] 読定値 SampleGroup ▼
< >	 □ 自動登録 □ 手動登録 □ 手動登録 □ 戸うート受信のみ管理 □ 拡張ライセンス一覧 	OS IPアドレス <mark>[必須]</mark>	

(3) 「手動登録」画面の項目に以下の内容を入力してください。

項目名	設定値
コンポーネント名	ESMPRO/ServerManager上で管理するためのコンポーネントの名前です。他のコンポーネントの名前と重ならない名前をつけてください。空白文字を含む名前は入力できませ
別名	ん。また、大文字と小文字は区別されます。 コンポーネントの別名を指定できます。空白文字を含む名 前は入力できません。また、大文字と小文字は区別されま す。
所属グループ	コンポーネントを追加する先のグループ名を選択してくだ さい。
共通設定	
OS IP アドレス	コンポーネントの OS IP アドレスを入力してください。

画面は設定例です。

ESMPRO6		ユーザ名: Adm	inistrator [権限:アドミニストレータ] ログアウト
Manager Ver.		- アラートビューア ツール 環境	設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ
Manager Fr. ♥ ジルーブ ♥ ♥ □ root ■ ♥ □ SampleGroup	root > SampleGroup > コンボーネントの追加 > 手軽 グループ情報 一 回 コンボーネント一覧 一 回 グループ情報 一 回 グループ情報 一 回 グループ情報 一 回 グループ情報 - ② ② <u>フラート状態</u> - ③ ② <u>アラート状態</u> - ③ グループの追加 ■ コンボーネントの追加	 アラートビューア ツール 環境 動登録 > アラート受信のみ管理 項目名 コンボーネント名 [必須] 別名 所属グルーブ 共通設定 OS IPアドレス [必須] 	設定 ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ [RAIDシステム管理モード:アドバンストモード] 意定値 AlertOnlyServer TestServer SampleGroup マ 172 , 16 , 0 , 20
< >	□ □ 手動登録 □ □ <u>■</u> 手動登録 □ □ <u>通常管理</u> □ □ <u>通常管理</u> □ □ <u>拡張ライセンス一覧</u>		通道

(4) 「追加」ボタンをクリックしてください。 下にコンポーネントが追加されます。

追加が完了すると、追加先に選択したグループ配



第9章 ESMPRO/ServerManagerからコンポーネント及びグ ループを削除する

ESMPRO/ServerManagerからコンポーネントを削除する手順を示します。

9.1 コンポーネントをグループから削除する

(1) 削除したいコンポーネントが所属しているグループ名をクリックしてください。

ESMPRO6				ユーザ名:Administrate	x [積限 : アドミニス	HU-91 0701
Mangar In. C	root > SampleGroup01	8	75-H	(aーア ツール 環境設定 [R/	ESMPRO/ServerMar ADシステム管理モー	ecerについて ヘルブ ド:アドバンストモード]
Contraction of the second seco	グループ価格 □グループ価格 ト 曲 ユポーネメーー ト 曲 グループ価格 ト 金 ジ アラートは第 ト 二 グループの通知 単 二 ポーネントの) ト 二 ゴループロー 日 二 ポーネントの) ト 二 ゴループロー 日 二 ポーネントの) ト 二 二 ポーネントの)	サーバー活体化 型 品加 	スクジュール 「家師祭 : 2件] 「新版: 2/前 / 2/10/10/2/10/2/10/2/10/2/10/2/10/2/10	2月一次第 全員 有効 全員 有効	国 ロンドレス 172:16:30:41 172:16:10:29	Pace[1] M システ人管理機構 登録(有効) 登録(有効) 新聞
<u>k</u>			•			

(2) 削除したいコンポーネントにチェックを入れてください。
 ※情報欄の左にあるチェックをいれることですべてのコンポーネントをチェックする事ができます。

ESMPRO6			ユーザ名:Administrat	or 【 積限:アドミニフ	トレータ1 日のテクト
Alenapor Hos O		アラーナビュー	- ア ウール 環境設定	ESMPRO/ServerMar	ture turcthease
ブループ 💙	root > SampleGroup01 グループ価報 サー	パー核操作 スケジュール	LR	ADシステム管理モー	・ド・アドハンストモード]
Contractions and the second se		(2) (マネージアント コントローン常見 全球(有効) 全球(有効)	22	Phee[1] Phee[1] システム管理機能 登録(有効) 登録(有効) 膨胀
		4			>

(3) 「削除」ボタンをクリックしてください。

ESMPRO6				ユーザ名:Administrat	or 【積限:アドミニス	トレータ] 日辺アウト
Manager Her.	root > SampleGroup01		アラードビュ	ーア ッール 環境設定 [R	ESMPRO/ServerMar ADシステム管理モー	necerについて ヘルプ -ド:アドバンストモード]
Image: State of the state o	グループ1648 プ 二クパープ1648 二のパーボンナーN 二クパーブ1648 二クリーブ1648 二クリーブ1648 <td< th=""><th></th><th>スケジュール 2019日 : 2件) 10 20日日 - 10日 20日日 - 10日 20日 20日 20日 20日 20日 20日 20日 20日 20日 2</th><th>コントローン学校 全球・研究か 全球・研究か</th><th>マネージアノトレ P2Fレス 172:16:30:41 172:16:10:29</th><th>Pace[1] AN 空話。有効。 室録。有効。 種類</th></td<>		スケジュール 2019日 : 2件) 10 20日日 - 10日 20日日 - 10日 20日 20日 20日 20日 20日 20日 20日 20日 20日 2	コントローン学校 全球・研究か 全球・研究か	マネージアノトレ P2Fレス 172:16:30:41 172:16:10:29	Pace[1] AN 空話。有効。 室録。有効。 種類
		<				>

「削除」ボタンをクリックすることでグループから選択したサーバが管理対象から削除することが 出来ます。

9.2 グループを削除する

以下に作成したグループを削除する方法を示します。 グループを削除すると、削除対象のグループ配下にあるコンポーネント、及び子グループも削除さ れます。

(1) 削除したいグループの親グループを選択してください。

(例: SampleGroup01を削除したい場合、親グループである SampleGroup を選択する。)

ESMPRO6			ユーザ名:Administrate	*【権限:アドミニス	トレータ1 ログアウト
Manager Hin U		アラードビューア	ツール 環境設定 6	SMPR0/ServerMan	exercitionで ヘルプ
DE-T V	root > SampleGroup		[RJ	Dシステム管理モー	ド:アドバンストモード]
YA-Y V V Construction Construc	ジループ協 ジループ協 ト 画 エスポーポント型 ト 画 ジループ協 ・ 量 ジループ加速 ・ 量 ジループ加速 コスポーキントの追加 国 エスポーキントの追加 国 エスポーキントの追加 国 新潟モライセンス一型 	Rff: スクジュール (201830: 2011) 2011 1111 2011 ③ SampleSamer01	- 22-2554 - 224日 - 2世王 全録(有20)	*** マネージテントレ P2ドレス 172:16:30:41	Paxe[1] *全球 非登録
	S				

(2) 削除するグループにチェックを入れてください。

ESMPRO6				ユーザ名 Administrator	【権限:アドミニス	ルータ] ロジラクト
ESTIMATION Manager Her	root > SampleGroup クループ情報 サーバー プループ情報 ト 単 ユポーネルー型 ト 単 ユポーネルー型 ト 単 ユポーネルー型 ト 型 クループの通知 日 ユ ポーネンの通知 日 ユ エポーネンの通知 日 ユ エポーネンの通知 日 型 エンポーネンの通知 日 型 エンポーネンの通知	-話録作 スクジ 任 [室録数 :2 「香報 マ 今日 3mm	75-Fビュー7	ウール 環境設定 ES [RAI マネージアオ コンローツを見始 登録(有効)	30FR0/ServerMan 39システム管理モー マネージテルトレ ビストレス 172.1630.41	aceriについて ヘルブ F:アドバンストモード Pace [1] NU レステム 管理地的 手室鉄
		<				,

(3) 「削除」をクリックしてください。

ESMPRO6	ront) Samele Time o	アラードビューン	7 ツール 環境設定 「ロ	ESMPRO/ServerMan	aco(こついて へル:
United and the second	グループ情報 サール □ ゴムボーネントー型 □ ゴムボーネントー型 □ ゴムボーネントー型 □ ゴムニゴロ目 ト □ ゴムニゴロ目 □ ゴムニゴロ目 ー □ ゴムニゴロ目 □ ゴムニゴロ目 □ □ ゴムーゴロ目 □ □ ゴムニゴロ目 □ □ □ エーゴロ目 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	S→話録作 スクジュール ● (金誌数:2件) ● (金誌数:2件) ● (金融数:2件) ● (金融数:2件)	2 2)1日—元世 全錄《有效》	22-フチントレ Pアドレス 172.1630.41	Page [1] *全部 *全部

削除が成功すると、削除したグループ配下に登録されていたコンポーネント、及び子グループもすべて ESMPRO/ServerManager の管理対象から削除されます。

ビント:
 グループ配下のコンポーネントとグループを同時に削除することはできません。
 グループ配下のコンポーネントとグループを両方削除したい場合は、コンポーネントごと、またはグループごとに削除を実行してください。

付録 A iStorage NS シリーズなどコンソールレス装置のリモ ートコンソールとして使用する場合の手順

コンポーネントが iStorage シリーズやアプライアンスサーバなどの、ローカルコンソールを持たな い装置の場合は、ESMPRO/ServerManager のリモートコンソールを使用して、コンポーネント上の BIOS の設定や DOS ツールを使ったセットアップを行うことができます。 ここではリモートコンソールを使用するための最低限の手順を示します。

1 ESMPRO/ServerManagerのインストールと環境設定を行う。
2 コンポーネントの BMCをコンフィグレーションする。
3 ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録する。
4 リモートコンソールを開く

1 ESMPRO/Server Manager のインストールと環境設定を行う。

- (1) 管理 PC に ESMPRO/ServerManager をインストールします。 インストールは ESMPRO/ServerManager Ver.6インストレーションガイドを参照してください。
- (2) ESMPRO/ServerManagere にログインできることを確認します。
- (3) LAN 接続の場合、ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC とコンポーネントを同一のネットワークに接続します。
- (4) ダイレクト接続の場合、ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PCの任意のシリアル ポートとコンポーネントのシリアルポート 2 を RS232-C クロスケーブルで接続します。 ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC の OS 上で、ダイレクト接続に使用するシ リアルポートを設定してください。
- (5) ESMPRO/BMC Configuration を任意の PC にインストールしてください。

2 コンポーネントの BMC をコンフィグレーションする。

 コンポーネントのBMCをコンフィグレーションします。 LAN接続の場合は、「EXPRESSBUILDER コンソールレス機能を使ってコンフィグレーションする(LAN接続)」を参照してください。 ダイレクト接続の場合は、「EXPRESSBUILDER コンソールレス機能を使ってコンフィグレーションする(ダイレクト接続/モデム接続)」を参照してください。

3 ESMPRO/Server Manager にコンポーネントを登録する。

- (1) ESMPRO/ServerManager にログインした状態で、コンポーネントが所属するグループを登録します。
 「コンポーネントが所属するグループを登録する」を参照してください。
- (2) コンポーネントを登録します。 LAN 接続の場合は、「自動登録」を参照してください。 ダイレクト接続の場合は、「コンポーネントを登録する(ダイレクト接続/モデム接続)」を参照 してください。

4 リモートコンソールを開く。

- (1) ESMPRO/ServerManager 上でコンポーネントを選択し、「リモート制御」タブの「リモートコン ソール」をクリックしてください。リモートコンソール画面が開きます。
- (2) ESMPRO/ServerManager 上でコンポーネントを選択し、「リモート制御」タブをクリックしてください。

リモート制御コマンドを使用して、コンポーネントをリブートしてください。

コンポーネントが EXPRESSBUILDER から起動されると、EXPRESSBUILDER のメインメニュ ーが ESMPRO/ServerManager のリモートコンソール画面に表示されます。

ヒント:

 しばらく待ってもリモートコンソール画面に何も表示されないときは、以下の対応 を実施してください。

「LAN接続の場合」

リモートコンソール画面上で ESC+{ キーを入力してください。

「ダイレクト接続の場合」

リモートコンソール画面上で「リダイレクション再開」ボタンをクリックし、その 後 ESC+{ キーを入力してください。

チェック:

 ダイレクト接続の場合、コンポーネントに対するリモートでの作業が終了したら、 「接続設定」画面で「切断」ボタンをクリックして回線を切断してください。

付録 B LAN ポートの Teaming 設定時に ESMPRO/ServerAgent Extension または DianaScope Agentを利用する場合の設定手順

OS 上で LAN ポートの Teaming 設定を行った環境で、ESMPRO/ServerAgent Extension または DianaScope Agent ver.2.00.00 以上を利用する場合は、この章に示す手順で設定を行ってください。 ESMPRO/ServerAgent Extension を使用する場合の手順を示します。

BMCが標準 LAN ポートを使用する装置の場合と、BMC が管理 LAN 用ポートを使用する装置の場合に分けて説明します。

B.1 BMC が標準 LAN ポートを使用する装置の場合

BMC が標準 LAN ポートを利用するコンポーネント上で標準 LAN ポートを Teaming 設定で使用す る場合は、ESMPRO/ServerManager Ver.6 インストレーションガイドの「動作環境」の「コンポーネ ントおよびネットワーク機器の注意事項」に示す LAN ポートの Teaming 設定時の注意を参照して ください。

コンポーネントの OS が Linux の場合は、ESMPRO/ServerManager をインストールして利用するための手順に、Teaming 設定の有無による違いはありません。

コンポーネントの OS が Windows の場合、ESMPRO/ServerManager をインストールして利用するために、以下の手順で設定を行ってください。

- 1 DianaScope Agent の BMC IP アドレス同期機能を無効にする。
- 2 DianaScope Agent 上で BMC コンフィグレーションを設定する。
- 3 DianaScope Agent が利用する IP アドレスを設定する。
- 4 DianaScope Agent 上にコンポーネントを登録する。

1 DianaScope Agentの IP アドレス同期機能を無効にする。

- (1) Windows のスタートメニューから、「DianaScope Agent」 「DianaScope Agent」をクリックして ください。
- (2) DianaScope Agentのメインダイアログボックスで「BMC IP アドレス同期設定」ボタンをクリックしてください。
- (3) BMC IP アドレス同期機能を無効に設定してください。

2 DianaScope Agent上で BMC コンフィグレーションを設定する。

- (1) 2.2.1「ESMPRO/ServerAgent Extension ver.1.xxを使ってコンフィグレーションする(LAN 接続)」 に従って、BMC コンフィグレーションを設定してください。その際、下記の点に注意してくだ さい。
 - ・Teaming アドレス(Preferred Primary)と BMC コンフィグレーション上の LAN1の IP アドレス を一致させてください。
 - ・BMC コンフィグレーション上で LAN2の設定を行わないでください。(LAN2の IP アドレス が既に設定されていた場合は、0.0.0.0 に変更してください。)
 - チェック:
 既に BMC コンフィグレーションを設定済みの場合も、BMC IP アドレス同期機能 を無効にした後に、再度 LAN1 の IP アドレスの設定を確認し、再登録してくださ

3 DianaScope Agent が利用する IP アドレスを設定する。

- (1)DianaScope Agent のメインダイアログボックスで「Agent IP アドレスの選択」ボタンをクリック してください。
- (2) LAN1に Teaming アドレスを設定してください。

4 ESMPRO/Server Manager 上にコンポーネントを登録する。

(1) 2.3 「ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録する」に従って、コンポーネントを登録してください。

チェック:

以前に ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録して接続チェックを実施している場合も、「2 DianaScope Agent上で BMC コンフィグレーションを設定する」で設定した IP アドレスになっていることを確認してください。IP アドレスが異なっている場合は、編集後、必ず接続チェックを実施してください。

B.2 BMC が管理 LAN 用ポートを使用する装置の場合

BMC が管理 LAN 用ポートを利用するコンポーネント上で、ESMRPO/ServerAgent Extension ver.1.xx が Teaming 設定をした LAN を利用する場合、以下の手順で設定を行ってください。コンポーネントの OS が Windows の場合も Linux の場合も手順は共通です。

1 ESMPRO/ServerAgent Extension 上で ESMPRO/ServerAgent Extension が利用する IP アドレスを 設定する。

2 ESMPRO/ServerManager 上にコンポーネントを登録する。

1 ES MP RO/ServerAgent Extension 上で ES MP RO/ServerAgent Extension ver.1.xx が利用する IPアド レスを設定する。

(1) ESMPRO/ServerAgent Extension の設定画面の「Agent IP アドレスの選択」で、Teaming に使用する IP アドレスを選択して設定してください。

2 ESMPRO/Server Manager 上にコンポーネントを登録する。

(1) 2.3 「ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録する」に従って、コンポーネントを登録してください。

チェック:

以前に ESMPRO/ServerManager にコンポーネントを登録して接続チェックを実施している場合も、「2 ESMPRO/ServerAgent Extension 上で ESMPRO/ServerAgent Extension が利用する IP アドレスを設定する」を実行後、必ず接続チェックを実施してください。

付録 CWS-Man 管理時のポート番号について

WS-Man 管理時に使用されるポートは以下のように決定されます。

【管理対象が ESMPRO/ServerAgentService の場合】

管理対象となるコンポーネントの Windows リモート管理(WinRM)により使用される既定値が 異なります。

WinRM 2.0の場合	既定値として HTTP:5985、 HTTPS:5986 が使用されます。
WinRM 1.1 の場合	既定値としてHTTP:80、HTTPS:443が使用されます。

管理対象の WinRM の更新を行っていない場合、各 OS により以下の WinRM が使用されています。

・Windows Server 2008 及び Windows Vista \rightarrow WinRM 1.1

・Windows Server 2008R2以降、及び Windows7 以降の OS → WinRM 2.0

【管理対象が ESXi5 サーバの場合】

HTTP 接続は使用することが出来ません。 HTTPS 接続(ポート番号:443)を使用してください。

付録 D 管理対象コンポーネント一覧

ESMPRO/ServerManagerは BMCを搭載している各管理対象コンポーネントに対して、以下の機能を 実行できます。

- リモートコンソール
- 情報収集
- 電源制御
- コンポーネント監視
- リモートバッチ
- コマンドラインからの操作

但し、管理対象コンポーネントの種類により、一部の機能を利用できない場合があります。下記の 一覧でご確認ください。

また、製品毎の動作制限については製品添付のユーザーズガイドもご覧下さい。

最新の情報は以下の URL でご確認ください。

http://jpn.nec.com/esmsm/

<一覧表の見方>

製品名:	BMC を搭載している ESMPRO/ServerManager のコンポーネントの製品名を示します。同じ製品
	名で、サポートしている機能が異なる場合はN型番を付記しています。

BMC: 「標準搭載」: BMC が標準搭載されています。

「標準搭載	リモートマネージメントカード[N8115-01CP01] もしくはリモートマネージメン
(RMC)」:	トカードと同等の機能が標準搭載されています。
「標準搭載	アドバンスドリモートマネージメントカード[N8115-02CP01]もしくはアドバン
(A-RMC)」:	スドリモートマネージメントカードと同等の機能が標準搭載されています。
「標準搭載	ft リモートマネージメントカード[N8815-001/001A]が標準搭載されています。
(F-RMC)」:	ft リモートマネージメントカードはアドバンスドリモートマネージメントカード
	と同等の機能を持っています。
「標準搭載(EE)」:	EXPRESSSCOPE エンジン、または EXPRESSSCOPE エンジン2が搭載されて
	います。
「標準搭載	EXPRESSSCOPE エンジン 3が搭載されています。
(EE3)」:	
「RMC」:	リモートマネージメントカード[N8115-01CP01]を搭載した場合に、
	ESMPRO/Server Manager で管理可能です。
「A-RMC」:	アドバンスドリモートマネージメントカード[N8115-02CP01]を搭載した場合に、
	ESMPRO/Server Manager で管理可能です。
「F-RMC」:	ft リモートマネージメントカード[N8815-001/001A]を搭載した場合に、
	ESMPRO/ServerManager で管理可能です。
	ft リモートマネージメントカードはアドバンスドリモートマネージメントカード
	と同等の機能を持っています。

標準 LAN2 対応:	コンポーネントの BMC、および SystemBIOS が、標準 LAN2 ポート経由で ESMPRO/Server
	Manager と通信する機能をサポートしているとき、「〇」を表示します。
	(コンポーネントがアドバンスドリモートマネージメントカードもしくはアドバンスドリモー
	トマネージメントカードと同等の機能を搭載している場合、および
	EXPRESSSCOPE エンジンシリーズを搭載している場合は、必ず管理 LAN 用ポートを使用し
	ます 。標準 LAN ポートは使用できません。)

- 管理 LAN 用ポート: コンポーネントの BMC が管理 LAN 用ポートを利用するときに、「O」を表示します。 コンポーネントの BMC が標準搭載 LAN ポートを利用するときに、「―」を表示します。
- リモートコンソール: コンポーネントがリモートコンソール機能をサポートしているときに、「〇」を表示します。
- スケジュール運転: コンポーネントがスケジュール運転機能をサポートしているときに、「〇」を表示します。
- 電源オプション設定: コンポーネントが電源オプション設定機能をサポートしているときに、「O」を表示します。
- SOL 対応: コンポーネントが SOL(Serial Over LAN。LAN経由リモートコンソールの実現方式のひとつ) に対応しているときに、「〇」を表示します。
- 強制ネットワーク
 コンポーネントが強制ネットワークブート機能(BIOSセットアップで設定されているブート順ブート:
 位に関わらず ESMPRO/ServerManager からの指示でネットワークブートを実行する機能)をサポートしているときに、「〇」を表示します。
 ※ESMPRO/ServerManager のコマンドラインインターフェースによって実行できます。
- 電力測定 コンポーネントが電力測定機能をサポートしているときに、「O」を表示します。
- ECO 設定 コンポーネントが ECO 設定機能をサポートしているときに、「〇」を表示します。
- 注意事項: コンポーネント個別の注意事項の項で、該当する番号の注意事項を参照してください。

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモート コンソー ル	スケジュー ル運転	電 源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO設定	強制 ネットワー ク ブート	注意事項
110日	RMC	0	—	0	0	0	0	—	_	0	
110Ek	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	—	—	0	2-(b),2-(k)
110E	標準搭載(EE)		0	0	0	0	0	_	_	0	2-(b),2-(k)
110GR-1a	標準搭載	—	—	0	—	_	0	—	—	—	1-(a),2-(a),2-(g)
110GR-1b	RMC	0	—	0	0	0	0	_	_	—	
110GR-1c	RMC	0	—	0	0	0	0	_	_	0	
110GR-1d	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	—	_	0	2-(k)
110Rb-1h	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	—	—	0	2-(b),2-(k)
110Rc-1h	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	—	_	0	2-(b),2-(k)
110Rd-1	標準搭載	_	_	0	—	_	0	—	—	—	1-(a),2-(a),2-(g)
110Re-1	RMC	0	_	0	0	0	0	—	—	—	
110Rf-1	RMC	0	—	0	0	0	0	—	_	0	
110Rg-1	RMC	0	_	0	0	0	0	—	—	0	
110Rh-1	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k)
110Ri-1	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k)

■ Express5800/スタンダードラックサーバ/スタンダードタワーサーバ

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモート コンソー ル	スケジュー ル運転	電 源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO設定	強制 ネットワー ク ブート	注意事項
120Eh	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(b),2-(k)
120Ei	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(b),2-(k)
120Gc	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	—	—	0	2-(b),2-(k)
120Gd	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	—	_	0	2-(b),2-(k)
120GR-1a	標準搭載	_	—	0	—	_	0	—	_	_	1-(c),1-(d),2-(a),3-(d)
120CP-16	RMC	0	—	0	0	0	0	—	—	0	
12001-10	A-RMC	—	0	0	0	0	0	—	—	0	
120CP 10	RMC	0	—	0	0	0	0	—	—	0	
120GR-10	A-RMC	—	0	0	0	0	0	—	—	0	
120GR-2a	標準搭載	—	_	0	—	—	0	—	—	—	1-(c),1-(d),2-(a),3-(d)
100CD 0h	RMC	0	—	0	0	0	0	—	—	0	
120GR-20	A-RMC	—	0	0	0	0	0	—	—	0	
12000 20	RMC	0	—	0	0	0	0	—	—	0	
120GR-20	A-RMC	—	0	0	0	0	0	—	_	0	
120Lf	標準搭載	—	—	0	—	—	—	—	—		2-(g)
120Lg	標準搭載	—	—	0	—	—	0	—	—	—	2-(g)
1201 h	RMC	0	—	0	0	0	0	—	—	0	2-(b)
120LN	A-RMC	—	0	0	0	0	0	—	—	0	2-(b)
120Li	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	—	—	0	2-(b),2-(k)
120Lj	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	0	_	0	2-(b),2-(k)
120Me	標準搭載	_	—	0	—	_	_	_	_	_	2-(g)
120Mf	標準搭載	_	_	0	_	_	0	_	_	_	

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモート コンソー ル	スケジュー ル運転	電 源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO設定	強制 ネットワー ク ブート	注意事項
120Ra-2h	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0	_	_	0	1-(a),1-(b),2-(b)
120Rb-1	標準搭載	_	_	0	_	_	_	_	_	_	1-(a),1-(e),2-(g),3-(b),3- (c)
120Rc-1	標準搭載	_	_	0	_	_	0	_	_	_	1-(c),1-(d),2-(a),3-(d)
120Rd-1	標準搭載	_	—	0	_	_	0	_	—	—	1-(c),1-(d),2-(a),3-(d)
120Rd-2	標準搭載	_	_	0	_	_	_	_	_	_	1-(a),1-(e),2-(g),3-(b),3- (c)
120Do 1	RMC	0	—	0	0	0	0	_	_	0	
120Re-1	A-RMC	_	0	0	0	0	0	—	_	0	
120Re-2	標準搭載	_	—	0	—	—	0	—	_	—	2-(a),3-(d)
120Pf-1	標準搭載(RMC)	0	—	0	0	0	0	—	_	0	
120RI-1	A-RMC	_	0	0	0	0	0	—	—	0	
120Rf-2	標準搭載	—	—	0	—	_	0	—	_	_	2-(a),3-(d)
120Rg-1	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	0	—	0	2-(k)
120Pg 2	RMC	0	—	0	0	0	0	—	—	0	
120Rg-2	A-RMC	—	0	0	0	0	0	—	_	0	
120Rh-1	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	—	0	2-(k)
100Dh 0	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0	—	—	0	
120Rn-2	A-RMC	—	0	0	0	0	0	—	_	0	
120Ri-2	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	_	0	2-(k)
120Ri-2	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	_	0	2-(k)

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモート コンソー ル	スケジュー ル運転	電 源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO設定	強制 ネットワー ク ブート	注意事項
140Hc	標準搭載	_	_	0	_	_	_	_	_	_	2-(g)
140Hd	標準搭載	_	_	0	_	_	0	-	_	—	2-(g)
140He	標準搭載 (A-RMC)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	1-(g),2-(c)
140Hf	標準搭載 (A-RMC)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	1-(g),2-(c)
140Rb-4	標準搭載	_	_	0	_	_	_	_	_	_	2-(g)
140Rc-4	標準搭載	_	_	0	_	_	0	_	_	_	2-(g)
140Rd-4	標準搭載 (A-RMC)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	1-(g),2-(c)
140Re-4	標準搭載 (A-RMC)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	1-(g),2-(c)
140Rf-4	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k)

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモート コンソー ル	スケジュー ル運転	電 源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO設定	強制 ネットワー ク ブート	注意事項
R110a-1	標準搭載(EE)		0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k)
R110b-1	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	—	_	0	2-(k)
R110c-1	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k)
R110d-1E	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R110d-1M	標準搭載(EE3)		0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R110e-1E	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R110e-1M	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R110f-1E	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R120a-1	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
R120a-2	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
R120b-1	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
R120b-2	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
R120d-1E	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R120d-2E	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R120d-1M	標準搭載(EE3)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R120d-2M	標準搭載(EE3)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R120e-1E	標準搭載(EE3)		0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R120e-2E	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R120e-1M	標準搭載(EE3)		0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R120e-2M	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R120f-1M	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R120f-2M	標準搭載(EE3)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R120f-1E	標準搭載(EE3)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R120f-2E	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R140a-4	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	—	0	2-(k)
R140b-4	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k)

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモート コンソー ル	スケジュー ル運転	電源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO設定	強制 ネットワー ク ブート	注意事項
T110a	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	—	_	0	2-(k)
T110b	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
T110c	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
T110d	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
T110e-M	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
T110f-E	標準搭載(EE3)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
T110f-S	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
T120a-E	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
T120a-M	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
T120b-M	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
T120d	標準搭載(EE3)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
T120e	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
T120f	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)

■ Express5800/ブレードサーバ

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモート コンソー ル	スケジュー ル運転	電 源オプ ション 設定	SOL 対応	電力 測定	ECO 設定	強制 ネットワーク ブート	注意事項
110Ba-e3	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0	_	_	0	
110Ba-m3	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0	_	_	0	
120Ba-4	標準搭載(RMC)	0		0	0	0	0	—	_	0	2-(h), 2-(i), 2-(l)
120Bb-6	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k), 3-(f)
120Bb-d6	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k), 3-(f)
120Bb-m6	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	—	_	0	2-(k), 3-(f)
140Ba-10	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k), 3-(f)
410Ea	標準搭載	_	_	0	_	_	_	_	_	_	1-(a),2-(g),2-(h), 2-(l)
420La	標準搭載	_	_	0	_	_	_	_	_	_	1-(a),2-(g),2-(h), 2-(l)
420Ma	標準搭載	_	_	0	_	_	0	_	_	_	2-(h) , 2-(l)
B110d	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	_	0	1-(a),1-(b),3-(g)
B120a	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	-	0	2-(k), 3-(f)
B120a-d	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	_	0	2-(k), 3-(f)
B120b	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	0	_	0	2-(k), 3-(f)
B120b-d	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	_	0	2-(k), 3-(f)
B120b-Lw	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	_	0	2-(k), 3-(f)
B120b-h	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	_	0	2-(k), 3-(f)
B120d	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	—	0	1-(a),1-(b),3-(g)
B120e	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	—	0	1-(a),1-(b),3-(g)
B120f	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	_	0	1-(a),1-(b),3-(g)
B120d-h	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	—	0	1-(a),1-(b),3-(g)
B120e-h	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	_	0	1-(a),1-(b),3-(g)
B120f-h	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	_	0	1-(a),1-(b),3-(g)
B140a-T	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k), 3-(f)
インテリジェントスイ ッチ (L2) [N8406-005]	標準搭載(A-RMC)	_	0	_	_	0	_	_	_	_	1-(a),1-(b),1-(g),2-(c), 2-(d),2-(e),2-(f), 2-(h), 2-(l)
インテリジェントスイ ッチ (L2) [N8406-006]	標準搭載(A-RMC)	_	0	_	_	0	_	_	_	_	1-(a),1-(b),1-(g),2-(c), 2-(d),2-(e),2-(f)

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモート コンソー ル	スケジュー ル運転	電源オプ ション 設定	SOL 対応	電力 測定	ECO 設定	強制 ネットワーク ブート	注意事項
E110b-M	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	I	0	2-(k)
E110d-1	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
E120a [NE1100-001Y, NE1100-002Y, NE1100-001PY]	標準搭載		0	0	_	_	0	0	-	_	1-(a), 1-(b), 2-(m), 2-(n)
E120b-1	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	-	0	2-(k)
E120b-M [NE1200-001Y, NE1200-002Y, NE1200-003Y]	標準搭載	_	0	0	_	_	0	0	l	_	1-(a), 1-(b), 2-(m), 2-(n)
E120d-1	標準搭載(EE3)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
E120d-M	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
E120e-M	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
E120f-M	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)

■ Express5800/省電力サーバ(ECO CENTER)

■ フォールト・トレラント・サーバ

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモート コンソー ル	スケジュー ル運転	電 源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO設定	強制 ネットワー ク ブート	注意事項
R320c-E4	標準搭載(EE3)	I	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R320c-M4	標準搭載(EE3)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R320d-M4	標準搭載(EE3)	I	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R320e-E4	標準搭載(EE3)	-	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R320e-M4	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモート コンソー ル	スケジュー ル運転	電源オプ ション 設定	SOL 対応	電力 測定	ECO 設定	強制 ネットワーク ブート	注意事項
i110Rh-1	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k)
i110Ri-1	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	-	-	0	2-(k)
i120Ra-e1	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	0	0	2-(k)
iR110a-1	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k)
iR110a-1H	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	-	0	0	2-(k)
iR120a-1E	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(b),2-(k)

■ Express5800/データセンタ向けサーバ (iモデル)

■ Express5800/低価格エントリモデル (Gモデル)

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモートコ ンソール	スケジュー ル運転	電源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO 設定	強制 ネットワーク ブート	注意事項
GT110d	標準搭載(EE3)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
GT110e	標準搭載(EE3)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
GT110f	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
GT110d-S	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
GT110e-S	標準搭載(EE3)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
GT110f-S	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
GT120a	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
GT120b	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)

■ Express5800/オフィスラックサーバ

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモートコ ンソール	スケジュー ル運転	電源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO 設定	強制 ネットワーク ブート	注意事項
R110a-1H	標準搭載(EE)	-	0	0	0	0	0	-	0	0	2-(k)

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモートコ ンソール	スケジュー ル運転	電源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO 設定	強制 ネットワーク ブート	注意事項
A1020a	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
A1020b	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
A1080a-D	標準搭載	_	0	0	0	—	0	0	0	—	1-(a),1-(b),2-(f), 2-(o)
A1080a-E	標準搭載	—	0	0	0	—	0	0	0	_	1-(a),1-(b),2-(f), 2-(o)
A1080a-S	標準搭載	_	0	0	0	—	0	0	0	_	1-(a),1-(b),2-(f), 2-(o)
A1040a	標準搭載	_	0	0	0	—	0	0	0	—	1-(a),1-(b),2-(f), 2-(o)
A1040b	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
A2010b	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
A2020b	標準搭載(EE3)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
A2040b	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R140e-4	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
A1040c	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
A2010c	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
A2020c	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
A2040c	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
R140f-4	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)

■ Express5800/スケーラブル HA サーバ

■ Express5800/メニーコアサーバ

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモートコ ンソール	スケジュー ル運転	電 源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO 設定	強制 ネットワーク ブート	注意事項
HR120a-1	標準搭載	—	0	0	_	0	0	0	_	_	1-(a),1-(b), 2-(e), 2-(f), 2-(q)
HR120b-1	標準搭載	_	0	0	_	0	0	0	_	_	1-(a),1-(b), 2-(e), 2-(f), 2-(q)

■ Express5800/アプライアンスサー	バ
-------------------------	---

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモート コンソー ル	スケジュー ル運転	電源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO設定	強制 ネットワー クブート	注意事項
CS200a	標準搭載		_	0	_	1	0	_	_	_	2-(g)
CS200b	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0	_	_	—	
CS200c	標準搭載(RMC)	0	—	0	0	0	0	_	_	0	
CS300a	標準搭載	_	—	0	_	-	0	_	_	_	
CS300b	標準搭載		—	0	_		0	—	_	—	
CS300e	標準搭載(EE)		0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k)
CS300f	標準搭載(EE)	-	0	0	0	0	0	—	—	0	2-(k)
CS300g	標準搭載(EE)		0	0	0	0	0	—	_	0	2-(k)
CS400g	標準搭載(EE)		0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
CS400h	標準搭載(EE)	-	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
CS500a	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0	_	_	0	
CS500b	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0		_	0	
CS500e	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	_	0	2-(k)
CS500f	標準搭載(EE)		0	0	0	0	0	0	_	0	2-(k)
FW300a	標準搭載		—	0	—	Ι	0	_	—	—	1-(a),2-(a),2-(g)
FW300b	標準搭載(RMC)	0	—	0	0	0	0	—	—	—	
FW300c	標準搭載(RMC)	0	—	0	0	0	0	—	—	0	
FW300e	標準搭載(EE)		0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k)
FW500a	標準搭載	-	—	0	—	-	0	—	—	—	
FW500b	標準搭載		_	0	_		0	_	_	—	
FW500c	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0		_	0	
FW500d	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0		_	0	
FW500e	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	_	0	2-(k)

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモート コンソー ル	スケジュー ル運転	電源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO設定	強制 ネットワー クブート	注意事項
LB300b	標準搭載	_	—	0	_	—	0	_	_	—	1-(a),2-(a),2-(g)
LB300c	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0	—	—	_	
LB300d	標準搭載(RMC)	0	—	0	0	0	0	_	_	0	
LB300e	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k)
LB300f	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k)
LB300g	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k)
LB400g	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
LB400h	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
MW300a	標準搭載	_	_	0	_	—	0	—	—	_	1-(a),2-(a),2-(g)
MW300b	標準搭載(RMC)	0	—	0	0	0	0	_	_	—	
MW300c	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0	—	_	0	
MW300e	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	—	—	0	2-(k)
MW300f	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k)
MW300g	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k)
MW400g	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
MW400h	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
MW500a	標準搭載	_	—	0	—	—	0	—	_	—	
MW500b	標準搭載	_	_	0	_	—	0	—	—	_	
MW500c	標準搭載(RMC)	0	—	0	0	0	0	_	_	0	
MW500d	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0	—	—	0	
MW500e	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k)
MW500f	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	_	0	2-(k)

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモート コンソー ル	スケジュー ル運転	電源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO設定	強制 ネットワー クブート	注意事項
RS300a	標準搭載	_	_	0	_	_	0	_	_	_	1-(a),2-(a),2-(g)
SG300a	標準搭載		_	0	_	_	0	_	_	_	1-(a),2-(a),2-(g)
SG300b	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0	_	_	_	
SG300c	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0	_	_	0	
SG300e	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k)
VC300a	標準搭載	_	_	0	_	_	0	—	_	—	1-(a),2-(a),2-(g)
VC300b	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0	_	_	—	
VC300c	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0	—	_	0	
VC300e	標準搭載(EE)		0	0	0	0	0	—	_	0	2-(k)
VC300f	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	—	_	0	2-(k)
VC300g	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	—	_	0	2-(k)
VC400g	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
VC400h	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
VC500a	標準搭載	_	_	0	_	—	0	—	_	—	
CacheServer	標準搭載	_	_	0	_	_		_	_	_	1-(a),1-(e),2-(g),3-(b),3-(c)
Load Balancer [N8400-006]	標準搭載		_	0	_	_		_		_	2-(g),2-(h)
MailWebServe r[N8400-005]	標準搭載	_	_	0	_	_	_	_	—	_	2-(g),2-(h)

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN用 ポート	リモート コンソー ル	スケジュ ール運転	電 源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO 設定	強制 ネットワーク ブート	注意事項
620Ai[NP8610-92P21, P8610-92P22]	標準搭載	—	_	0	_			_		_	2-(g),3-(e),
620Ai[N8610-121, N8610-122]	標準搭載	—	_	0	_		0	_		_	2-(g),3-(e)
620xi [N8610-221, N8610-224, N8610-226, N8610-229, N8610-326, N8610-329]	標準搭載	—	—	0	_	_	0	_		_	2-(g),3-(e)
640Ai [NP8610-93P41, NP8610-93P42]	標準搭載	—	—	0	_	_	_	_	_	_	2-(g),3-(e)
640Ai[N8610-141, N8610-142]	標準搭載	_	_	0	_	_	0	_	-	_	2-(g),3-(e)
640Ai-R	標準搭載	—	—	0	_	_		_		—	1-(a),1-(e),2-(g),3-(b),3-(c), 3-(e)
640xi [N8610-241, N8610-244, N8610-246, N8610-249, N8610-346, N8610-349]	標準搭載	_	_	0	_	_	0	_	_	_	2-(g),3-(e)
640xi [N8610-446, N8610-449,	標準搭載 (RMC)	0	_	0	_	0	0	_	_	_	2-(b),3-(e)
N8610-546, N8610-549]	A-RMC	_	0	0	—	0	0	_	_		2-(b),3-(e)
640xi [N8610-746, N8610-749]	標準搭載 (EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(b),2-(k)

■ Express5800/オフコン資産継承(600 シリーズ)

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN用 ポート	リモート コンソー ル	スケジュ ール運転	電 源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO 設定	強制 ネットワーク ブート	注意事項
650Ai [NP8610-93P51, NP8610-93P52]	標準搭載	_	_	0	_		_	_	_	_	2-(g),3-(e)
650Ai [NP8610-94P52]	標準搭載	—	_	0	—	_	_	—	_	—	2-(g),3-(e)
650Ai [N8610-151, N8610-152]	標準搭載	_	_	0	_		0	_		_	2-(g),3-(e)
650Ai [N8610-153]	標準搭載	_	_	0	_	_	0	_	_	_	2-(g),3-(e)
650xi [N8610-251, N8610-254, N8610-256, N8610-259, N8610-356, N8610-359]	標準搭載	_	_	0	_	_	0	_	_	_	2-(g),3-(e)
650xi [N8610-456, N8610-459,	標準搭載 (RMC)	0	_	0	_	0	0	_		—	2-(b),3-(e)
N8610-556, N8610-559]	A-RMC	_	0	0	_	0	0	_		—	2-(b),3-(e)
650xi [N8610-756, N8610-759]	標準搭載 (EE)	—	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(b),2-(k)
660xi [N8610-263, N8610-268, N8610-368]	標準搭載	_	_	0	_	Ι	0	_		_	2-(g),3-(e)
660xi	標準搭載 (RMC)	0	_	0	—	0	0	_		_	2-(b),3-(e)
[110010-400, 110010-508]	A-RMC	—	0	0		0	0	_	_	_	2-(b),3-(e)

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN用 ポート	リモート コンソー ル	スケジュ ール運転	電 源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO 設定	強制 ネットワーク ブート	注意事項
670Ai[N8610-173]	標準搭載	_	_	0	_		0		_	—	2-(g),3-(e)
670Ai[NP8610-94P72]	標準搭載	_		0					_	_	2-(g),3-(e)
670xi [N8610-273, N8610-278, N8610-378]	標準搭載	_	—	0	_	_	0		_	_	2-(g),3-(e)
670xi [N8610-478, N8610-578]	標準搭載 (A-RMC)	—	0	0	_	0	0	_	_	—	1-(g),2-(c),3-(e)
670xi[N8610-778]	標準搭載 (EE)	—	0	0	0	0	0	_	—	0	2-(b),2-(k)
680Ai[N8610-183]	標準搭載		—	0	—		0		_	—	2-(g),3-(e)
680Ai[NP8610-94P82]	標準搭載	—	—	0	—	_				—	2-(g),3-(e)
680xi [N8610-283, N8610-288, N8610-388]	標準搭載	_	_	0	_	_	0		_	_	2-(g),3-(e)
680xi [N8610-488, N8610-588]	標準搭載 (A-RMC)	_	0	0	_	0	0		_	—	1-(g),2-(c),3-(e)
680xi[N8610-788]	標準搭載 (EE)	—	0	0	0	0	0	-	_	0	2-(b),2-(k)
690Ai[NP8610-94P92]	標準搭載	—	_	0	—	_	_	—	_	—	2-(g),3-(e)
690Ai[N8610-193]	標準搭載	_	_	0	—	_	0	—	_		2-(g),3-(e)
690xi [N8610-293, N8610-298, N8610-398]	標準搭載	_	—	0	_	_	0	_	_	_	2-(g),3-(e)
690xi[N8610-498, N8610-598]	標準搭載 (A-RMC)	_	0	0	_	0	0	_	_	—	1-(g),2-(c),3-(e)
690xi[N8610-798]	標準搭載 (EE)	_	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(b),2-(k)

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN用 ポート	リモート コンソー ル	スケジュ ール運転	電源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO 設定	強制 ネットワーク ブート	注意事項
V608-H [N8610-1012, N8610-1022, N8610-1032]	標準搭載 (EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
V608-L [N8610-1011, N8610-1021, N8610-1031]	標準搭載 (EE3)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
V618-H [N8610-905, N8610-906, N8610-915, N8610-916, N8610-1005, N8610-1005,	標準搭載 (EE)	_	ο	0	0	0	0	0	0	0	2-(b),2-(k)
V618-H [N8610-1025, N8610-1026, N8610-1035, N8610-1035]	標準搭載 (EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
V618-L [N8610-903, N8610-904, N8610-913, N8610-914, N8610-1003, N8610-1004]	標準搭載 (EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(b),2-(k)
V618-L [N8610-1023, N8610-1024, N8610-1033, N8610-1034]	標準搭載 (EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN用 ポート	リモート コンソー ル	スケジュ ール運転	電 源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO 設定	強制 ネットワーク ブート	注意事項
V628-H [N8610-908, N8610-918, N8610-1008]	標準搭載 (EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(b),2-(k)
V628-H [N8610-1028, N8610-1038]	標準搭載 (EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
V628-L [N8610-907, N8610-917, N8610-1007]	標準搭載 (EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(b),2-(k)
V628-L [N8610-1027, N8610-1037]	標準搭載 (EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
V640xi	標準搭載 (EE)	_	0	0	0	0	0	0	_	0	2-(b),2-(k)
V650xi	標準搭載 (EE)	_	0	0	0	0	0	0	_	0	2-(b),2-(k)
V670xi	標準搭載 (EE)	_	0	0	0	0	0	0	_	0	2-(b),2-(k)
V680xi	標準搭載 (EE)	_	0	0	0	0	0	0		0	2-(b),2-(k)
V690xi	標準搭載 (EE)	_	0	0	0	0	0	0	_	0	2-(b),2-(k)
iStorage	NS	シ	y	ーズ							
----------	----	---	---	----							

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモートコ ンソール	スケジュ ール運転	電 源オプション 設定	SOL 対応	電力 測定	ECO 設定	強制 ネットワー クブート	注意事項
FS110G	標準搭載	—		0	_	—		_	_	_	2-(g)
NS47P	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(b),2-(k)
NS48P	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(b),2-(k)
NS49P	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(b),2-(k)
NS100Tb	標準搭載(EE3)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
NS100Td	標準搭載(EE3)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
NS130	標準搭載	—	-	0	—	—	0	_	_	—	1-(a),2-(a),2-(g)
NS150h	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	—	_	0	2-(b),2-(k)
NS300Ra	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
NS300Rb	標準搭載(EE3)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
NS300Rd	標準搭載(EE3)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
NS300Ta	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
NS300Tc	標準搭載(EE3)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b),2-(b)
NS400	標準搭載	—	_	0	—	—	_	—	—	—	1-(a),1-(e),2-(g),3-(b),3-(c)
NS400P	標準搭載	—	-	0	—		_	—	—	_	2-(g)
NS410	標準搭載	—	-	0	—	—	_	—	_	—	1-(a),1-(e),2-(g),3-(b),3-(c)
NS420	標準搭載	—	-	0	—	—	0	_	_	—	
NS430	標準搭載	—		0		—	0	_	_		
NS440	標準搭載(RMC)	0	-	0	0	0	0	—	_	0	
NS450	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0	_	_	0	
NS460	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	_	_	0	2-(k)
NS470	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	_	0	2-(k)
NS480	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管 理 LAN 用ポート	リモートコ ンソール	スケジュ ール運転	電 源オプション 設定	SOL 対応	電力 測定	ECO 設定	強制 ネットワー クブート	注意事項
NS500Ba	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	0	_	0	2-(k), 3-(f)
NS500Ra	標準搭載(EE)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
NS500Rb	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	2-(k)
NS500Rc	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
NS500Rd	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
NS510G	標準搭載	_	—	0	—	_	0	_	_	—	
NS520G	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0		_	0	
NS600	標準搭載	—	_	0	—	—	_	_	_	_	2-(g)
NS610	標準搭載	_	_	0	_	_	_	_	_	_	2-(g)
NS810G	標準搭載	—	_	0	_	_	_	_	_	_	2-(g)

■ Express5800/HPC クラスタ専用サーバ

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモート コンソー ル	スケジュ ール運転	電 源オプシ ョン 設定	SOL 対応	電力 測定	ECO 設定	強制 ネットワー クブート	注意事項
T120Rb-1	標準搭載(EE)	—	0	0	0	0	0	0	—	0	2-(k)

■ Express5800/InternetStreamingServer シリーズ

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモートコン ソール	スケジュ ール運転	電 源オプシ ョン 設定	SOL 対応	電力 測定	ECO 設定	強制 ネットワー クブート	注意事項
DeliveryServer [N8100-880/881, N8100-981]	標準搭載		_	0	_	_	0				1-(f)
DeliveryServer [N8100-862/798]	標準搭載		—	0	—	—		I	I		1-(f),2-(g)
EncodeServer	標準搭載		_	0	_	_					1-(f),2-(g)
GeneralServer [N8100-797, N8100-861]	標準搭載	_	—	0	—	—		_	_	_	2-(g)
GeneralServer [N8100-882]	標準搭載		_	0	—	—	0	I	I		
InternetStreamingServer DS [N8100-1194]	標準搭載(RMC)	0	—	0	0	0	0	_	_	0	

■ Express5800/MDサーバ

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN用 ポート	リモー トコン ソール	スケジュ ール運転	電源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測定	ECO 設定	強制 ネットワー クブート	注意事項
	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0	_		0	2-(b)
MD120La	A-RMC	_	0	0	0	0	0	_		0	2-(b)
	標準搭載(RMC)	0	_	0	0	0	0	—	_	0	
IVID120La-R	A-RMC	_	0	0	0	0	0	_	_	0	

■ iExpress サーバ

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用 ポート	リモー トコン ソール	スケジュー ル運転	電 源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO 設定	強制 ネットワ ークブー ト	注意事項
RadiusBlade [N8400-1103]	標準搭載	—	—	0	—	—	_	—		—	1-(a),2-(g),2-(h), 2-(l)
RadiusBlade [N8400-1109]	標準搭載	0	_	0	0	0	0	—		—	
RoamingBlade [N8400-1102]	標準搭載	—	_	0	—	_		_		_	1-(a),2-(g),2-(h), 2-(l)
RoamingBlade [N8400-1108]	標準搭載	0	—	0	0	0	0	—		—	
SipPresenceBlade [N8400-1101]	標準搭載	—	_	0	_	—		_		—	1-(a),2-(g),2-(h) , 2-(l)
SipPresenceBlade [N8400-1107]	標準搭載	0	_	0	0	0	0	_	_	_	

■ IP-X7300Vシリーズ

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモートコ ンソール	スケジュ ール運転	電 源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO 設定	強制 ネットワー クブート	注意事項
30V	標準搭載	—	—	0	—	—	0	—	_	—	2-(g)
50V	標準搭載	—	—	0	—	—	0	—		—	2-(g)
100V	標準搭載	—		0	_	—	0	_	_	—	2-(g)
200V	標準搭載	—	_	0	—	_	0	_		—	2-(g)
300V	標準搭載	—	—	0	—	—	0	—		—	2-(g)
400V	標準搭載	—		0	—	_	0	_		—	2-(g)
500V	標準搭載	—	_	0	—	_	0	_	_	—	2-(g)
600V	標準搭載	—	—	0	—	_	0	—	_	—	2-(g)

■ FC98-NX シリーズ

製品名	BMC	櫟 黒AN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモート コンソー ル	スケジュ ール運転	電源オプシ ョン 設定	SOL 対応	電力 測定	ECO 設定	強制 ネットワー クブート	注意事項
FC-R20W	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)

製品名	BMC	標準 LAN2 対応	管理 LAN 用ポート	リモートコ ンソール	スケジュー ル運転	電 源オプ ション 設定	SOL 対応	電力測 定	ECO 設定	強制 ネットワーク ブート	注意事項
A2010M-60	標準搭載(EE3)		0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
A2010M-30	標準搭載(EE3)		0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
A2010M-15	標準搭載(EE3)		0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
A2010L-60	標準搭載(EE3)		0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
A3012M-4	標準搭載(EE3)		0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
A3012L-2	標準搭載(EE3)		0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
A3012L-1	標準搭載(EE3)		0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
A3010M-4	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)
A3010E-2	標準搭載(EE3)	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1-(a),1-(b)

■ NX7700x シリーズ/エンタープライズサーバ

<コンポーネントの個別の注意事項>

それぞれのコンポーネントの機能差分および固有の注意事項を説明します。一覧の注意事項欄に、 各コンポーネントの注意事項を番号で示していますので、該当する注意事項を確認してください。

(1) 接続形態、接続ポートについて

(1)-(a) ESMPRO/ServerManagerからモデム経由でリモート管理できません。本製品についてはサポートされていません。

(1)-(b) ESMPRO/ServerManagerからダイレクト接続でリモート管理できません。本製品ではサポートされていません。

(1)-(c) ESMPRO/ServerManagerとのモデム経由の通信は背面シリアルポート2で使用可能です。

(1)-(d) ESMPRO/ServerManagerとのダイレクト接続は前面または背面シリアルポート2のどちらか 一方で使用可能です。

(1)-(e) ESMPRO/ServerManagerとのダイレクト接続は前面シリアルポート2で使用可能です。

(1)-(f) ダイレクト接続でリモート管理を行う場合は、装置添付のユーザーズガイドで指定された RS-232Cクロスケーブルを使用してください。

(1)-(g) 本装置上の BMC はアドバンスドリモートマネージメントカードと同等の機能を持っています。また、BMC 専用の LAN ポートを所有しています。ESMPRO/ServerManager 上の表示は、アドバンスドリモートマネージメントカードが搭載されている装置と同様になります。オンラインヘルプでは、アドバンスドリモートマネージメントカードが搭載されている装置の説明を参照してください。(BMC が標準搭載されている装置についての説明は参照しないでください。)

(2) 機能について

(2)-(a) 本装置では、起動する OS やアプリケーションが使用するメモリサイズの関係でリモート ドライブを正しく起動できない場合があります。

(2)-(b) 本製品には筐体識別機能がありません。ESMPRO/ServerManager上で筐体識別コマンドを発行すると正常に実行しますが、実際には装置上でユニット ID ランプが点灯するなどの動作が実行されません。

(2)-(c) 本装置上の BMC はアドバンスドリモートマネージメントカードと同等の機能を持っています。ESMPRO/ServerManager 上の表示は、アドバンスドリモートマネージメントカードが搭載されている装置と同様になります。またオンラインヘルプでは、アドバンスドリモートマネージメントカードが搭載されている装置の説明を参照してください。(BMCが標準搭載されている装置についての説明は参照しないでください。)

(2)-(d) 本装置ではリモートコンソールをサポートしていません。

(2)-(e) 本装置に ESMPRO/ServerAgent Extension または DianaScope Agent をインストールできません。そのため ESMPRO/ServerAgent Extension または DianaScope Agent と通信して実行する機能は、本装置ではサポートしていません。

(2)-(f) 本装置上の BMC を、 ESMPRO/ServerAgent Extension、 DianaScope Agent または ESMPRO/ServerManager PXE Service を使用してコンフィグレーションすることはできません。BMC のコンフィグレーション方法については、本装置添付のユーザーズガイドを参照してください。

(2)-(g) ESMPRO/ServerManager をインストールした管理 PC の OS が Linux の場合、 ESMPRO/ServerManagerのリモートコンソール機能と本装置の通信ができなくなります。そのため、 本装置ではリモートコンソールを使用できません。

(2)-(h) ESMPRO/ServerManagerから、本装置(ブレードサーバ)の筐体 ID およびスロット ID を取得することはできません。

(2)-(i) ESMPRO/ServerManager による強制ネットワークブートを使用する場合以下の作業が必要 です。

N型番が[N8400-025, N8400-026]で、BIOS のバージョンが 6.1.0010 以前である場合、BIOS のアップ デートが必要になります。お手数ですが NEC ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせく ださい。

TEL: 03-3455-5800 (代表) 受付時間:9:00~12:00 13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日を除く)

(2)-(j) 本装置は、ESMPRO/ServerManagerからのパワーOFF、パワーサイクル、リセットをサポートしていません。

但し、緊急時は ESMPRO/ServerManager コマンドラインインターフェースによって、パワーOFF お よびパワーサイクルを実行できます。

(2)-(k) 接続形態がモデム (WAN) またはダイレクト接続の場合、本装置では、 ESMPRO/ServerManager からのOS シャットダウンを実行できません。

(2)-(I) ESMPRO/ServerManager は本装置のブレード収納ユニット (筐体)の情報を表示できません。 本装置ではサポートされていません。

(2)-(m) サーバ1に対して電力値測定を行った場合、サーバ1とサーバ2の合計電力値を表示しま

す。サーバ2に対して電力値測定を行った場合、常に0を表示します。

(2)-(n) 本装置の BMC FW をアップデートしたときは、接続チェックを再実行してください。接続 チェックを実施しない場合、ESMPRO/ServerManager からリモートコンソールが実行できなくなる 場合があります。

(2)-(o) Dual サーバシステムの場合、各サーバに対して電力測定を行うと、サーバ1とサーバ2の合計電力値を表示します。

(2)-(p) 電源状態表示は装置のモジュール POWER ランプの表示と一部異なります。 ESMPRO/ServerManager では DC オン(緑点灯)とDC オフ(緑消灯)のみ対応しています。

(2)-(q) 本装置に Express Update Agent をインストールできません。そのため、Express Update 機能は、 本装置ではサポートしていません。 (3) 操作上のご注意

(3)-(a) 複数の ESMPRO/ServerManager からリモート管理できません。本製品ではサポートされていません。

(3)-(b) ダイレクト接続のリダイレクションとLAN経由のリダイレクションを同時に使用すること はできません。ESMPRO/ServerManager からLAN 経由のリモートコンソール機能を使用する場合 は、コンポーネントの前面シリアルポート2からケーブルを取り外してください。または、BMC コンフィグレーション項目の「リダイレクション(WAN/ダイレクト)」を「無効」に設定してくだ さい。

(3)-(c) 本装置に Linux をインストールした場合は、BMC コンフィグレーションの「リダイレクション(LAN)」項目を必ず無効に設定してください。有効の場合 Linux を起動できません。

(3)-(d) 本装置では、リモートコンソールを行う場合は BIOS セットアップで [Advanced] - [Memory Configuration] - [Extended Memory Test] を [Disabled] に設定してください。

(3)-(e) Express5800/600 シリーズでは、AV-X の標準搭載により I-UPS が電源制御を行っています。 ESMPRO/ServerManager の以下に示す機能は、運用上利用できません。

- ・CUIリモートコンソール機能
- ・リモートドライブ機能
- ·電源制御機能
- ・スケジュール運転機能

(3)-(f) 電源オプション設定で、本装置の Delay Time を 0 秒(初期値)から変更しないでください。 本装置の電源 ON を行うと、(スロット番号-1)×2 秒 の待機時間が挿入されます。Delay Time を 0 秒以外に設定した場合、待機時間が正しい長さになりません。

(3)-(g) 本装置に対して電源オプション設定を実行した場合、ESMPRO/ServerManagerは、ユーザー が指定した Delay Time を本装置に設定しません。これは、本装置の電源 ON 時に挿入させる(スロ ット番号-1)×2秒 の待機時間を保証するためです。

<EMカードー覧>

ESMPRO/ServerManager は下記の EM カードと通信を行い、ブレード収納ユニット(筐体)の情報を取得することができます。

- EM カード [N8405-19A]
- EM カード [N8405-27]
- EM カード [N8405-043]

<電源ベイ>

ESMPRO/ServerManagerは以下の電源ベイを、リモートで管理することができます。

• EcoPowerGateway [N8142-36]

<vPro 搭載コンポーネント>

ESMPRO/ServerManager は、iAMT ファームウェアバージョンが「6.0」以降の vPro を搭載した Express5800/ワークステーションをリモートで管理することができます。

Revision History

1.00	2014/08/01	(Ver6.00) 新規作成
1.01	2014/12/08	(Ver6.02) 第 8 章にアラート受信のみのコンポーネントのセットアップを追加。
1.02	2015/03/03	(Ver6.03) 誤記修正
1.03	2015/11/17	(Ver6.06) Linux版 ServerAgentService に対応。 付録 D に製品追加。 誤記修正

NEC Express サーバ

ESMPRO/ServerManager Ver.6 セットアップガイド

2015 年 11 月

日本電気株式会社 東京都港区芝五丁目7番1号 TEL(03)3454-1111(大代表)

©NEC Corporation 2015

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。